TOSHIBA

東芝 HDD&DVD ビデオレコーダー取扱説明書

形名 RD-XS57

▶ 操作編

●最初に「接続・設定編」をご覧ください。

RDXS57

はじめに 2
録画の前に 17
録　画 29
再　生 61
編　集 75
ダビング 81
機能設定 97
その他 109

●このたびは東芝 HDD&DVD ビデオレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●お求めの HDD&DVD ビデオレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
●保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認の上、大切に保管してください。
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
●インターネットによるオンライン登録、または同梱されております FAX 用紙によるユーザー登録にご協力ください。
（インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス http://room1048.jp/）

もくじ

はじめに（2ページ～）

●お使いになる前にお読みください。

■安全上のご注意....4
■各部の名前....5
　前面....5
　背面....6
　リモコン....8
　表示窓....10
■電源を入れる／番組を見る／ディスクを入れる....11
　電源を入れる....11
　電源の切りかた....11
　本機を通してテレビを見る....11
　入力3スルー機能を使う....11
　ディスクの入れかた....12
　トレイロック機能....12
■クイックメニューの使いかたと状態表示....13
　クイックメニューの使いかた....13
　メッセージが現れたら....13
　状態表示....13
■簡単メニューで操作する....14
■取扱説明書のディスク表記について....16

録画の前に（17ページ～）

■本機で録画が可能なディスク....18
　録画／再生が行なえます....18
　ディスクの内容の区分....19
　ディスクの取扱いかた....19
　ディスクのお手入れのしかた....19
　ディスクの保管のしかた....19
■録画モードとディスクの選択....20
　VRモードとVideoモードについて....20
　DVDディスク使いわけのヒント！
　（はじめてHDD&DVDレコーダーをお使いになる方へ）....21
　DVD-R/RWのVRモードについて
　（応用的な使いかたをする方へ）....22
■1回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画について....23
■録画モード（録画画質／音質）の設定をする....24
　録画の画質／音質の詳細設定....24
　録画モードの設定方法....24
■DVD-R/RW（Videoモード）で録画するときの設定....25
　設定する項目....25
　設定のしかた....25
■録画する前のディスクの初期化....26
　ディスクの初期化（論理フォーマット）....26
　DVD-RAMの物理フォーマット....27

録画（29ページ～）

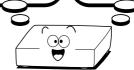
●豊富な予約録画機能
番組表予約－お好きな番組を選んでらくらく予約！
●番組の延長にも対応！
（スポーツ延長／番組追っかけ）

■制限事項と免責事項および動作環境....30
　ADAMSでの制限事項....30
　iNETでの制限事項....30
　その他の制限事項....31
　免責事項....31
　ネットワーク動作環境....32
■番組を録画する....34
　一つの番組を録画する....34
　録画中に別の番組を録画する（裏録画）....36
　録画中にチャプターを作成する....37
　録画を停止する／一時停止をする....37
　録画チャンネルを変える....37
　録画中に、録画の終了時刻／終了後の状態を設定する....37
■WOWOW（BS5）チャンネルを録画する....38
　WOWOW（BS5）チャンネルを録画予約する....39
　WORLD INDEPENDENT NETWORKS JAPAN
　（WINJ：旧クラブコスモ／セント・ギガ）を録音する....39
　WORLD INDEPENDENT NETWORKS JAPAN
　（WINJ：旧クラブコスモ／セント・ギガ）を予約録音する....39
■スカパー！チューナーから録画する....40
■外部機器から録画する....42
■番組表を活用する....44
　かんたん録画予約....44
　便利な検索機能....44
■番組表から録画予約をする....45
　スポーツ延長について....46
　番組追っかけ機能について....47
■番組検索から録画予約をする....48
　検索条件を入力して番組検索する....48
　人名で検索する....49
■番組表の見かた....50
　表示マークやラインについて....51
■録るナビで録画予約をする....52
　予約内容を変更する....53
　予約内容を削除する....53
　予約録画実行中に録画を止める....53
　スカパー！の番組を録画予約する....54
　操作手順2の設定内容の詳細....56
　録るナビ予約をするときの便利な設定....57
■DV連動録画（デジタルビデオカメラの映像を録画する）....58

再生（61ページ～）

●タイムスリップ機能

「追っかけ再生」
予約録画の終了を待たずに、その内容を最初から見られます。

「TVお好み再生」
放送中の番組をワンタッチで録画してあとから見られます。急な来客などで席をはずしてしまうときに便利です。

■見るナビで、録画した内容を再生する……62
「見るナビ」画面について……63
再生を停止する／一時停止する……63
少しとばす／少し前に戻る……63
見終わった番組を消す……63
■タイムスリップ機能を使う……64
TVお好み再生……64
追っかけ再生……64
■見るナビでフォルダ機能を使う……65
フォルダ名を変更する……66
録画タイトルをフォルダに移動する……67
複数の録画タイトルを一括してフォルダに移動する……67
ごみ箱に移動する……68
ごみ箱を空にする……68
■DVDビデオディスクを再生する……69
再生を停止する／一時停止する……69
■いろいろな速さで再生する……70
早送り／早戻しする……70
コマ送り／コマ戻しする……70
ワンタッチスキップ……70
ワンタッチリプレイ……70
スローモーションで再生……70
1/20分割ジャンプ……70
前後のチャプター／トラックへスキップする……70
静止画をめくる（静止画が記録されたディスクの再生）……70
■その他便利機能……71
アングルを変えて見る……71
字幕の表示と切換……71
音声の切換……71
拡大して見る（ズーム）……72
子画面で見る（P in P再生）……72
■動作と設定の状態を画面で確認する……73
状態表示と設定状況表示……73
タイムバーを使う……73

編集（75ページ～）

■編集の前に……76
編集するディスクについて……76
ハードディスク（内蔵HDD）の使いかたについて……76
基本的な編集の手順……76
■チャプター編集……77
録画中や再生中にチャプター分割をする……77
DVD-R/RW（Videoモード）のチャプター分割について……77
チャプターをつなげる……77
■プレイリスト編集（必要な場面を集める）……78

ダビング（81ページ～）

■ダビングについて……82
1回だけ録画が可能な番組（コピーワンス）のダビングについて……83
■高速ライブラリダビング（パーツ単位でダビングする）……84
コピー／移動を途中で中止したいときは……85
ワンタッチダビングについて……85
■レート変換ダビング
（画質・音質レートを変えてダビングする）……86
パーツ単位でレート変換ダビングする……86
レート変換ダビングを途中で中止したいときは……87
レート変換ダビング終了後に自動的に電源が切れるようにする……87
■ラインUダビング（再生中の映像を録画する）……88
■一括削除（パーツをまとめて削除する）……89
■DVD-Videoファイナライズ処理をする……90
ファイナライズを解除する……91
DVD-R/RW（VRモード）ファイナライズ……91
■DVD-R/RWに1回でまとめて書き込む（DVD-Video作成）……92
パーツの内容を確認する……94
タイトルやチャプターの名前／サムネイルを変更する……94

機能設定（97ページ～）

■設定の変更と機能の設定……98
DVDプレイヤー設定……99
映像・音声設定……101
画面表示設定……103
各種操作設定……104
録画機能設定……105
管理設定……107
初回設定……108

その他（109ページ～）

■故障かな…?と思ったら……110
電源……110
テレビの接続……110
テレビの受信……110
再生……110
録画……110
予約……111
リモコン……111
時計……111
その他……111
■録画可能時間一覧表……112
■言語コード表……113
■アスペクト比（画面比）について……114
■出力される音声の種類……116
■本体表示窓のエラー表示……117
■仕様……118
■索引……120
■W録についてのお知らせ……122
■インフォメーション……123
■商品の保証とアフターサービス……裏表紙

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1： **重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。**
*2： **傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。**
*3： **物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。**

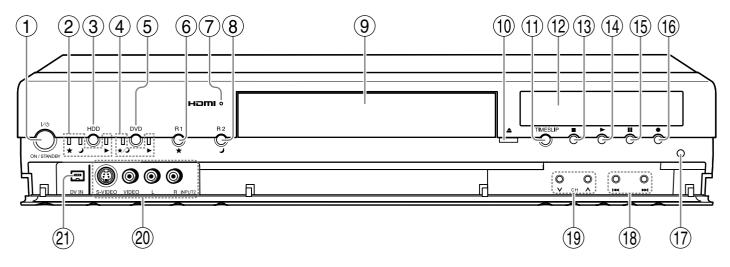
■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

別冊（接続・設定編）の安全上のご注意を必ずお読みください。

各部の名前

くわしくは⇨のページをご覧ください。

前面

① **ON／STANDBY ボタン ⇨ 11 ページ**
電源を入／待機にします。

② **動作状態インジケーター（HDD）**
内蔵 HDD の動作状態を表示します。
●：録画中
●（点滅）：ダビング中
▶：再生中

③ **HDD ボタン／インジケーター ⇨ 36 ページ**
内蔵 HDD を操作するとき押して点灯させます。

④ **動作状態インジケーター（DVD）**
DVD ドライブの動作状態を表示します。
●：録画中
●（点滅）：ダビング中
▶：再生中

⑤ **DVD ボタン／インジケーター ⇨ 36 ページ**
トレイの中のディスクを操作するときに押して点灯させます。

⑥ **R1 ボタン ⇨ 36 ページ**
W 録 R1 チューナー／エンコーダーを選択します。

⑦ **HDMI インジケーター ⇨接続・設定編 16 ページ**
HDMI 接続時に点灯します。
緑色：D1／D2 出力時
青色：D3／D4 出力時

⑧ **R2 ボタン ⇨ 36 ページ**
W 録 R2 チューナー／エンコーダーを選択します。

⑨ **ディスクトレイ ⇨ 12 ページ**
DVD ドライブにディスクを入れます。

⑩ **トレイ開／閉ボタン (▲) ⇨ 12 ページ**
ディスクトレイを開閉します。

⑪ **タイムスリップボタン／インジケーター ⇨ 64 ページ**
タイムスリップ機能を使うとき押して点灯させます。

⑫ **表示窓 ⇨ 10 ページ**

⑬ **停止ボタン (■) ⇨ 37、53、63 ページ**
再生や録画を停止します。

⑭ **再生ボタン (▶) ⇨ 69 ページ**
再生を開始します。

⑮ **一時停止ボタン (II) ⇨ 37、69 ページ**
再生や録画を一時停止します。

⑯ **録画ボタン (●) ⇨ 35 ページ**
録画を開始します。

⑰ **リモコン受光部 ⇨接続・設定編 24 ページ**

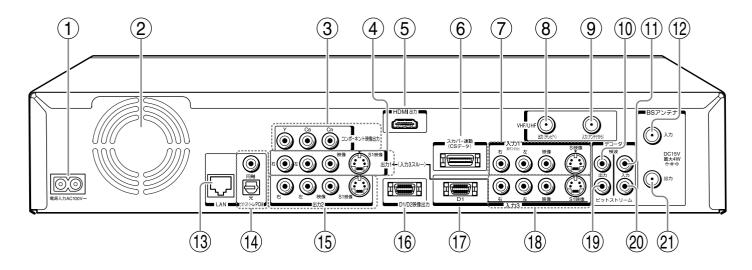
⑱ **スキップ（⏮ / ⏭）ボタン ⇨ 62、64、70 ページ**
再生したいチャプター／トラック番号を選択します。
押し続けると早戻し／早送りになります。

⑲ **チャンネル (∧ / ∨) ボタン ⇨ 11 ページ**
チャンネルを選択します。

⑳ **入力 2 端子 ⇨ 43 ページ**
ビデオデッキやカメラ一体型ビデオなどから映像・音声をダビングするときに使います。

㉑ **DV 入力端子 ⇨ 58 ページ**
デジタルビデオカメラなどからの映像・音声をダビングするときに使います。

各部の名前（つづき）

背面

① **電源入力端子**
接続・設定編 14 ページ
付属の電源コードを接続します。

② **冷却用ファン**
通風孔をふさがないでください。

③ **コンポーネント映像出力端子**
接続・設定編 15 ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにコンポーネント端子があるときに接続します。

④ **出力 1 端子**
接続・設定編 14 ページ
テレビや AV アンプに映像・音声信号を出力します。

⑤ **HDMI 出力端子 接続・設定編 16 ページ**
テレビやモニターに映像／音声信号を出力します。テレビやモニターに HDMI 端子があるときに接続します。

⑥ **スカパー連動（CS データ）端子**
接続・設定編 19 ページ
スカパー！チューナーの CS データ端子と接続します。

⑦ **入力 1（BS デコーダ入力）端子**
接続・設定編 18 ページ
WOWOW を受信するときに、BS デコーダの映像・音声出力端子と接続します。また、他のビデオデッキやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてもお使いになれます。

⑧ **VHF/UHF 出力端子**
接続・設定編 14 ページ
テレビのアンテナ入力端子と接続します。

⑨ **VHF/UHF 入力端子**
接続・設定編 14 ページ
テレビのアンテナ線を接続します。

⑩ **検波出力端子 接続・設定編 18 ページ**
WOWOW を受信するときに、BS デコーダの FM 検波入力端子と接続します。

⑪ **検波入力端子 接続・設定編 18 ページ**
BS 内蔵テレビなどの検波出力端子と接続します。

⑫ **BS アンテナ入力端子**
接続・設定編 18 ページ
BS アンテナを接続します。

⑬ **LAN 端子 接続・設定編 57 ページ**
パソコンと接続します。
パソコンから本機を操作したり、録画予約をすることができます。

⑭ ビットストリーム／ PCM（光／同軸）端子
接続・設定編 15 ページ
デジタル音声信号を出力します。デコーダ内蔵 AV アンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。

⑮ 出力 2 端子
接続・設定編 14 ページ
テレビや AV アンプに映像・音声信号を出力します。

⑯ D1/D2 映像出力端子
接続・設定編 15 ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターに D1/D2 端子があるときに接続します。

⑰ 入力 3 D1 映像入力端子
接続・設定編 17 ページ
BS デジタルチューナーなどの外部機器に D1 出力端子があるときに接続します。
BS デジタルのワイド放送を録画するには、S1 もしくは D1 端子に接続してください。ただし、チューナー側の設定が正しくない場合や、映像端子（黄）で接続している場合には正しく動作しません。

⑱ 入力 3 端子 接続・設定編 17 ページ
CS デジタルまたは BS デジタルチューナーの映像・音声出力端子と接続します。また、他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてもお使いになれます。
BS デジタルのワイド放送を録画するには、S1 映像端子に接続してください。ただし、チューナー側の設定が正しくない場合や、映像端子（黄）で接続している場合にはアスペクト情報（画面比）が正しく検出されないことがあります。

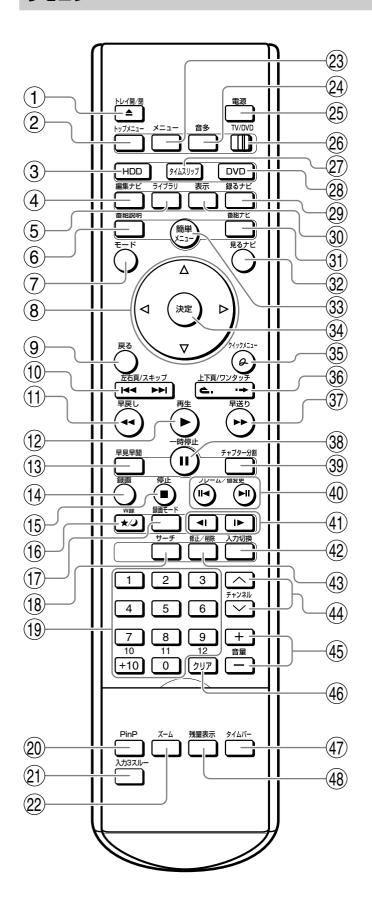
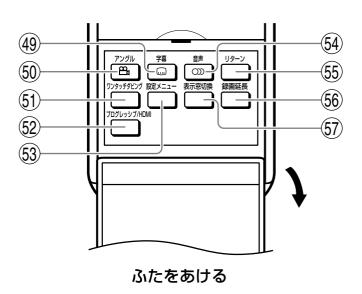
⑲ ビットストリーム出力端子
接続・設定編 18 ページ
WOWOW を受信するために、別途入手した BS デコーダのビットストリーム入力端子と接続します。

⑳ ビットストリーム入力端子
接続・設定編 18 ページ
BS 内蔵テレビなどのビットストリーム出力端子と接続します。

㉑ BS アンテナ出力端子
接続・設定編 18 ページ
BS 内蔵テレビなどの BS アンテナ入力端子と接続します。

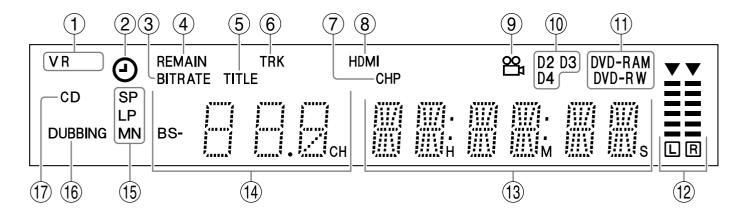
リモコン

トレイ開/閉
トップメニュー
メニュー
音多
電源
TV/DVD
HDD
タイムスリップ
DVD
編集ナビ
ライブラリ
表示
録るナビ
番組説明
簡単メニュー
番組ナビ
モード
見るナビ
決定
戻る
クイックメニュー
左右頁/スキップ
上下頁/ワンタッチ
早戻し
再生
早送り
一時停止
早見早聞
チャプター分割
録画
停止
W録
録画モード
サーチ
修正／削除
入力切換
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
+10
0
クリア
チャンネル
音量
PinP
ズーム
残量表示
タイムバー
入力3スルー

ふたをあける

① トレイ開／閉 ボタン ➡12ページ
② トップメニュー ボタン ➡ガイドブック60ページ
③ HDD ボタン ➡24、36ページ
④ 編集ナビ ボタン ➡58、78ページ
⑤ ライブラリ ボタン ➡ガイドブック122ページ
⑥ 番組説明 ボタン ➡50ページ
⑦ モード ボタン ➡50、62ページ
⑧ 方向(▲/▼/◀/▶)ボタン ➡13、98ページ
⑨ 戻る ボタン ➡98ページ
⑩ 左右頁／スキップ ボタン ➡62、64、70ページ
⑪ 早戻し ボタン ➡70ページ
⑫ 再生 ボタン ➡69ページ
⑬ 早見早聞 ボタン ➡70ページ
⑭ 録画 ボタン ➡35ページ
⑮ 停止 ボタン ➡37、63ページ
⑯ W録 ボタン ➡34ページ
⑰ 録画モード ボタン ➡24ページ
⑱ サーチ ボタン ➡50ページ
⑲ 番号 ボタン ➡35ページ
⑳ P in P ボタン ➡72ページ
㉑ 入力3スルー ボタン ➡11ページ
㉒ ズーム ボタン ➡63、72ページ
㉓ メニュー ボタン*1
㉔ 音多 ボタン ➡71ページ
㉕ 電源 ボタン ➡11ページ
㉖ TV ／ DVD スイッチ ➡接続・設定編45ページ
㉗ タイムスリップ ボタン ➡64ページ
㉘ DVD ボタン ➡24、36、62ページ
㉙ 録るナビ ボタン ➡52ページ
㉚ 表示 ボタン ➡73ページ
㉛ 番組ナビ ボタン ➡45ページ
㉜ 見るナビ ボタン ➡62、84ページ
㉝ 簡単メニュー ボタン ➡14ページ
㉞ 決定 ボタン ➡13、98ページ
㉟ クイックメニュー ボタン ➡13ページ
㊱ 上下頁／ワンタッチ ボタン ➡50、63、70ページ
㊲ 早送り ボタン ➡70ページ
㊳ 一時停止 ボタン ➡12、37、63ページ
㊴ チャプター分割 ボタン ➡37、77ページ
㊵ フレーム／値変更 ボタン ➡52、70ページ
㊶ スロー ボタン ➡70ページ
㊷ 入力切換 ボタン ➡34ページ
㊸ 修正／削除 ボタン ➡ガイドブック18ページ
㊹ チャンネル ボタン ➡11、35ページ
㊺ 音量 ボタン ➡接続・設定編45ページ
㊻ クリア ボタン ➡ガイドブック18、61ページ
㊼ タイムバー ボタン ➡73ページ
㊽ 残量表示 ボタン ➡ガイドブック14ページ
㊾ 字幕 ボタン ➡71ページ
㊿ アングル ボタン ➡71ページ
(51) ワンタッチダビング ボタン ➡85ページ
(52) プログレッシブ／HDMI ボタン
➡接続・設定編15、16ページ
(53) 設定メニュー ボタン ➡98ページ
(54) 音声 ボタン ➡71ページ
(55) リターン ボタン*2
(56) 録画延長 ボタン ➡ガイドブック13ページ
(57) 表示窓切換 ボタン ➡10ページ

*1 メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使って再生する」(➡ガイドブック60ページ)と同様の手順で行ないます。
ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

*2 リターンボタン
市販のソフトディスクで指定された画面に戻ります。
ディスク側の説明書もご覧ください。

表示窓

① **録画方式表示** ➪ 20 ページ
現在選ばれている記録方式が点灯します。（再生時にも点灯します。）
・V　：Video モード録画
・VR：VR モード録画

② **録画予約アイコン表示**
録画予約があるときに点灯します。

③ **ビットレート表示**
録画時設定されたビットレート値、または再生時の実際のビットレート値を表示しているときに点灯します。

④ **残量表示**
残量時間を表示しているときに点灯します。

⑤ **タイトル表示**
タイトル番号を表示しているときに点灯します。

⑥ **トラック表示**
トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑦ **チャプター表示**
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑧ **HDMI 表示** ➪接続・設定編 16 ページ
HDMI 接続が確立している場合に点灯します。

⑨ **アングルアイコン表示** ➪ 71 ページ
マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点滅します。

⑩ **D 出力表示** ➪接続・設定編 15、16 ページ
D 端子／HDMI の D 出力をしている場合に点灯します（D1 の場合は消灯します）。

⑪ **ディスク表示**
ディスクトレイに入っているディスクの種類が点灯します。

⑫ **音声出力レベルメーター**
音声の出力レベルを表示します。
L ＋ R　　：ステレオおよび二重放送（主＋副）
L　　　　：左チャンネル（主音声）
R　　　　：右チャンネル（副音声）
L、R 消灯：モノラル
レベルメーター表示はあくまでも目安であり、正確に音量を表示するものではありません。

⑬ **マルチ表示**
現在の時刻、経過時間、残量、録画予約時刻、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑭ **チャンネル表示**
チャンネル、外部入力、タイトル番号、トラック番号、ビットレートなどを表示します。

⑮ **画質モード表示** ➪ 24 ページ
現在選ばれている録画画質モードが点灯します。
MN（マニュアル＝任意）／ SP（スタンダード・プレイ＝標準）／ LP（ロング・プレイ＝長時間）／
A1、A2、DL のときは「MN」「SP」「LP」が同時に点灯します。

⑯ **ダビング表示**
番組のコピーまたは移動中に点灯します。

⑰ **CD 表示**
ディスクトレイに CD が入っているときに点灯します。

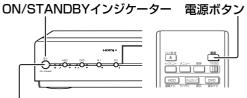
■ 表示窓の見かた

表示窓切換
チャンネル表示、タイトル番号、時刻表示など、それぞれの表示をリモコンの「表示窓切換」ボタンで切り換えます。
ディスクや録画されている状態によって表示が切り換わらないことがあります。

電源を入れる／番組を見る／ディスクを入れる

電源を入れる

・テレビの電源を入れて、本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換えてください。

1 本体の「ON/STANDBY」またはリモコンの「電源」を押す

電源がはいると、本体の ON/STANDBY インジケーターが、赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。
画面上には、「Loading」（読み込み中）アイコンが表示され本機が使えるまでの準備をしています。

起動・ディスクの読み込み・録画終了時に表示されます。

電源の切りかた

本体の「ON/STANDBY」またはリモコンの「電源」を押します。

ON/STANDBY インジケーターが赤に変わり、そのあと電源が切れて待機状態になります。

ディスクの取出し・終了時に表示されます。

お知らせ

- 本機が操作中に止まってしまい、15 分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった場合は、本体の「ON/STANDBY」を約 10 秒間押し続けると、強制的に電源を切ることができます。ただし、非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用されるときは、十分注意していただくとともに、頻繁に行なわないでください。正常な動作中、特に「Loading」、「Unloading」のアイコンの表示中などに行なうと、ディスクを初期化しなければならなくなる場合があります。

本機を通してテレビを見る

本機の電源がはいったあとは、通常は放映中の映像が接続したテレビに出ています。

「チャンネル」を押して、見たい番組を選びます。

入力３スルー機能を使う

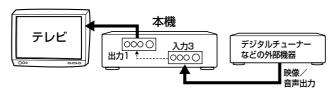
デジタルチューナーなどの外部機器を本機背面の入力３端子に接続していると、本機の電源を切った状態（待機状態）でもリモコンの「入力３スルー」ボタンを押すだけで、外部機器からの番組が見られます。

入力3スルー

本機の電源が待機状態でも、接続を変えずに、そのまま見られます。

- 番組選局は、外部チューナー側のチャンネル切換えで行なってください。
- 本機が電源入りの状態で、この機能が働いているときは、本体表示窓に「MONI」が表示されます。
- 入力３スルー機能を解除するには、もう一度「入力３スルー」を押します。

接続

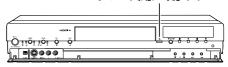
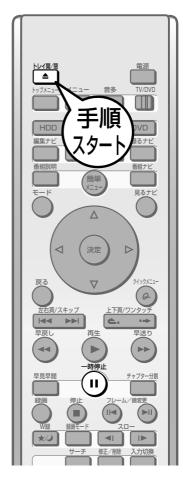
接続例は、接続・設定編 17、19、20 ページをご覧ください。

- デジタルチューナーなどの外部機器を本機背面の入力３端子に接続する
- 出力１端子とテレビを接続する
- 本機入力３端子（S 端子）と外部機器を接続した場合は、必ず本機出力１端子（S 端子）とテレビを接続する
- 本機入力３端子（映像／黄）と外部機器を接続した場合は、必ず本機出力１端子（映像／黄）とテレビを接続する

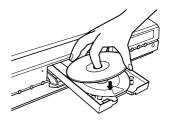
  入力３端子と出力１端子の接続端子の種類が異なると、本機能が働きませんのでご注意ください。

お知らせ

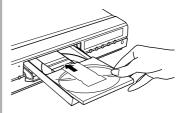
- 入力３の D1 端子からの映像は、この機能が働きません。
- 「入力３スルー」ボタンを押してこの機能を使うと、本機から「カチッ」と音がしますが、これは異常ではありません。
- 入力３スルー機能が働いているときは、出力１端子、出力２端子ともに、S 映像信号は出力されますが、画面比を切り換える S1 信号は出力されません。
- 本機に接続された外部機器の状態や本機の動作状態によっては、入力３スルー機能を使うとノイズが入ったり、音量の低下がおこったりすることがあります。そのため録画をするときは、入力３スルー機能を使わないでください。

ディスクの入れかた

トレイ開／閉ボタン

1

本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押す

●カートリッジなし

ラベル面を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

●カートリッジあり

片面ディスク

印刷がある面を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

両面ディスク

記録／再生する面の表示を上にして、矢印を奥に向け、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

ディスクを入れたら本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押してトレイをとじます。

トレイの引出し時に表示されます。

トレイの収納時に表示されます。

トレイロック機能

ディスクトレイが不意の操作で開かないようにロックできます。

一時停止

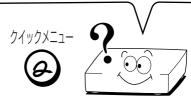
リモコンの「一時停止」を約３秒以上押しつづける

- ロックを解除するときも、停止中に「一時停止」を約3秒以上押しつづけます。
  電源を切ると、ロックは解除されます。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護機能によって自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損することがありますのでご注意ください。
- 万一ディスクがトレイから取り出せなくなった場合は、いったん本機の電源を切ります。その後本体またはリモコンの「トレイ開／閉」を押せば、本機の電源がはいってディスクトレイが開くことがあります。この操作を行なってもディスクが取り出せない場合は、本取扱説明書の裏表紙に記載の「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出る DVD-RAM を、本機以外の機器で録画／再生すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので注意してください。
  ディスクを初期化して正常な状態に戻した場合は問題なく使用できます。

クイックメニューの使いかたと状態表示

録画中／再生中など今どんな機能が使えるかが一目で確認でき、操作できます。困ったら、まずクイックメニューを出してみましょう。

クイックメニューの使いかた

1 「クイックメニュー」を押す

例

クイックメニュー
現在使える関連機能の一覧が表示されます。

2 方向ボタンでメニューを選び、「決定」を押す

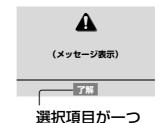
画面に表示される方法に従って操作することで、いろいろな機能が使えます。

メッセージが現れたら

操作中、メッセージ画面が表示されることがあります。状況によって内容は異なりますが、おもに以下のように操作してください。

選択項目が二つ

方向ボタン（◄/►）でどちらかを選んだあと（緑色で選択）「決定」を押してください。
メッセージ画面が消えます。

選択項目が一つ

内容を確認したら「決定」を押してください。
メッセージ画面が消えます。

選択項目なし

自動的に消えます。

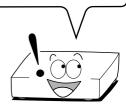
状態表示

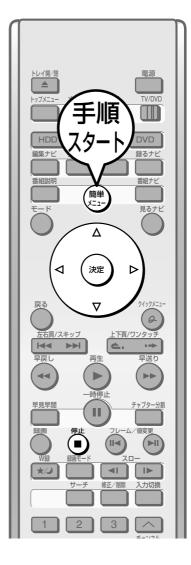
操作をすると、以下のようなマーク（アイコン）が画面左上に約 3 秒間表示され、動作の状態を示します。

おもな状態表示

- ►：再生
- II：一時停止
- ■：停止
- ►►：早送り
- ◄◄：早戻し
- ►►I：進む方向のスキップ(頭出し)
- I◄◄：戻る方向のスキップ(頭出し)
- I►x1/2：進む方向のスローモーション
- ◄Ix1/2：戻る方向のスローモーション
- II►：コマ送り
- ◄II：コマ戻し
- ●：録画
- ●II：録画一時停止
- タイトルエンド：タイトルの最後まで再生したときに表示
- ：ワンタッチスキップ
- ：ワンタッチリプレイ
- チャプター分割：チャプター分割
- ：進む方向の1/20スキップ
- ：戻る方向の1/20スキップ

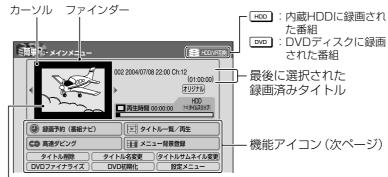
簡単メニューで操作する

操作は「簡単メニュー」から始めると便利です。

準備

- 「TV／DVD」スイッチを「DVD」にします。
- テレビの電源を入れて、本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換えます。

1 「簡単メニュー」を押す

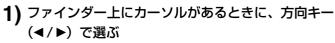
「簡単メニュー」画面が表示されます。

（表示される画面は操作状態で変わります。また音声は聞こえません。）

例：

録画済みの番組の1シーンを表示した小さな画面を「サムネイル」と呼びます。

■ファインダーの使い方

「簡単メニュー」画面を表示したときには、最後に選択されたタイトルのサムネイルがファインダーに表示されています。
（DVD-R/RW（Video モード）では本機で録画されファイナライズされていないものだけが対象です。）

1) ファインダー上にカーソルがあるときに、方向キー（◀/▶）で選ぶ

録画済みタイトルのサムネイルが表示されます。
（フォルダ機能で施錠されているカギ付フォルダ内のタイトルは表示されません。）

- 表示するドライブを「HDD」、「DVD」で選べます。

2) ファインダー上で再生したい番組（タイトル）のサムネイルが表示されたら、「再生」または「決定」を押す

選んだ番組の再生が始まります。

- ファインダー上で再生中に、「決定」を押すと、フルスクリーンで表示されます。
- 再生の操作方法の詳細は、61ページ～をご覧ください。

3) 「停止」を押して再生を止める

■機能アイコンの使いかた

方向ボタン（▲/▼/◀/▶）で操作したい機能アイコンを選び、「決定」を押す

「番組ナビ」画面になります。番組表を使って録画予約をします。
⇨45ページ

残したい番組をダビングします。
⇨84ページ

「見るナビ」画面になります。
⇨62ページ
（録画済みの番組を一覧表示して再生できます。）

現在の番組のシーンをDVD-Video作成するときのメニュー背景にできます。
⇨ガイドブック90ページ

タイトル削除	ファインダー上に表示されている番組を削除します。メッセージで「はい」を選ぶと、その番組を削除します。
タイトル名変更	ファインダー上に表示されている番組のタイトル名を変更できます。 ⇨ガイドブック17ページ
タイトルサムネイル変更	ファインダー上に表示されている番組のサムネイル画面を変更できます。 ⇨ガイドブック54ページ
DVDファイナライズ	DVD-R/RWを他のDVDプレーヤーなどで再生したいときに、DVD-VideoまたはDVD-VRファイナライズ処理をします。 ⇨90、91ページ
DVD初期化	本機の機能を十分に使うために、新品のDVD-RAM/R/RWを初期化します。 ⇨26ページ ※DVD-Rの初期化はVRモードでお使いになる場合に必要です。
設定メニュー	各設定画面になります。⇨98ページ

2

終了するときは､｢簡単メニュー｣を押す

取扱説明書のディスク表記について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。

■使用可能を表すマーク

〈全章にわたり使用〉

マーク	表すメディアの種類	表す録画モード
HDD	内蔵HDD（ハードディスクドライブ）	VRモード
DVD-RAM	DVD-RAM	VRモード
DVD-RW（VRモード）	DVD-RW	VRモード
DVD-RW（Videoモード）	DVD-RW	Videoモード
DVD-RW	DVD-RW	VRモード、Videoモード共通
DVD-R（VRモード）	DVD-R	VRモード
DVD-R（Videoモード）	DVD-R	Videoモード
DVD-R	DVD-R	VRモード、Videoモード共通

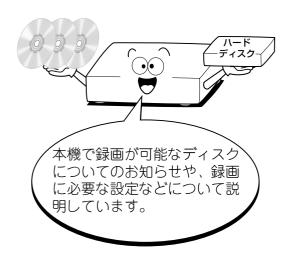
〈再生・機能設定の章のみで使用〉

マーク	表すメディアの種類
DVDビデオ	DVDビデオディスク
CD	音楽用CD

■使用不可を表すマーク

（例）

	表示マークが左のようなときは、その機能についてディスクが使用できないことを表します。（左のアイコン表示は、DVD-R（Videoモード）が使用できないことを表しています。）

操作方法は特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使いかたも同じです。

録画の前に

本機で録画をする前に知っておきたいことや準備について説明しています。

- **本機で録画が可能なディスク**
- **録画モードとディスクの選択**
- **1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画について**
- **録画モード（録画画質／音質）の設定をする**
- **DVD-R ／ RW（Video モード）で録画するときの設定**
- **録画する前のディスクの初期化**

本機で録画が可能なディスク

録画 / 再生が行なえます

ディスク	マーク（ロゴ）	内容	録画対応モード	1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）録画の対応	推奨ディスク／確認済ディスク *1
内蔵 HDD（ハードディスクドライブ）		RD-XS57：300GB	VR モード	可	
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	· 片面 4.7GB(12cm) · 両面 9.4GB(12cm) · 規格 *2 Ver.2.0 または 2.1、2.2 に準拠	VR モード	可 *3 (CPRM 対応のものに限る)	**推奨ディスク** Panasonic（2X、3X、5X）
DVD-RW	DVD RW	· 12cm · 規格 Ver.1.1 Ver.1.2	VR モード	可 (CPRM 対応のものに限る)	**推奨ディスク** ビクター · JVC（2X、4X、6X）
			Video モード	不可	
DVD-R	DVD R	· 12cm · DVD-R For General · 規格 Ver.2.0	VR モード	可 (CPRM 対応のものに限る)	**推奨ディスク** 太陽誘電（4X、8X、16X） 東芝 RD-RVR 120（CPRM 対応） 東芝 RD-RVR 120P5（CPRM 対応） 太陽誘電 DR-C12WTY5PA（CPRM 対応） 太陽誘電 DR-C12WPY10SA（CPRM 対応） 太陽誘電 DR-C12WPY10BA（CPRM 対応） 日立マクセル DRD120B.1P（CPRM 対応） 日立マクセル DRD120B.1P5S（CPRM 対応）
			Video モード	不可	
		· 12cm · DVD-R For DL · 規格 Ver.3.0	Video モード *5	不可	**確認済ディスク** 三菱化学メディア（4X）

*1 推奨ディスク、確認済ディスクについて、動作確認はしておりますが、すべてのディスクの動作を保証するものではありません。
*2 · 記載された規格に準拠していない (他の規格でフォーマットされた)DVD-RAM は、そのままでは使用できません。
ご使用になる場合は、本機のディスク初期化機能で初期化してお使いください。
· 規格に準拠した DVD-RAM でも、他社の機器やパソコンで記録 · 編集されたもの、タイトル数が非常に多かったり空き容量が少ないものなどは、録画 · 編集 · ダビングができない場合があります。
また、静止画を含むタイトルなども編集やダビングができない場合があります。
· パソコンで UDF2.0 で初期化された DVD-RAM は、DVD-RAM 規格の Version2.0 に準拠しておりません。必ず本機で初期化しなおしてからお使いください。
*3 DVD-RAM は、パッケージに「このディスクは 4.7GB DVD-RAM ディスクに対応したビデオレコーダーとドライブでご使用いただけます」や「このディスクは 1 回だけ録画が可能な番組の録画にも対応しています」または「CPRM 対応ディスク」などの表示があるディスクを選んでお使いください。
*4 カートリッジ付きディスクについて

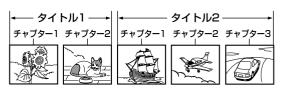
· カートリッジには、中のディスクが取り出せるもの (TYPE2/4) と取り出せないもの (TYPE1) があります。
取り出せるものでも、できるだけ取り出さずに使用することをお勧めします。
市販品の中には、カートリッジからディスクを取り出すと、録画 · 編集ができなくなるものがあります。
· カートリッジのシャッターは手であけないでください。中のディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでもはいると、正常に録画 · 再生 · 編集できなくなることがあります。
· 録画内容を誤って消さないために · · ·
カートリッジには録画を禁止する機能がついています。
ライトプロテクトタブ (誤消去防止用のつまみ) を先の細いもので「PROTECT」側にしてください。
再生はできますが、録画や消去はできなくなります。ディスクの説明書もご覧ください。

***5 DVD-R DL（デュアル · レイヤー：片面 2 層ディスク）について**
本機では「DVD-Video 作成」(➡ 92 ページ) だけで使用できます。それ以外の録画に使うことはできません。

	備考
	・本機では、カートリッジ付きDVD-RAM(市販品)をお使いになることをお勧めします。*4 カートリッジ付きのディスクのほうがカートリッジなしディスクに比べてキズやほこりなどが付きにくいので、安定した録画・再生・編集が行なえます。 ・カートリッジなしディスク(市販品)を使う場合は、指紋やキズなどがつかないように注意して取り扱ってください。
	・ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。 ・録画が禁止または制限されている映像(コピー禁止やコピーワンス)は、Videoモードでは録画できません。コピーワンスの映像を録画するには、CPRM対応の表示があるディスクを、VRモードで初期化してご使用ください。(VRモードとVideoモードの切換は初期化をしなおすことで行なえますが、 録画されていた内容はすべて消去されます。) ・くり返し録画ができる回数には限りがあります。また、くり返し録画を行なうなどで記録層の劣化が進むと、本機で録画再生が可能でも、他機種やパソコンでの再生ができなくなる場合があります。
	・2倍速記録対応ディスク(Ver.2.0/2Xなどと表記)や4倍速記録対応ディスク(Ver2.0/4Xなどと表記)も使用できます。 ・ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。 ・録画が禁止または制限されている映像（コピー禁止やコピーワンス）は、Videoモードでは録画できません。コピーワンスの映像を録画するには、 CPRM対応の表示があるディスクを、VRモードで初期化してご使用ください。（VRモードとVideoモードの初期化をしなおすことはできません。）
	・ビデオ用、録画用などの表示があるディスクを選んでください。 ・録画が禁止または制限されている映像（コピー禁止やコピーワンス）は、録画できません。 ・本機では「DVD-Video作成」(➡92ページ）と再生だけで使用できます。それ以外の録画に使うことはできません。

●万一、何らかの不具合が発生した場合でも、録画／編集ができなかった内容の補償、録画／編集されたデータの損失、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような場合に発生した不具合も含まれます。
・本機で録画した DVD ディスクを他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで動作（挿入、再生、録画、編集など）させた場合。
・上記の動作を行なった DVD ディスクを、再び本機で動作させた場合。
・他社の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで記録した DVD ディスクを本機で動作させた場合。
● PC 用のディスクではライブラリ機能など一部の機能が正常に働かない場合があります。

ディスクの内容の区分

●DVD-RAM/R/RWまたは内蔵HDDに録画をした場合、1回の録画を一つの「タイトル」として収録します。
●「タイトル」は本機の編集機能で「チャプター」という小さい区切りに分けることができます。

タイトル： 1回の録画内容を一つの「タイトル」とします。
チャプター： タイトルの内容を、場面ごとにさらに小さく区切ったものです。

ディスクの取扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。メガネふきのような柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
●ディスクの説明書もよくお読みください。

ディスクの保管のしかた

●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。
●ディスクの説明書もよくお読みください。

録画モードとディスクの選択

VRモードとVideoモードについて

同じ DVD ディスクでも、VR モードで録画するか、Video モードで録画するかによって、以下のような違いがあります。ディスク選択やモード選択の際の参考にしてください。

	VR モード（DVD-Video Recording）	Video モード
対応ディスク	• 内蔵HDD（ハードディスク） • DVD-RAM（Ver.2.0/2.1/2.2） DVD RAM RAM4.7 くり返し録画・消去できます。 • DVD-RW（Ver.1.1/1.2）※VRモードに初期化したもの*1 DVD RW くり返し録画・消去できます。 • DVD-R（Ver.2.0）※VRモードに初期化したもの*2 DVD R R4.7 一度録画すると、消去して書き換えることができません。（編集によって不要なタイトルやチャプター削除ができますが、削除した分のデータ容量が復帰することはありません。）	• DVD-RW（Ver.1.1/1.2）※Videoモードに初期化したもの*1 DVD RW くり返し録画・消去できます。 • DVD-R（Ver.2.0/3.0） DVD R 一度録画すると、消去して書き換えることができません。 内蔵HDDからこのモードのDVD-Rにダビングする場合、DVD互換モードを「入」で録画したタイトルでないと、二カ国語放送の主・副音声が混在した音声になってしまうなど、正しくダビングができませんのでご注意ください。
二カ国語放送の音声について（DVD 互換モードの選択 *3）	以下の三とおりからお好みの音声を選択できます。 ①DVD互換モード「切」： 再生時に音声（主・副）を選択できます。 ②DVD互換モード「入（主音声）」： 主音声で録画されます。 ③DVD互換モード「入（副音声）」： 副音声で録画されます。	DVD-Video規格によって、音声は主音声か副音声のどちらか一方しか録画できません。以下の二通りからの選択になります。 ①DVD互換モード「入（主音声）」： 主音声で録画されます。 ②DVD互換モード「入（副音声）」： 副音声で録画されます。 ※DVD互換モードを「切」に設定しても、「入（主音声）」で録画されます。
編集機能について	• 不要部分の削除やチャプター分割、プレイリスト編集など、録画したあとに編集できます。	• 録画したあとに編集することができません。 （録画しながらチャプター分割することなどは可能）
コピーワンス番組の録画について	• 「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を録画できます。 **（CPRM対応のディスクであることが必要です。）**	• 「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組は、録画できません。
他プレーヤーとの互換性	• このモードで録画したディスクは、それぞれのディスクのVRモード再生に対応したDVDプレーヤーでだけ再生ができます。また、「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を録画したディスクは、プレーヤーがCPRMに対応していなければ再生できません。	• 本機で録画したディスクをファイナライズすることによって、他のDVDプレーヤーでも再生することができます。 （再生できないプレーヤーもあります。）

***1 DVD-RW について**

本機で新品の DVD-RW をご使用になるときは、まず VR モードで使うか Video モードで使うかを選んで初期化をする必要があります。初期化の方法は26 ページをご覧ください。

***2 DVD-R について**

・DVD-R DL（2 層）の場合は初期化は不要です。本機では「DVD-Video 作成」（92 ページ）と再生だけのご使用となります。
・本機で DVD-R を VR モードでご使用になるには、VR モードに初期化をすることが必要です。（初期化をしない場合は、Video モードとして認識されます。）初期化の方法は26 ページをご覧ください。
・DVD-R の場合、一度初期化をすると、再度初期化しなおすことはできません。また、VR モードに初期化をしても、他のディスクと違い、編集回数などの編集機能にいくつかの制限があります。編集機能の制限や注意事項について詳しくはガイドブック 70 ページをご覧ください。

***3 DVD 互換モードの設定のしかたは25 ページをご覧ください。**

※その他 DVD ディスクの使い分けについての詳細は次ページからの「DVD ディスク使い分けのヒント！（はじめて HDD&DVD レコーダーをお使いになる方へ）」、「DVD-R/RW の VR モードについて」をご覧ください。

DVD ディスク使いわけのヒント！
（はじめて HDD & DVD レコーダーをお使いになる方へ）

本機は DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW の 3 種類の DVD ディスクに対応しています。
ディスクにはそれぞれ特徴があります。

対応メディア	DVD-RAM	DVD-R	DVD-RW
特　徴	くり返し録画が可能	1回だけ録画が可能	くり返し録画が可能
メディアの容量	(片面)4.7GB/(両面)9.4GB	(1層)4.7GB/(2層)8.5GB	4.7GB
おすすめ用途	・VRモードでの録画・編集 ・録画番組のバックアップ	・DVD-Videoの作成	・DVD-Videoの試し書き・作成 ・録画番組のバックアップ
備　考	DVD-RAM対応のDVDレコーダーなどでの再生や編集が可能。カートリッジタイプはキズやホコリが付きにくい	DVD-R対応のDVDプレーヤーなどでの再生が可能	DVD-RW対応のDVDプレーヤーなどでの再生が可能

・初めてお使いになる方は、DVD-RAM、DVD-R（Video モード）、DVD-RW（Video モード）をお使いになることをお薦めします。
・応用的な使い方として DVD-R（VR モード）、DVD-RW（VR モード）があります。➡ 次のページ

■ たいせつな映像を保存するには…DVD-RAM

たいせつな映像を保存するにはカートリッジ付き DVD-RAM をお使いください。カートリッジ付きは両面ディスクでも扱いやすく、保存性にも優れています。録画のときの制限事項も少なく、CPRM 対応のディスクなら 1 回だけ録画可能な映像の録画にも対応しています。
DVD-RAM は、DVD プレーヤーなど他の DVD 機器では再生できないことがありますので、ご注意ください。他の DVD 機器で再生する場合は、DVD-RAM に対応しているかご確認ください。

■ DVD プレイヤーなどの他の DVD 機器で再生するには…DVD-R（Video モード）

DVD プレーヤーなど他の DVD 機器で再生したい場合は、互換性の高い DVD-R（Video モード）をお使いください。DVD-R DL（2 層）を他の DVD 機器で再生する場合は、DVD-R DL（2 層）に対応しているかご確認ください。
はじめにフォーマット (初期化) をしないで録画すると、DVD プレーヤーなどの互換性のある他の DVD 機器で再生できる Video モードで録画されます。
DVD-R は録画が 1 回しかできず、録画したものを消去することもできません。また、他の DVD 機器で再生したい場合は、ファイナライズ（終了処理）が必要です。
Video モードでお使いの DVD-R は、デジタル放送のコピーワンス番組（1 回だけ録画可能な番組）の録画ができないなど、録画に関する制約事項が多数あります。CPRM 対応のディスクでも Video モードで使用する場合には、コピーワンス番組を録画することはできません。

■ DVD-R の試し書きや DVD プレーヤーなどで再生するには…DVD-RW（Video モード）

DVD-R にダビングする前に、書き込めるか確かめたいとき、ディスクにすでに書かれている録画内容を消して、くり返し使いたいとき、また、DVD プレーヤーなど他の DVD 機器で再生したい場合は DVD-RW をお使いください。
ただし、一部の DVD 機器では再生できないことがあります。
使用する前 (録画前) に Video モードでのフォーマット (初期化) が必要です。他の DVD 機器などで再生するためにはファイナライズ（終了処理）が必要です。コピーワンス番組の録画については、DVD-R と同様です。

DVD-R/RW の VR モードについて（応用的な使いかたをする方へ）

VR モードを使用することで、DVD ディスクの使いこなしの幅が広がります。ただし、ディスクの使用に関してさまざまな制約があるため、DVD レコーダーをはじめてお使いになる方や、DVD-R/RW を他の DVD 機器などで再生するために使用している方は、このモードでの使用は控えてください。
以下をお読みになり、ディスクの使い分けができると判断された場合だけ、DVD-R/RW の「VR モード」をお使いください。

■ VR モードとは…

VR モードは、録画の際の制限事項が少なく、CPRM 対応のディスクならデジタル放送などの 1 回だけ録画が可能 (コピーワンス) の映像を録画することもできる録画方式です。このモードは内蔵 HDD や DVD-RAM の録画に使用されているモードですが、本機では、初期化をすることで DVD-R、DVD-RW でもこのモードを使った録画が可能です。ただし、このモードで録画されたディスクは、本機または各ディスクの VR モードの再生に対応した機器でないと再生ができません。（本機以外で再生するにはファイナライズ処理をすることをお勧めします。）
VR モードに未対応の機器に VR モード録画をしたディスクを挿入すると、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。

■ DVD-R/RW で VR モードを使う際の注意点

- DVD-R/RW に VR モードで録画するには、録画する前に必ず VR モードでのディスクの初期化（論理フォーマット）をしてください。（26 ページ）ただし、DVD-R DL（2 層）の場合、本機では「DVD-Video 作成」（92 ページ）と再生だけのご利用になりますので、VR モードの初期化はできません。
- DVD-R ディスクを初期化せずに録画した場合は、Video モードでの録画になります。
- 1 回だけ録画が可能（コピーワンス）の映像を録画したいときは、新品の「CPRM 対応」表示のあるディスクをお使いください。
- 「CPRM 対応」「VR モード録画対応」の表示があるディスクでも、はじめに必ず VR モードでのディスクの初期化をしてください。
- 「VR モード録画対応」の表示がない DVD-R ディスクでも、VR モードで初期化をすると録画ができることがありますが、動作については保証できません。
- **本機で VR モードで録画したディスクは、本機および VR モードに対応した機器以外では再生ができません。
VR モード未対応の機器にディスクを挿入すると、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。
その際の障害や損害など、当社は一切の責任を負いません。**
- **CPRM 対応という表示のある DVD-R/RW ディスクに VR モードで録画した場合でも、本機および CPRM 方式に対応した機器以外では再生ができません。未対応の機器にディスクを挿入するだけで、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。
その際の障害や損害など、当社は一切の責任を負いません。**
- DVD-R の VR モード録画は、録画したあとの編集回数に制限があります。
その他編集時の制約についての詳細はガイドブック 70 ページをご覧ください。
- 本機で DVD-R の VR モードで録画する場合は、以下の推奨ディスクをお使いください。

CPRM対応DVD-R 推奨品

メーカー	東芝	太陽誘電	日立マクセル
形名	RD-RVR120 RD-RVR120P5	DR-C12WTY5PA DR-C12WPY10SA DR-C12WPY10BA	DRD120B.1P DRD120B.1P5S

1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画について

デジタル放送は番組制作者等の著作権を守るため、コピー制御信号を入れて録画を 1 回に制限する「1 回だけ録画可能」な（コピーワンス）番組を放送しています。

■ デジタル放送の録画制限と CPRM 対応について

ディスク / 放送番組の種類	HDD	DVD-RAM		DVD-R※		DVD-RW	
		（CPRM対応）	（CPRM非対応）	（CPRM対応）	（CPRM非対応）	（CPRM対応）	（CPRM非対応）
制限なしに録画可能／コピー可能	○	○	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能（コピーワンス）	○	○	×	○	×	○	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×

※ DVD-R DL（2層）では録画ができません。（⇨18ページ）　○：録画ができます　×：録画ができません

- 「1 回だけ録画可能」な番組は CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクで録画ができます。
- 「1 回だけ録画可能」な番組を録画したディスクを、他の機器で再生する場合は、その機器が CPRM 方式の著作権保護技術と各ディスクの VR モードの再生に対応している必要があります。
- CPRM 対応の DVD-R/RW で「1 回だけ録画可能」な番組を録画する場合は、お使いになる前に VR モードで初期化（論理フォーマット）してください。

■ 本機での録画

- 1 回だけ録画可能な（コピーワンス）番組は一世代だけ録画が許された番組で、録画するとその時点で一世代目となり、コピー禁止のタイトルとなります。
- 内蔵 HDD（ハードディスク）に録画した場合は、CPRM 対応の DVD メディア（DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW）に対して高速ダビングまたはレート変換ダビングによる「移動」のみ可能です（逆方向はできませんので、ご注意ください）。移動すると内蔵 HDD 内の移動された部分のみ削除されます。
- Video モードは、コピーが制限されたタイトルを録画することが規格として対応できません (コピー管理システムに対応していないためです)。

■ 各機能別の対処方法および制限

- 見るナビ : タイトル一覧 / チャプター一覧
  - ・コピーワンス番組のタイトルは、タイトルサムネイル、チャプターサムネイルともに保存しない仕様となり、表示するたびに、ディスク内のサムネイル画面を検索するため、表示に時間がかかります。
  - ・タイトル名の末尾の行にコピー禁止マークが表示されます。
- 簡単メニュー・見るナビ : 高速ダビング、レート変換ダビング
  - ・「移動」のみ選択できます。
  - ・一つのチャプターを移動した場合、その部分のみが移動され、残されたタイトルは移動した部分が欠けた状態になり、元に戻すことはできません。
  - ・一つのタイトルから必要な部分だけをディスクに保存するには、まず不要なチャプターを「編集ナビ」の「一括削除」または「見るナビ」のクイックメニューで削除し、必要な部分だけの [オリジナル] タイトルにして、これを高速ダビングでタイトルとして移動します。移動後は、削除したチャプターは元に戻せませんので、残したい部分だけの［プレイリスト］を作成してそれを再生し、つながり具合を十分確認してから、不要なチャプターを削除することをお勧めします。
  - ・移動は、作成したチャプターごとではなくタイトルごとに行なってください。チャプターを一つ一つ移動させると、移動先でそれぞれがタイトルとなり、あとで結合しても再生時に一瞬静止するようになってしまいます。
  - ・余計にチャプター分割をしすぎた場合は、移動前に「チャプター編集」のクイックメニューから「前と結合」、「後ろと結合」など、チャプターを結合をして、いったん移動する単位に戻してください。DVD ディスクに移動したあとで、あらためてチャプター分割してください。
- 編集ナビ : 一括・高速ダビング、一括・レート変換ダビング
  - ・「移動」に対応していないため、ご利用になれません。
- ラインUダビング
  - ・事実上の再録画によるコピーとなるため、利用できません。
- 編集ナビ : プレイリスト編集
  - ・プレイリスト作成は可能です。作成したプレイリストも高速ダビング、レート変換ダビングでの「移動」ができます。ただし「移動」をした場合、そのプレイリストが参照しているオリジナルタイトルの部分が削除されます。
- 編集ナビ :DVD-Video 作成、DVD-Video ファイナライズ、DVD-Video 背景画面登録
  - ・Video モードは、コピーが制限されたタイトルを録画することが規格として対応できないので、コピーワンスでの DVD-Video 作成はできません。したがって、DVD-Video 背景画面登録もできません (コピー管理システムに対応していないためです)。

録画モード（録画画質／音質）の設定をする

録画モード（画質と音質の組合せ）で、録画できる容量が変わります。
よく使う録画モードをあらかじめ設定しておくと、録画するときに設定する手間が省けて便利です。

録画の画質／音質の詳細設定

1 停止中にクイックメニューを押す

クイックメニュー

2 方向ボタン（▲/▼）で「録画・画質／音質設定」を選ぶ

3 画質／音質の設定をする

（例）

画質・音質の組合せを作る（お好み設定）

1）方向ボタンで項目（「モード」、「レート」、「音質」）を選ぶ
2）「値変更」を押して設定を変える

画質／音質の組合せを選択する（録画・画質／音質設定）

1）方向ボタンで録画先（「HDD」、「DVD」）を選ぶ
2）「値変更」で「お好み設定」の設定 No. を選ぶ
3）「決定」を押す

お知らせ

- 以下の表で×になっている画質と音質の組合せは設定できません。（A1、A2、DL は録るナビ予約、メール予約のときだけ選択可能。52 ページ、ガイドブック 104 ページ）

	音質設定					
	D /M1		D /M2		L-PCM	
画質設定	DVD	HDD	DVD	HDD	DVD	HDD
SP	○	○	○	○	×	×
LP	○	○	○	○	×	×
MN	○	○	○	○	○	○
A1	○	○	○	○	○	○
A2	×	○	×	○	×	○
DL	×	○	×	○	×	○

録画モードの設定方法

1 HDD/DVDの録画モードの設定：

HDD
DVD

1）録画モードを設定したい「HDD」／「DVD」を押す
2）「録画モード」を押して録画モードを選ぶ

SP LP MN 選んでいる録画モードが表示されます。

「録画モード」を押すたびに左記手順3の（お好み設定）の設定No.順に変わります。

例 SP→LP→MN→MN→MN
(1) (2) (3) (4) (5)

例：DVD-RAM片面4.7GBに録画した場合の目安

録画モード	録画時間	画質
SP	約2時間	標準
LP	約4時間	SPより劣る
MN	自由に変更できます。（お好み設定）で設定してください。	

- 録画中は、録画モードの変更ができません。
- 「表示窓切換」をくり返し押して、表示窓にビットレート表示（「BITRATE」）を点灯させると、モードとレートが確認できます。

DVD-R ／ RW（Video モード）で録画するときの設定

他のDVDプレーヤーで見るためなどの目的で、Videoモードで録画（20ページ）したいときに必要な設定です。

設定する項目

Videoモードで録画する場合、DVD-Video規格による制約があります。そのため、録画する前に以下の設定をしておく必要があります。のちに内蔵HDDからDVD-R/RW（Videoモード）にダビングする場合も、あらかじめ設定しておいてください。

●DVD互換モード

DVD-Video規格によって、音声は主音声か副音声かのどちらかしか記録できません。

切：
DVD-Video作成を前提としていません。画質・音質の設定によっては、DVD-Video作成ができない場合もあります。（Videoモードのディスクに直接録画するときは、「切」を選んだ場合も「入（主音声）」で録画されます。）

入（主音声）：
音声多重放送の場合、元の主音声だけを左、右チャンネルの両方に記録します。

入（副音声）：
音声多重放送の場合、元の副音声だけを左、右チャンネルの両方に記録します。

●画面比（アスペクト比）

DVD-Video規格によって、1タイトルの中に通常の4：3放送と16：9スクィーズ放送の混在ができません。
そのため、録画前に、「4：3」か「16：9」の画面比を固定して選ぶ必要があります。

4：3固定： アスペクト比を4：3で固定します。
16：9固定： アスペクト比を16：9で固定します。

●チャプター分割

1タイトルをいくつかのチャプターに分ける設定です。チャプターを作ることで、シーンをとばすときに便利です。

切：チャプターの分割をしません。
5分、10分、15分、20分：
チャプター分割の間隔を選びます。
・チャプター数が上限に達したときは、チャプター分割されません。チャプター数の上限はディスクの状態で変わります。

お知らせ
・「Video モード記録時設定」（DVD 互換モードを除く）は初期化していない DVD-R や Video モードで初期化した DVD-RW を使用する場合にだけ有効です。
・「Video モード記録時設定」は「ダビング」の際には働きません。（使用できるものもあります。「ダビング」章をご覧ください。）

設定のしかた

1 停止中に、「設定メニュー」を押す

設定メニュー

設定画面が表示されます。

2 「録画機能設定」を選び、「決定」を押す

3 「Videoモード記録時設定」を選び、「決定」を押す

4 方向ボタン（▲/▼）で項目を選び、方向ボタン（◀/▶）で内容を選んだ後、「決定」を押す

録画する前のディスクの初期化

本機の機能を使う前に、新品の DVD ディスクは初期化をする必要があります（DVD-R の Video モードは除く）。
以下の表を参考にしてください。

	HDD	DVD-RAM	DVD-RW		DVD-R*4	
			VR モード	Video モード	VR モード	Video モード
録画前のディスク初期化	不要 *1	必要 *2	必要	必要	必要 *3	不要

*1 HDD 自身のトラブルで正常に使用できなくなった場合、初期化することで使用できるようになることがあります。(108 ページ)
*2 DVD-RAM の初期化には以下の二とおり方法があります。
①論理フォーマット・・・通常はこの方法で初期化してください。
②物理フォーマット・・・論理フォーマットをしても使用できない場合、この方法で初期化してください。
（初期化しても使用できない場合もあります。）
*3 DVD-R を VR モードに初期化する場合、新品のディスクでしか行なえません。
*4 DVD-R DL（2 層）の初期化はできません。

ディスクの初期化（論理フォーマット）

1) ディスクを入れる（12 ページ）

2)「クイックメニュー」を押す

3)「ディスク管理」を選び「決定」を押す

4)「DVD 初期化」を選び「決定」を押す

5) DVD 記録モードとディスク情報を入力する

●DVD-RAMの場合

・ディスク番号　　：変更できます。
・ディスク名　　　：変更できます。
・DVD 記録モード：VR モードで固定

●DVD-RWの場合

・**モードを選ぶ（必須です）**
①方向ボタン（◀/▶）で「Video モード」または「VR モード」を選び「決定」を押す

・ディスク番号
自動で番号がつけられますが、好きな番号（3 ケタ）に変更できます。4 ケタ目は、両面ディスクの区分用に「A」か「B」を設定します。
①方向ボタン（▲/▼）でディスク番号の「変更」を選び「決定」を押す
②方向ボタン（▲/▼/◀/▶）で番号を入力し「決定」を押す
※「Video モード」を選ぶと、ディスク番号は設定できません。

・ディスク名
ディスクに名前をつけることができます。
①方向ボタンでディスク名の「変更」を選び「決定」を押す
②「文字を入力する」（ガイドブック 17 ページ）に従って、ディスク名を入力する
③リモコンの「モード」を押してディスク名を保存し、初期化画面に戻る

●DVD-Rの場合

・ディスク番号　　：変更できます。
・ディスク名　　　：変更できます。
・DVD 記録モード：VR モードで固定

ご注意

本機では、以前の RD シリーズで作成された「予約ディスク」は扱えません。ご利用になるには、設定した RD シリーズで予約ディスクを解除するか、必要なタイトルをバックアップしたのち本機で初期化してお使いください。

6)「開始」を選び「決定」押す

7) もう一度「開始」を選び「決定」を押す

・初期化が始まります。

お知らせ

- ディスクに劣化や欠陥が多くなると、録画ができなくなることがあります。

DVD-RAM の物理フォーマット

何度初期化をしても正しく認識されなかったり、使用しているうちに認識されなくなった DVD-RAM に対して行なってください。（使用可能になることを保証するものではありません。）

1) DVD-RAM を入れ、「設定メニュー」を押す

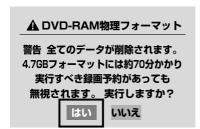
設定メニュー

設定画面が表示されます。

2)「管理設定」を選び「決定」を押す

3)「HDD/ディスク管理」を選び「決定」を押す

4)「DVD-RAM 物理フォーマット」を選び「決定」を押す

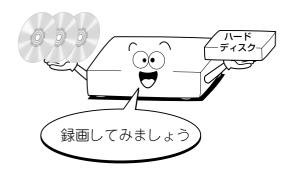
5)「はい」を選び「決定」を押す

・中止するときは「いいえ」を選び「決定」を押す。

6) 終了後自動で電源を切るかのメッセージが表示されたら「はい」または「いいえ」を選び「決定」を押す

（つづく）

録画する前のディスクの初期化（つづき）

お知らせ

- ディスクがよごれている状態で「DVD-RAM 物理フォーマット」をすると、物理フォーマットに失敗する場合があります。また、物理フォーマットできても、録画に失敗しやすいディスクになります。必ず事前によごれを確認し、必要に応じてディスクをクリーニングしてください。クリーニングをしても取り除けない傷やよごれがある場合、物理フォーマットはしないでください。
- 途中で物理フォーマットに失敗した、または中止したディスクを使用する場合は、物理フォーマットを最初からやり直す必要があります。
- ディスク内部の欠陥数が、本機の管理上限を超えた場合、物理フォーマットをしても使用できません。
- 物理フォーマットでエラーが発生すると、表示窓に「ERR － 01」が表示されます。
  このエラーメッセージを消すときは、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

録　画

●制限事項と免責事項および動作環境
●番組を録画する
●WOWOW（BS5）チャンネルを録画する
●スカパー！チューナーから録画する
●外部機器から録画する
●番組表を活用する
●番組表から録画予約をする
■スポーツ延長について
■番組追っかけ機能について
●番組検索から録画予約をする
●番組表の見かた
●録るナビで録画予約をする
■スカパー！の番組を録画予約する
●DV 連動録画（デジタルビデオカメラの映像を録画する）

録画中にコピーガード信号を検出した場合には、録画は自動的に一時停止し、画面にはメッセージが表示されます。この状態は「一時停止」ボタンを押しても解除できません。(「停止」ボタンで録画を停止させることはできます)コピーガード信号が継続して検出されると録画を停止します。

制限事項と免責事項および動作環境

番組表の番組データをご使用になるにあたっての制限事項と免責事項、動作環境です。

ADAMS での制限事項

- ADAMSの番組データは、テレビ朝日系列から送信されています。テレビ朝日系列を受信できない以下の地域では、ADAMSによる番組データ提供サービスを利用することができません。(2005年4月現在)
  富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、宮崎
  上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります。
- ADAMSによる番組データの提供は、2005年4月現在、以下の地域では通常当日を含めて8日分(ただし一部局は2日分)です。
  北海道、関東(栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川)、中部(愛知、岐阜、三重)、関西(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)、福岡(ただし一部局を除く)
  その他の提供地域は2日分になります。
- 番組表を開いた現在時刻より過去の番組表は表示されません。そのため、8日分または2日分のすべての番組表が表示されない場合もあります。
- ADAMSによる番組データ提供サービスで番組データが提供される放送局や番組データの提供日数は、将来変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ADAMSによる番組データ提供サービスは、将来地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行に伴い、2011年までに中止や廃止となります。あらかじめご了承ください。
- お買い上げ後、番組ナビ設定をしてから番組データをはじめて受信するまで一日程度かかる場合があります。
- 一部のCATVでは、ADAMSからのデータを受信できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、気象条件や電波環境(不法電波混入やゴーストなど)によって送信電波が弱くなり、正常に受信できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、マンションなどの共同受信システムでは受信できないことがあります。
- ADAMSによる番組データの受信中に以下のことが行なわれると、受信を延期し、次回のADAMSデータ受信時刻に再受信を試みます。
  - 「番組ナビ設定」の「ADAMS設定」で選択したチューナーでのテレビ朝日系列局以外の録画
  - 本機の電源を切った場合
  - HDDの初期化
  - 「番組ナビ設定」の「ADAMS設定」で選択したチューナーを選択中に「ワンタッチダビング」が押された場合
  - iNETからの番組情報取得
  - 「ネットdeナビ」機能のネットdeナビ設定、録画予約で「登録」が押された場合
  - 「ネットdeナビ」機能のバージョンアップ作業
  - デジタルビデオカメラを接続した場合

  各ナビ画面、ライブラリ画面などを表示しているときや、外部接続(ライン)を録画中、レート変換ダビング中にADAMS受信時刻になった場合も同様に受信を延期し、次回配信時刻に再受信を試みます。
  また、ADAMS受信時刻から20分以内に予約録画が開始される場合は、ADAMSの受信は延期されます。
- 番組データは以下の場合に一度空の状態になります。次回配信時刻にデータを取得し、再表示ができます。
  - HDDを初期化した場合
  - 「番組ナビ設定 - 番組データダウンロード」でチェックをすべてはずして登録した場合

  上記の作業をする場合は、直後に番組ナビ機能を使用する予定がないかご確認ください。
- 以下の作業を行なったあとに、ADAMSによる番組データの受信を中断すると、番組表が空の状態になる場合があります。
  - 「番組ナビチャンネル設定」で、表示チャンネルを追加／変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」の「全チャンネル表示／順変更」で、チャンネル表示順の変更をした場合
  - 「初回設定」の「時刻設定」で時刻を変更した場合
  - 「初回設定」の「チャンネル設定-地域選択」で、地域設定を変更した場合
- ADAMS利用時のジャストクロック機能は、ADAMS配信の放送波を利用して自動で調整されます。したがって、ADAMS利用時はジャストクロック機能は選択することができません。
- 予約名や番組タイトルは、途中で切れて番組説明の冒頭についたり、番組説明の冒頭部が予約名や番組タイトルの後ろについてしまうことがあります。
- 「番組ナビチャンネル設定」で多くのチャンネルを追加し、取得する番組データが多量になったときには、一部の番組データを取得できなくなる場合があります。このとき、遠い日付の番組データから取得されなくなります。
- 再生中にADAMSデータの受信を行なうと、再生が一時的に止まることがあります。

iNET での制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 本機の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。なお、プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に10BASE-Tまたは、100BASE-TXのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約約款などによって、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります)
- プロバイダによってはルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

- ブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリー５と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。
- iEPGと、「録るナビ」や「番組ナビ」で利用される番組名や番組説明はサーバーから提供されるデータが異なるため、同一の内容にならない場合があります。また、サーバーから提供されるデータは取得した時期やサイトによっても内容は異なります。
- iEPGと「録るナビ」や「番組ナビ」で利用される番組名や番組説明は、起動する状況や画面によって、表示する内容が異なります。番組ナビや放送表示中の画面では基本的にリアルタイムにサーバーの情報を確認します。録るナビでは予約設定時の内容または、一日1回更新された内容が、見るナビ、ライブラリ、編集ナビでは、録画時の内容が表示されます。リアルタイムに表示するものを除き、保存できる文字数は番組名が全角で最大32文字、番組説明は全角で最大400文字です。
  また、サーバーで提供されるデータは取得した時期、サイトによっても内容は異なり、同一の内容にならない場合があります。
- 番組情報はランダムな日時に更新されますが、他の操作や動作と重なった場合は更新が延びる、またはできない場合があります。
- ネットワークの通信状況によっては、番組情報が更新あるいは取得できない場合があります。
- 番組データは以下の場合に一度空の状態になります。次回番組表や番組リストを表示するときにデータを取得し、再表示ができます。（再表示できるまで数分かかります。待ち時間は環境によって異なります。）
  - 「番組ナビ設定」で「番組データダウンロード」の設定を変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」で、表示チャンネルを追加／変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」の「全チャンネル表示／順変更」で、チャンネル表示順の変更をした場合
  - 「初回設定」の「時刻設定」で時刻を変更した場合
  - 「初回設定」の「チャンネル設定-地域選択」で、地域設定を変更した場合
  - HDDを初期化した場合

  上記の作業をする場合は、一つずつではなくできるだけまとめて行なうことをお勧めします。
- iNETの「スポーツ延長」機能はスカパー！（本機に接続しているとき）には対応していません。
- 自動毎○（毎日や毎週など）予約設定は、日刊編集センターから番組データが提供される、地上アナログ放送で放送される一部のドラマに関してだけ対応しています。

その他の制限事項

- 番組表の番組名や放送時間と、番組説明の内容とは一致しないことがあります。
- 番組説明を表示する際は、可能なかぎり全番組名や番組説明を表示しますが、予約情報や録画結果には、番組名は最大32文字、番組説明は最大400文字（全角換算）までしかはいりません。
- 番組表と、番組リスト、検索結果、番組説明の結果がそれぞれ異なる場合があります。番組表や検索結果、番組説明、予約画面で表示される番組のジャンルを表す記号（マーク）は目安です。
- 「人名で検索」で表示される人名選択リストは、チャンネル設定で登録している放送局の番組に出演しているおもなタレントのリストで、情報提供サイトで作成したものです。番組表内のすべての人名を網羅したものではありません。また、番組説明の出演者情報と異なる場合があります。
- 番組リスト「お気に入り」の検索対象は番組名＋サブ番組名の先頭から64文字と出演者情報（漢字＋読み）（番組説明で表示される出演者情報とは異なる場合があります）です。よって、キーワードが番組説明に含まれていても「お気に入り」にはいらない場合があります。また、キーワード変更や追加の「お気に入り」結果の反映は次回の番組表更新時（ランダムな日時）以降に直近の日付からになります。（iNETの番組データの場合、番組表一週間分が「お気に入り」の対象となる場合には数日要します。）
- 番組表の中に含まれていないキーワードの場合は検索できません。
- 外部機器の接続などによって、「番組ナビチャンネル設定」で同じチャンネルに対してADAMSとiNETを併用して設定した場合、「番組ナビ」の各検索機能の結果がADAMSとiNETで異なることがあります。
- ADAMSの番組データとiNETの番組データは内容が異なることがあります。
- ネットワークの障害などによりiNETから番組情報を取得できないために、ADAMSから取得済みの番組表や番組説明も表示できない場合があります。その場合は番組ナビのiNETのチェックをはずすと、ADAMSの番組表や番組説明が表示できます。
- 番組情報の内容、更新のタイミング、予約状況や本機の動作状態によっては、「番組追っかけ」機能が正しく働かない場合があります。
- 「おまかせ自動録画」機能で自動的に入れられた予約の影響で、「番組追っかけ」に失敗する場合があります。

免責事項

- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 番組ナビはDEPG機能に番組内容を表示する機能を提供するもので、表示する内容に関しては一切の責任を負いません。
- DEPGで表示される番組表や番組情報は、突発的な事件や緊急番組、スポーツ中継の延長などによって、実際の放送時間や番組内容と異なる場合があります。その場合、番組の変更情報が反映されず、ご希望の番組が正しく録画できないことがありますが、あらかじめご了承ください。
- 検索結果や「お気に入り」などの番組リストの結果は指標としてお使いください。結果については保証いたしません。

- 本機能によって、接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化·消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- iNETを利用する設定にした場合、DEPG機能では、サーバーにアクセスしてデータを取得します。サーバー側では、お使いの機器で設定されたチャンネルやキーワード、録画予約に基づいて、番組名、番組説明などの番組データを機器に送信し、番組ナビや録るナビで表示します。サーバー側にはお客さまのアクセスログとして履歴が蓄積されますが、この情報で個人を特定することはありません。
  これらの情報は、お客さまのさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。情報の取扱いについては東芝の個人情報保護方針
  （http://www.toshiba.co.jp/privacy/）をご覧ください。
- ダウンロードした番組表のデータには再放送番組の情報（人名や番組説明など。また再放送番組は番組タイトルが異なる場合があります。）が含まれていない場合があります。
- iEPGなどのネットワークサービスを前提とするデータの提供は、その継続を永久保証するものではなく、予告なく一時停止したり終了する場合があります。
  ADAMSやiNETから提供されるサービスやDEPGは、お客様への予告無く一時的に停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ネットワーク動作環境

本機は、IEEE（米国電気電子技術者協会）802.3規格に準拠しています。番組ナビ機能（iNET）をお使いいただくためには、以下の環境が必要です。

- DEPG機能や、番組情報、番組説明取得機能を利用するには、インターネット常時接続が必要（ブロードバンド接続を必須）
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター
  （DHCP機能搭載を推奨）
- 有線のLAN接続が家庭の環境で困難な場合
  無線LANアクセスポイントと本機につなぐ無線LANイーサネットアダプタ（市販品）

お知らせ

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されていますので、東芝ホームページをご覧くださることを、お勧めいたします。番組データサーバーに関するメンテナンス情報や、トラブル情報につきましては、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。
  http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/

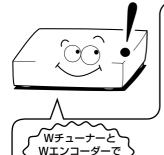
■「放送メディアをこえたシームレスな番組表表示」

取得できる番組情報は地上アナログ放送、BS アナログ放送、BS デジタル放送（テレビ放送のみ）、専門チャンネル、スカパー！です。
これらの放送局の中から好きなチャンネルを最大 50 チャンネルまで任意に登録できます。登録にあたっては、同一ジャンルのチャンネルを並べるなど、お好みの放送局順に並べ替えることもできます。
地上アナログ放送以外の外部チューナー、たとえば CATV ターミナル等からライン入力で録画する場合は、別途、それぞれのチューナーでの予約が必要となります。

番組を録画する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

準備

- DVD-RAM/RW/Rに録画するときは、ディスクを入れます。
- DVD-RW/RにVideoモードで録画するときは、はじめに必要な設定をしてください。(25ページ)

地上アナログチューナー2個、BSアナログチューナー1個とエンコーダー2個が搭載されています。

(エンコーダーとは：録画する映像に圧縮をかけて、DVDの録画用（MPEG2）に変換する、録画用の回路のことです。)

では、何ができるの？

録画したい番組が重なっても大丈夫！！
両方同時に録画できます。
・二つの番組を内蔵HDDに同時録画。
・二つの番組を一つは内蔵HDDに、一つはDVDディスクに録画。（DVDディスクには二つの番組を同時に録画できません。）

エンコーダーが2個あるため、以下の使いわけをします。
R1★：ここではW録R1と呼び、エンコーダー1で選局／録画します。
R2☽：ここではW録R2と呼び、エンコーダー2で選局／録画します。
この二つのエンコーダーを切り換えるのが「W録」ボタンです。録画する内容や機能によって、「R1」「R2」を切り換えることが必要なものもあります。「W録R1とW録R2の切り換えについて」122ページをご覧ください。

ここでは「一つの番組を録画する」と「録画中に別の番組を録画する（裏録画）」に分けて説明します。

一つの番組を録画する

1 録画先を選ぶ

HDD
DVD

HDD：内蔵 HDD（ハードディスク）に録画します。

DVD：DVDディスクに録画します。

2 録画する「W録R1」または「W録R2」を選ぶ

W録 ★/☽

本体の「R1」「R2」またはリモコンの「W録」を押すと「R1」と「R2」が切り換わります。録画する番組が重なっていないときは、「R1」、「R2」どちらを選んでも録画できます。

- BSアナログ放送は、「R1」でしか録画ができません。
- 「R2」でDVD-R/RW（Videoモード）に録画することはできません。
  DVD-R/RW（Videoモード）に録画するときは、「R1」を選んでください。

R1★ 10 主
R2☽ 6

現在選ばれているエンコーダーが上側に表示されます。

3 「入力切換」をくり返し押し、録画する放送などを選ぶ

ボタンを押すたびに、内容が変わります。

チャンネル：受信している地上放送を録画

BS：BSアナログ放送を録画
（ライン1〜ライン3、ラインUに関しては42〜43ページをご覧ください。）

4

録画するチャンネルを選ぶ

番号ボタンでも選べます。

本体表示窓（例）

• 録画に使用しているR1/R2側では、録画をしながらチャンネルを切り換えることはできません。

5

録画モードを選ぶ

本体表示窓(例)

選んでいる録画モードが表示されます。

「録画モード」を押すたびに録画・画質／音質設定のNo.ごとに変わります。

例 MN→SP→LP→MN→MN
(1) (2) (3) (4) (5)

例：DVD-RAM片面4.7GBに録画した場合の目安

録画モード	録画時間	画質
SP	約2時間	標準
LP	約4時間	SPより劣る
MN	自由に変更できます。 ⇨24ページをご覧ください。	

• 録画中は、録画モードの変更ができません。
• 「表示窓切換」をくり返し押して、表示窓にビットレート表示(「BITRATE」)を点灯させると、モードとレートが確認できます。

6

「録画」を押して、録画を始める

• 「R2」側で内蔵HDDに連続録画できるのは、4.7GBディスク約5枚分までの容量に対応する時間です。またその時間は、録画のレート設定によって異なります。

お知らせ

• 録画中のチャンネルは、「チャンネル」を押しても切り換わりません。録画チャンネルを変えるときは⇨37ページ「録画チャンネルを変える」の手順にしたがってください。
• R2の放送を内蔵HDDに録画する場合は、4.7GBのディスク約5枚分を超える長さの連続録画はできません。（録画画質によって録画できる時間は変わります。なお、最大録画時間は連続9時間までです。）また、R1の最大録画時間は連続9時間ですが、R2が4.7GBのディスク約5枚分の領域を先に確保するため、内蔵HDDの残量が残っていても録画できない場合があります。この最大値は、内蔵HDDの使用状況によって多少減ることがあります。
• 同じ番組をR1/R2で視聴または録画した際に、全く同じ映像・音声にならないことがあります。
• 録画できる最大のタイトル数は、DVD-RAM/R/RW は 99、内蔵 HDD は 396 です。これを超えると空き容量があっても録画ができなくなります。
• 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
• モノラル放送は、録画すると左右に同じ音声が記録されます。
• 「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送を記録したときは、ステレオ音声（主+副）として記録されます。
• VR モードで DVD 互換モード「切」で録画する場合、再生時に音声の主・副が切り換えられますので、二カ国語放送録画が可能です。再生時は「音多」を押して出力する音声を選んでください。
• DVD 互換モード「入」で録画した場合は、VR モードでの録画でも再生時に音声の切換えができません。特に外部入力で二カ国語音声の番組を録画するときは、ご注意ください。
• 外部入力からの録画時に「ライン音声選択」で「主+副」を選ばないと、ステレオ音声として記録されます。VR モードで保存する場合は音声は切り換えられますが、Video モードで保存する場合は音声の切換えができなくなります。
• ディスクの記録状態によって、「録画」を押してから実際に録画が始まるまでの時間には若干の差があります。
• 録画中に録画予約の開始時刻になると、現在の録画を中止して予約録画を優先して開始します。現在の録画を継続するには、録画予約を取り消すか、異なるチューナーでの録画予約に変更してください。
• レート 1.0Mbps または 1.4Mbps、画面比 16:9 の設定で DVD-R/RW（Video モード）に録画すると、画面比を 4:3 に変更して録画されます。
• 「R1」「R2」両方を同時に内蔵 HDD に録画する場合は、内蔵 HDD に 4.7GB のディスク 6 枚分以上の残量が必要です。内部の処理上、これを下回ると同時録画は実行できなくなります。
• ネット de ダビング機能をお使いの場合、ネットワークのデータアクセス量がふえることによって、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズがはいることがあります。
ネット de ダビング機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをお勧めします。

録画中に別の番組を録画する（裏録画）

スポーツ中継などの長時間番組も、その間の好きなドラマも、両方録画できます。

1

録画中に、録画していない方の「W録R1」または「W録R2」を選ぶ

本体の「R1 ★」「R2 ☽」またはリモコンの「W 録」を押して、録画中でない方の放送を画面に出します。
「表示」を押すと、本機の状態がわかります。
赤い「●」が、録画中を示します。

例：すでにR1で8チャンネルを録画中に、別の番組4チャンネルをR2で録画します。

現在8チャンネルを録画中

を押す

別の番組4チャンネルを録画するためにR2に切り換えます

別の番組4チャンネルを録画するためにR2に切り換わりました。

R1で録画中

状態の表示を消すには「表示」を 2 回押します。

2

「入力切換」をくり返し押し、録画する放送などを選ぶ

ボタンを押すたびに、内容が変わります。

チャンネル：受信している地上放送を録画
BS：BSアナログ放送を録画
（ライン1～ライン3、ラインUに関しては⇨42～43ページをご覧ください。）

3

録画するチャンネルを選ぶ

番号ボタンでも選べます。

4

録画先を選ぶ

本体前面の「HDD」／「DVD」またはリモコンの「HDD」／「DVD」を押して、録画先のインジケーターを点灯させます。

HDD：内蔵HDDに録画します。

DVD：DVDディスクに録画します。

DVDディスクには二つの番組を録画することはできません。（手順5でメッセージが表示されます。）
DVDディスクへの録画中は、内蔵HDDを録画先に選んでください。

5

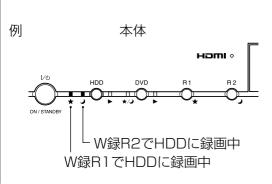
録画モードを選ぶ

本体表示窓の表示を見ながら、「録画モード」をくり返し押します。

6

「録画」を押す

録画が始まります。

例　本体

お知らせ

- 裏録画中に「電源」を押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶと、両方の録画が停止し、電源が切れます。

録画中にチャプターを作成する

録画中に「チャプター分割」を押す

押したところにチャプター境界ができ、その前後が別々のチャプターになります。

お知らせ

- DVD-R/RW（Video モード）に録画したタイトルは、あとからチャプター分割できません。
- DVD-R/RW（VR モード）では、チャプター数が上限に達すると、チャプター分割されません。チャプター数の上限はディスクの状態によって異なります。

録画を停止する／一時停止をする

1) 「W 録」を押して、録画を停止／一時停止したい W録 R1/W録 R2 を選ぶ

2) 録画先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

3) 「停止」または「一時停止」を押す

停止　録画を終了します。

一時停止　録画が一時停止します。もう一度押すと、録画がはじまります。

録画チャンネルを変える

1) 「W 録」を押して、録画チャンネルを変えたい W録 R1/W録 R2 を選ぶ

2) 録画先（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

3) 録画中に「一時停止」を押す

一時停止　録画が一時停止します。

4) 「チャンネル」を押し、録画するチャンネルを変える

5) 「一時停止」を押し、録画を再開する

録画中に、録画の終了時刻／終了後の状態を設定する

1) 録画中に「クイックメニュー」を押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン（▲ / ▼）で「録画終了時刻／電源設定」を選び、「決定」を押す

例

3) 終了時刻と、終了後の状態を設定する

録画終了時刻を設定する

▲/▼：時間／分を設定
（番号ボタンでもできます
設定できる時刻は現在時刻よりも5分後以降となります。）
◀/▶：時／分の切換

▲/▼ボタンで設定します。
切る：　予約録画終了後に電源が切れます。
入り継続：予約録画が終了しても、電源は切れません。

4) 「決定」を押す

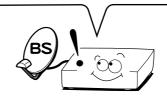
終了時刻を設定したあとでも、本体の「停止」（■）を 2 回押すと、すぐに録画を停止できます。

お知らせ

- 予約内容によっては、設定できない場合があります。
- 録画終了時刻を設定すると、録画予約となって本体表示窓に録画予約表示（「🕘」）が点灯します。
- 終了時刻は、現在の時刻よりも 5 分以降の時刻にしか設定できません。
- 終了時刻を延長しても空き容量がなくなると録画を終了します。また、録画開始から 9 時間を過ぎるとその時点で録画を終了します。
- 終了時刻 1 分前を過ぎると終了時刻の変更はできません。また、一度指定した時刻より前の時刻を設定することや、A1／A2／DL 録画中の終了時刻設定は行なえません。

WOWOW（BS5）チャンネルを録画する

HDD | DVD-RAM | DVD-RW（VRモード） | DVD-RW（Videoモード） | DVD-R（VRモード） | DVD-R（Videoモード）

衛星放送のWOWOWを受信するには、株式会社WOWOWと受信契約を結び、BSデコーダを接続する必要があります。

準備

- 接続・設定編の「BS（アナログ）デコーダとの接続」、「BSチャンネル設定」、「BSアンテナ電源設定」、「入力1設定」（接続・設定編18、30、33ページ）を設定してください。
- WORLD INDEPENDENT NETWORKS JAPAN（WINJ：旧クラブコスモ／セント・ギガ）：BS5チャンネルで放送されている独立音声の音楽放送です。WORLD INDEPENDENT NETWORKS JAPAN（WINJ：旧クラブコスモ／セント・ギガ）との受信契約を結び、BSデコーダを接続する必要があります。

1 BSデコーダの電源を入れる

2 「W録」を押し、「R1」を選ぶ

- アナログBSチャンネルは、「R1」でしか選局／録画ができません。

3 「入力切換」をくり返し押し、BS放送を選ぶ

入力切換

4 「チャンネル」を押し、WOWOW（BS5チャンネル）を選ぶ

←WOWOW（BS5チャンネル）
- 記録する音声はデコーダ側の音声出力切換を選んでください。

5 「録画」を押す

録画

録画が始まります。

お知らせ

- WOWOWの画面に切り換わったときに、一瞬画面が乱れることがあります。
- BS内蔵テレビと本機を接続しているときは、本機でNHKの衛星放送を録画しながらテレビでWOWOWを見ることができます。
  1）本機でNHK（衛星第一か衛星第二）を録画します。
  2）BSデコーダの電源を入れます。
  3）テレビでWOWOWを選びます。
  4）テレビの入力を、BSデコーダを接続した入力にします。
- 本機のチャンネルをBS5にしたときと、BS5から他のチャンネルに切り換えたときは、本機を経由してBSデコーダに接続されているBSビデオやBSテレビの画面が一瞬乱れます。

WOWOW（BS5）チャンネルを録画予約する

1) BS デコーダの電源を入れたままにする

2) 「録るナビで録画予約をする」（ 52 ページ）の手順を行なう

チャンネル入力で BS5 チャンネルを設定してください。

お知らせ

- 本機の録画は、始まるまでに多少の時間がかかります。したがって、前の予約番組の後ろの部分や予約時刻直後の頭の部分が録画されないことがあります。

WORLD INDEPENDENT NETWORKS JAPAN（WINJ：旧クラブコスモ／セント・ギガ）を録音する

- 録音する前に本機の録画設定を以下のようにしてください。
  「DVD互換モード」：「切」（25ページ）
  音質モード：「L-PCM」（24ページ）
  画質モード：マニュアル1.0〜2.8Mbpsまたは4.0〜8.0Mbps（24ページ）
  これ以外の設定では、正しく録音されない場合があります。
- 録音する場合は、内蔵HDDまたはDVD-RAMに録音してください。DVD-R/RWに直接録画（録音）すると、正しく録音されない場合があります。

1) 「入力切換」をくり返し押し、BS 放送を選ぶ

2) 「チャンネル」を押し、WOWOW（BS5 チャンネル）を選ぶ

3) BS デコーダ側の音声選択ボタンで、「独立」にする

4) 「録画」を押す

録音が始まります。

お知らせ

- 録音が終わったら、BS デコーダの「独立」をもとに戻してください。

WORLD INDEPENDENT NETWORKS JAPAN（WINJ：旧クラブコスモ／セント・ギガ）を予約録音する

1) BS デコーダの電源を入れたままにする

2) BS デコーダ側の音声選択ボタンで、「独立」にする

3) 「録るナビで録画予約をする」（ 52 ページ）の手順を行なう

チャンネル入力で BS5 チャンネルを設定してください。

本機の録画設定を、
画質モード：マニュアル 1.0 〜 2.8Mbps または 4.0 〜 8.0Mbps、
音質モード：「L-PCM」、
「DVD 互換モード」：「切」
に設定してください。

お知らせ

- 録音が終わったら、BS デコーダの「独立」をもとに戻してください。

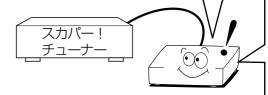
■衛星放送の音声について

衛星放送の音声には A モードと B モードがあり、A モードではテレビ音声と独立音声の 2 系統の音声があります。B モードでは、1 系統だけ送られますが、A モードにくらべ、より高品位の音声が放送されています。

衛星放送	音声の種類	音質
A モード放送	テレビ音声	FM 放送同等
	独立音声	
B モード放送	テレビ音声	CD 同等

スカパー！チューナーから録画する

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

スカパー！チューナーを接続して、スカパー！（SKY PerfecTV!)を見たり、録画できます。
スカパー！放送の視聴には、受信契約が必要です。
チューナーの取扱説明書もご覧ください。

スカパー！チューナーを使うには、おもに二つの方法があります。

ケース1

スカパー！連動機能を使わず、スカパー！チューナーのチャンネル切換で選局して本機で録画します。

・スカパー！チューナーを本機の入力1、入力2または入力3端子に接続します。このとき、スカパー！連動ケーブルは不要です。映像・音声接続コードで接続してください。➡接続・設定編19ページ

ケース2

スカパー！連動機能を使って、選局／録画します。連動機能を使うと、本機からスカパー！チューナーを制御して、スカパー！チューナーの選局ができます。

1）スカパー！チューナーを本機の入力1、入力2または入力3端子に接続します。
このとき、映像・音声コードとスカパー！連動ケーブル両方を接続します。
➡接続・設定編19ページ

2）スカパー！連動設定をします。（スカパー連動を「入」）
➡接続・設定編34ページ

3）番組ナビチャンネル表示局登録をします。➡ガイドブック26ページ
（本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

ケース1 ：スカパー！連動機能を使わず録画

1 「W 録」を押し、「R1」または「R2」を選ぶ

W録

2 「入力切換」をくり返し押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「ライン1」、「ライン2」または「ライン3」を表示させる

入力切換

押すごとに表示が切り換わります。

ライン1：背面の入力1端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。初回設定の「入力1設定」を「ライン」に設定してください。（➡接続・設定編33ページ）

ライン2：前面の入力2端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

ライン3：背面の入力3端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

3 スカパー！チューナーのチャンネル切換えで選局する

4 「録画」を押す

録画

録画が始まります。

ケース2 ：スカパー！連動機能を使って録画（本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

1 「W録」を押し、「R1」または「R2」を選ぶ

W録

2 「チャンネル(︿／﹀)」を押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「ライン1」、「ライン2」または「ライン3」を表示させる

チャンネル

ライン1：背面の入力1端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。初回設定の「入力1設定」を「ライン」に設定してください。（➡接続・設定編33ページ）

ライン2：前面の入力2端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

ライン3：背面の入力3端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

- ライン1～3に切り換えるとチャンネル選択画面が表示されます。
  ライン1～3の切り換えは「入力切換」ではできません。

3 スカパー！チャンネル選択画面で方向ボタンを押してチャンネルを選び、「決定」を押す

- 左右頁／スキップ(I◀◀／▶▶I)：前後のページに移動します。
- 番組ナビのチャンネル表示局登録がされていないと、選択画面は表示されません。

4 「録画」を押す

録画

録画が始まります。

クイックメニューからのチャンネル選択

スカパー！チャンネル選択画面を、クイックメニューから表示できます。

1) 「チャンネル（︿／﹀）」を押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「ライン 1」、「ライン 2」または「ライン 3」を表示させる

2) 停止中に、「クイックメニュー」を押す

クイックメニュー

クイックメニューが表示されます。

3) 方向ボタン（▲/▼）で、「スカパー！チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

スカパー！チャンネル選択画面が表示されます。

外部機器から録画する

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

ビデオデッキ、デジタルチューナーなどを接続して、それら外部機器からの番組を本機で録画します。

はじめに、本機と外部機器を接続します。（次ページの接続図を参照ください。）

1 「W録」を押して、「R1」／「R2」を選ぶ

- 本体背面の入力3 D1端子の映像を録画するときは、「R2」を選んでください。「R1」では録画できません。

2 「HDD」または「DVD」を押し、録画先を選ぶ

HDD：内蔵HDDに録画します。

DVD：DVDディスクに録画します。

3 「入力切換」をくり返し押して、本体表示窓に「L-1」、「L-2」、「L-3」を表示させる

押すごとに表示が切り換わります。

L-1：背面の入力1端子に接続された外部機器からの映像を録画します。初回設定の「入力1設定」を「ライン」に設定してください。（接続・設定編33ページ）

L-2：前面の入力2端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-3：背面の入力3端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-U：再生している番組を録画します。（88ページ）
- 手順1で「R2」を選んだ場合は、「L-U」は選べません。

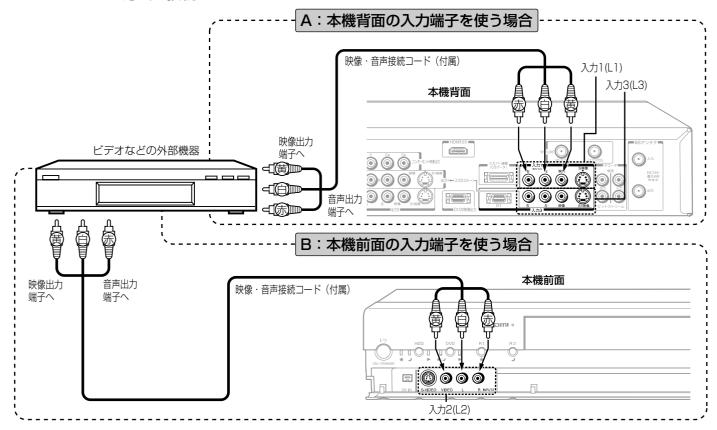
4 外部機器を再生状態にする

5 「録画」を押して、録画をはじめる

- 録画を終了するときは、「停止」を押します。

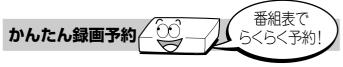
お知らせ

- DVDオーディオやSACDの再生機を外部入力に接続しても、本機は従来の音楽用CDの音声帯域にしか対応できません。本機から出力される音声や記録される音声は、L-PCMを選んだ場合でも従来の音楽用CDと同等の音質になります。接続する機器の説明書もご覧ください。
- DVD-R/RW（Videoモード）に録画する場合やあとで書き込む場合には、あらかじめ接続されている機器側で希望する音声を選んでおいてください。（たとえば二カ国語放送で日本語を選ぶ。）
- 録画が禁止または制限されている映像（コピー禁止やコピーワンス）はDVD-R/RW（Videoモード）に録画できません。コピーワンスの映像は、内蔵HDD、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）（いずれもCPRM対応ディスク）に録画できます。
- 本機に接続する外部機器の種類や状態によっては、本機を通して見ている映像・音声が乱れたり、録画した内容の映像・音声が乱れる場合があります。

A、Bどちらかの方法で接続してください。

- より鮮明な映像で録画するには、D1端子（入力3のみ）またはS映像端子で接続してください。
- 映像端子（黄）とS映像端子が同時に接続されている場合は、S映像端子→映像端子（黄）の順で優先されます。
- 外部機器から録画するときの入力音声の種類が選べます。「録画機能設定」の「ライン音声選択」をご覧ください。（➡106ページ）
- カメラ一体型ビデオを再生するときは、バッテリーではなく、ACアダプターを使ってください。
  録画中にバッテリーが消耗すると、正しく録画できないことがあります。

番組表を活用する

録画予約をするには番組表をお使いになると便利です。ここでは番組表を使った録画予約の流れと、おもな番組検索の機能について紹介します。
その他番組表について詳しくは⇨ガイドブック「番組ナビ」の章をご覧ください。

かんたん録画予約

その１．番組表から録画予約⇨45ページ

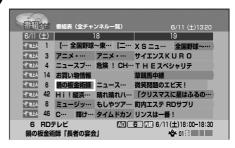
新聞や雑誌のテレビ欄から番組を選ぶ感覚で簡単に録画予約ができます。

1) 番組表を表示する

を押す

全チャンネル一覧
全チャンネルの番組を表示します。

チャンネル別一覧
一つのチャンネルの約8日分の番組を表示します。

2) 番組を選ぶ

3) 録画予約をする

その２．番組リスト「お気に入り」（おまかせ自動録画）⇨ガイドブック45ページ

あらかじめ登録したキーワードにあてはまる番組を自動検索し、表示します。リストに表示された番組を自動的に録画予約することができます。

便利な検索機能

その１．人名検索 ⇨49ページ

番組データに含まれている人名一覧から選択して、その人名に関連する番組の検索ができます。

①番組ナビメインメニューから「人名検索」を選択

②探したい人名を選択

③検索開始

選択した人名を含む番組がリスト表示されます。

④ここから番組を選んで録画予約もできます。

その２．検索条件を入力 ⇨48ページ

自分で入力したキーワードを含む番組を検索します。

その３．同名番組検索⇨ガイドブック41ページ

同じ名前の番組を検索します。

番組表から録画予約をする

準備

・番組表をお使いになる前に、あらかじめ「番組ナビ」の設定をして番組表が表示できる状態にしてください。
➡接続・設定編40ページ

• 番組ナビの「番組表」を使えば、簡単に番組を録画予約できます。また、録画タイトル、番組説明などの番組情報が自動的に記録されます。
• 本機に接続した外部機器（CS チューナー／ BS デジタルチューナーなど）の番組を録画予約する場合は、外部機器による録画設定が必要です。詳しくは➡ガイドブック 26 ページをご覧ください。

1 「番組ナビ」を押す（停止中、再生中または録画中）

「番組ナビ　メインメニュー」が表示されます。

2 「全チャンネル一覧」または「チャンネル別一覧」を選び、「決定」を押す

全チャンネル一覧
全チャンネルの番組を表示します。

チャンネル別一覧
一つのチャンネルの約8日分の番組を表示します。

・番組表をはじめて表示したときは、現在日時・チャンネルで表示されます。
・次回以降は、基本的に前回表示した日時・チャンネルで表示されます。
・前回表示した番組表の日時が過去日時である場合は、現在日時で表示されます。

3-A 「全チャンネル一覧」の場合：
録画したい番組を選び、「決定」を押す

時間帯表示（クイックメニューの表示モード切換で「2 時間」「4 時間」「6 時間」と表示が切り換えられます。➡ガイドブック 42 ページ）

登録してあるチャンネルが表示されます。
方向ボタン（▲/▼）で表示チャンネルがスクロールします。

●**現在の日時を表示するには**：
クイックメニューを押して、「現在へジャンプ」を選び、「決定」を押す。または「サーチ」を押す。

●**指定した日時を表示するには**：
クイックメニューを押して、「日時指定ジャンプ」を選び、「決定」を押す。

方向ボタンで表示したい日時を選び、「決定」を押す。

3-B 「チャンネル別一覧」の場合：
録画したい番組を選び、「決定」を押す

現在選んでいるチャンネルが表示されます。
（ラインを選んでいるときは異なります。）

●**現在の時間を表示するには**：
クイックメニューを押して、「現在へジャンプ」を選び、「決定」を押す。または「サーチ」を押す。

●**指定した時間を表示するには**：
クイックメニューを押して、「時間指定ジャンプ」を選び、「決定」を押す。

「ジャンプ先時間指定」画面で方向ボタンで表示したい時間を選び、「決定」を押す。

（つづく）

番組表から録画予約をする（つづき）

4

「録るナビ　録画予約」が表示されます。

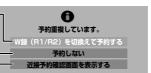
設定項目を変更する場合は予約項目を選び、「決定」を押す

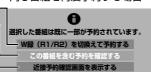
変更のしかたは52 ページをご覧ください。

「登録」を選び、「決定」を押す

■録画予約の重複について

番組表を使って録画予約するときに、他の予約と録画時間帯が重複している場合や、すでに同じ番組が録画予約されている場合、以下のようなメッセージが表示されます。
項目を選択し、「決定」を押してください。キャンセルする場合は「戻る」を押してください。

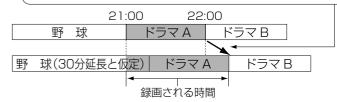
W録の「R1」と「R2」を切り換えます。
予約せずに番組表に戻ります。
近接予約確認画面が表示され、予約時間帯が重複している番組が表示されます。

同じ番組を再度予約する場合

W録の「R1」と「R2」を切り換えます。
すでに予約されている番組の録画設定の確認／変更／キャンセルが行えます。
近接予約確認画面が表示され、予約時間帯が重複している番組が表示されます。

スポーツ延長について

野球中継などのスポーツ番組の延長で、予約した番組の放送時間がずれる可能性がある場合、録画予約の録画終了時刻を自動的に見込み延長する機能です。

➡たとえば、野球中継の後のドラマを予約したときに、中継が延長されても、ドラマが最後まで録画できるので便利です。

以下の手順で「スポーツ延長」機能が使えます。
1）「番組ナビ設定 - スポーツ延長（接続・設定編41ページ）」を設定しておく。
・個々の予約に対して、録るナビの詳細設定画面で設定することもできます。（ガイドブック10ページ）
2）番組表から録画予約をする。
・ADAMSまたはiNETを利用するチャンネルの録画予約であることが必要です。

例）①「番組ナビ設定 - スポーツ延長」を「自動（30 分）」に設定。
②21:00 ～ 22:00 まで放送予定のドラマＡを予約。
③ドラマＡの前に野球中継がある。

ただし、他の予約録画の開始時刻になったときは、他の録画が優先されます。（W 録 R1 と W 録 R2 の組合せは同時録画できるので除く）

「録るナビ」の「録画予約一覧」で、延長をした予約に延マークがつきます。その後終了時刻を手動変更するなどして延長設定が解除された場合X延マーク（「録画予約（基本設定）」では、X延長無効マーク）になります。

●参考
・ADAMS の番組データを利用するチャンネルでは、予約番組自体または予約番組以前にある番組が以下の条件にあたる場合、スポーツ延長機能が働きます。
（条件 1）
・番組ジャンルが「野球」か「スポーツ」
・番組表内に「野球」の文字がある。
・19 時～ 21 時の間に放送開始または終了する。（19 時に終了するもの、21 時に開始するものは除く）
・放送時間が 60 分を超える。
※ただし、予約番組の終了時刻が翌朝 5 時より前であること。
（条件 2）
・番組ジャンルが「スポーツ」
・番組表内に「延長」または「繰り下げ」の文字がある。
・放送時間が 60 分を超える。
※ただし、該当番組の終了時刻が 19 時～翌朝 5 時前の場合は、予約番組の終了時刻が翌朝 5 時より前であること。
該当番組の終了時刻が 5 時～ 19 時前の場合は、予約番組の終了時刻が 19 時前で該当番組の延長前終了時刻から 6 時間以内であること。

お知らせ
- 予約後に、番組の開始時刻が変更された場合は延長対応が正しく行なわれません。
- 録画の開始／終了時刻や録画チャンネルを変更した場合、変更した予約に関連する予約は延長が解除され、この設定の対象外となります。
- 一度この設定の対象外となった予約をもう一度対象にしたいときは、番組表から新規に予約しなおしてください。
- A1/A2/DL画質（56ページ）で録画予約した場合や、ディスクの空き容量によっては、自動延長をした結果、番組がディスクに入りきらなくなる場合があります。
  また、自動延長が働くことによって、残量の値も変動します。
- 延長時間の自動設定は録画予約時と番組データ更新時に行なわれます。更新のタイミングによっては、自動延長が間に合わないことがあります。
- 録画予約の約 15 分前～録画中の番組は自動延長の対象外となります。

番組追っかけ機能について

番組表上の放送時間の変更に合わせて、予約の録画開始 - 終了時刻を自動的に変更する機能です。

➡たとえば、録画予約後に、何らかの理由で番組の放送時間が変更された場合に、予約の時間が自動変更されて、番組を逃さず録画できます。

以下の手順で「番組追っかけ」機能が使えます。

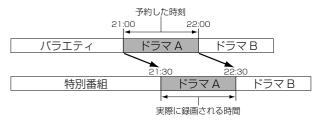
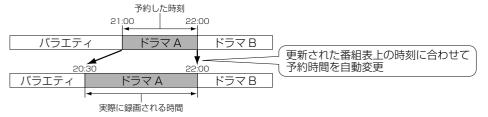
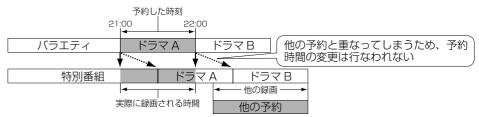
1)「番組ナビ設定 - 番組追っかけ（➡接続・設定編 41 ページ)」を「入」にしておく。

・個々の予約に対して、録るナビの詳細設定画面で設定することもできます。（➡ガイドブック 11 ページ）

2) 番組表から録画予約をする。

・ADAMS または iNET を利用するチャンネルの録画予約であることが必要です。

例）21:00〜22:00まで放送予定のドラマAを予約。

①予約後、ドラマAの前に特別番組がはいり、番組表が変更された場合。
番組表上の放送時刻変更にあわせ、予約の開始-終了時刻が自動的に変更されます。

②番組表上で放送開始時間が前倒しになった場合でも、予約時刻は自動的に変更されます。

③ただし、時間変更すると他の予約録画と重なってしまう場合 *1 は、変更前の予約時刻のままで録画されます。
*1 W 録 R1 と W 録 R2 の組合せの場合は、同時録画ができるので除きます。

「録るナビ」の「録画予約一覧」「録画予約詳細」画面では、状況に応じて以下のアイコンが表示されます。

録画予約一覧	録画予約詳細	アイコンの意味
追	追跡	・番組追跡の結果、予約時間が自動変更された予約
×追	×追跡無効	・録画開始／終了時刻やチャンネルを手動変更するなどして、番組追跡の対象外となった予約 ・録画予約（詳細設定）で番組追っかけ「切」を選択している場合
？追	？追跡不可	・番組追跡に失敗した場合。または追跡の結果、他の録画予約（延長分を除く）と重なるため、予約時刻が変更されていない予約 ・最大録画可能時間を超えた予約

お知らせ

- 録画の開始／終了時刻や録画チャンネルを手動変更した場合は、番組追っかけの対象外となります。録画日付を変更した場合は、次回の番組データ更新時刻からあらためて番組追跡が行なわれます。
- 番組追跡で予約時刻の自動変更ができるのは、予約時の開始時刻の前後 2 時間以内の変更と、予約時の録画時間 (開始時刻〜終了時刻) の前後 2 時間以内の増減の変更です。
- 放送時刻の変更が午前 5 時をまたぐ場合、予約時刻の自動変更は行なわれないことがあります。
- 予約時刻の自動変更は番組データ更新時に行なわれます。
- 予約録画開始の約 15 分前から録画中の予約に関しては、番組表上で放送時間の変更があっても、予約時刻の変更は行なわれません。また、放送時刻の変更によって開始時刻まで約 15 分に満たない場合、予約時刻の変更は行なわれません。
- A1/A2/DL 画質で録画予約した場合や、ディスクの空き容量によっては、予約時間の変更によって録画時間がふえると、番組がディスクにはいりきらなくなる場合があります。また、番組追跡対応の結果、残量の値も変動します。
- 予約名を手動変更していても、録画されたタイトル名は番組データからの番組名に更新されます。(予約名で番組追跡を行なうためです。)

番組検索から録画予約をする

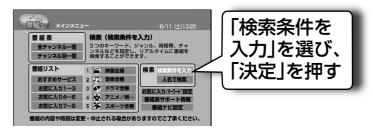
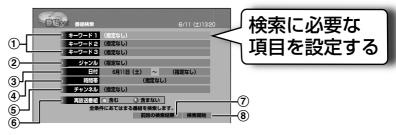
お好みの番組を検索して、番組を録画したり、情報を確認することができます。
「番組ナビ　メインメニュー」の検索には「検索条件を入力」と「人名で検索」の 2 種類があります。

検索条件を入力して番組検索する

1

「番組ナビ」を押す（停止中、再生中または録画中）

「番組ナビ　メインメニュー」が表示されます。

2

3

① **キーワードを入力します。** キーワードを入力するには以下の方法があります。
- 新規入力／変更：キーワードを新規に入力、または変更して検索します。
- キーワード選択：あらかじめ登録しておいた通常キーワードを選んで設定します。キーワードの登録については ガイドブック 47 ページをご覧ください。
- 人名選択：「番組ナビ」を起動した日から最大 8 日分の番組データからの人名を表示します。検索に該当する人名を選び設定します。
- 指定なし：キーワードを設定しません。キーワード 1 ～ 3 すべてが指定なしだと検索はできません。
- 戻る：「キーワード入力方法選択」画面を閉じます。「戻る」を押しても閉じることができます。

② **ジャンル：** ジャンルを設定します。
③ **日付：** 「番組ナビ」を起動した日から最大 8 日間までの指定が可能です。
④ **時間帯：** 検索する時間帯を指定します。
⑤ **チャンネル：** 検索するチャンネルを指定します。
⑥ **再放送番組：** 再放送番組を検索対象に含むか含まないか選びます。
⑦ **前回の検索結果：** 前回検索した結果が表示されます。
⑧ **検索開始：** 検索結果を表示します。

- キーワード検索では、以下の点にご注意ください。
  - 設定したすべての項目に該当するものを検索します。条件をたくさん設定するほど、検索される番組は少なくなるか、全くなくなってしまいます。
  - 空白（全角、半角）をはさんで文字列を指定すると、AND 検索になります。パソコンの検索等で一般的に利用される正規表現や、ワイルドカード、OR 検索はありません。
  - ひらがな、カタカナ、漢字、英字を区別します。
  - 大文字／小文字の区別をしません。

  また、ADAMS と iNET どちらの番組データであるかによって、検索条件に以下の違いがあります。
  - キーワードの全角／半角の区分
    ADAMS：する／ iNET：しない
  - 記号の検索（+、−、=、！、#、$、%、¥、{ } など）
    ADAMS：する／ iNET：しない
  - キーワードを含む語句の完全な検索
    ADAMS：する／ iNET：しない※

  ※ iNET では、例えばキーワードが「ドラ」の場合、「連ドラ」や「ドラをたたく」は検索されますが、「ヘッドライン」は検索されません。
- iNET でのキーワード検索の条件（全角／半角の区別をしない、など）はサーバーの都合で変更することがあります。

4

「検索開始」を選び、「決定」を押す

条件に該当した検索結果が表示されます。

5

録画する番組がある場合は、番組名を選び、「決定」を押す

「録るナビ　録画予約」が表示されます。「登録」を選び「決定」を押すと予約完了です。録画内容を確認する場合は「録るナビで録画予約をする（⇨ 52 ページ）」をご覧ください。

人名で検索する

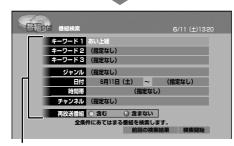
番組データに含まれる人名を使って、検索することができます。

1) 「番組ナビ」を押す（停止中、再生中または録画中）

2) 「人名で検索」を選び、「決定」を押す

3) 検索に必要な人名を選び、「決定」を押す

方向ボタン（◀/▶）であ行、か行…などの見出しを切り換えます。
複数ページある場合は、「左右頁（⏮/⏭）」で切り換えます。

番組情報データに含まれる、人名リストが 50 音順に表示されます。お好みの人物をリストから選びます。

必要に応じて、検索に必要な項目を設定します。人名検索画面を再び表示したい場合は、キーワード欄のどれかを選び、「決定」を押し、「人名選択」で開くことができます。

4) 録画する番組がある場合は、番組名を選び、「決定」を押す

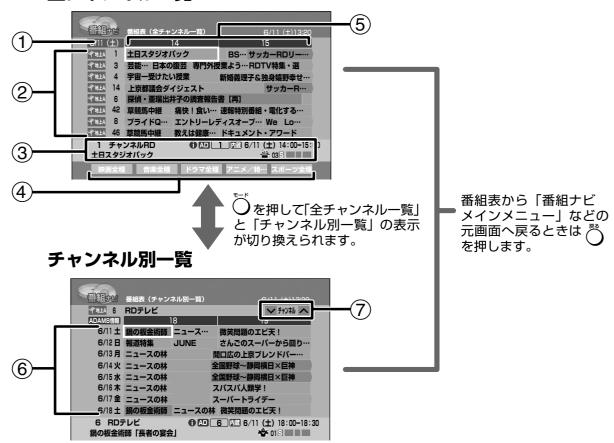
「録るナビ　録画予約」が表示されます。

お知らせ

- 「人名で検索」で表示される人名選択リストは、番組表内のすべての人名を網羅したものではありません。また、番組説明の出演者情報と異なる場合があります。

番組表の見かた

番組表には「全チャンネル一覧」と「チャンネル別一覧」があります。

全チャンネル一覧

① **指定した日付が表示されます。**
番組ナビを起動した日から最大8日間※の日にちを指定して番組表を表示できます。
（ガイドブック 40 ページ）

② **「番組ナビチャンネル設定」（ガイドブック 26 ページ）で設定しているチャンネルが表示されます。**
方向ボタン（▲/▼）でチャンネルをスクロールできます。
また、（上下頁/ワンタッチ）で画面単位で表示を切換えられます。

③ **選択している番組の情報が表示されます。**
アイコンについては、次ページをご覧ください。
選択している番組に番組説明が含まれている場合、（番組説明）を押すと、番組の説明が表示されます。

例：番組説明画面
番組説明について詳しくはガイドブック 50ページをご覧ください。

④ **「Myジャンル設定」（ガイドブック 44 ページ）で設定したジャンルが表示されます。**
番組表で該当している番組には帯がジャンルカラーの色になります。該当しない番組の帯はグレーで表示されます。

⑤ **時間帯別に番組を表示します。**
時間帯の表示切換えは「2 時間」「4 時間」「6 時間」から選べます。（ガイドブック 42 ページ）
時間帯の移動は画面単位で「左右頁（⏮）」で戻り、「左右頁（⏭）」で次の時間帯に進みます。
方向ボタン（◀/▶）で番組単位で移動します。
（サーチ）を押すと、現在の日時に移動します。

⑥ **番組ナビを表示した日から最大8日分※の番組表を表示します。**

⑦ **方向ボタンで選択し、「決定」を押してチャンネルを切り換えます。**
また、（上下頁/ワンタッチ）で全チャンネル一覧の表示順でチャンネルを切り換えられます。

お知らせ
・接続している外部機器が、本機から制御できる状態（スカパー！連動、DTV 連動）の場合、該当のロゴは緑色になります。

※ADAMSによる番組データの提供は通常当日を含めて8日分ですが、地域・チャンネルによって2日分の場合があります。（2005年4月現在）

表示マークやラインについて

表示	説明
R1★ R2☾	録画予約されている番組を表します。（W録R1、W録R2）放送時間の短い番組では表示されない場合があります。 録るナビでライン入力を指定して予約した場合は、該当するラインに設定されているチャンネルの予約時刻先頭には、薄い色のアイコンが表示されます。
22 23 0 番組帯の下に引かれているライン	時間帯の下に表示しているラインは、その時間帯に録画予約されていることを表します。チャンネル一覧では、カーソルのある行の日付に対応して表示されます。
R1★シーズー百科 番組名の下に引かれているライン	ライン入力の予約を「録るナビ」から行なった場合、どのチャンネルの予約かを特定できないため、同一のライン入力のチャンネルすべての該当日時に薄いマークと赤いアンダーラインを表示します。
ﾞ番付 R1★きょうの出来心 R1★ご馳ま万歳.. ワールド作家 予約番組の帯の濃さがかわっている	濃くなっている部分（時間）が他の録画予約と重複していることを表します。番組名下に引かれているラインも、予約が重複している部分は色が濃くなります。 ただし、9：00〜10：00、10：00〜11：00などの二つの隣接する予約の境界部分が録画できない場合は表していません。

お知らせ
- 番組表では、番組と番組の合間にある短い番組のタイトルは表示されないことがあります。
- 以下のアイコンが表示されている番組は､「お気に入り」の自動録画予約（おまかせ自動録画⇨ガイドブック45ページ）で予約された番組であることを表します。

■番組の属性を示すアイコンについて

●番組データの情報を示すアイコン

項目	アイコン	説明
メッセージ	i	ADAMSによる番組データで、放送局から番組に関するメッセージがある場合に表示されます。⇨ガイドブック42ページをご覧ください。
データ取得先	AD	ADAMSによる番組データであることを示します。
	NK	日刊編集センター情報による番組データであることを示します。（iNET）
		スカパー！による番組データであることを示します。（iNET）

●放送形態を示すアイコン

項目	アイコン	説明
音声	S	ステレオ放送の番組の場合に表示されます。
	二	二カ国語放送の番組の場合に表示されます。Videoモードで録画する予定のある場合には注意が必要です。⇨20ページ、25ページをご覧ください。外部チューナーの場合、必要に応じてチューナー側の番組予約時に変更する必要があります。
	モノ	モノラル放送の番組の場合に表示されます。
	SS	サラウンド放送の番組の場合に表示されますが、本機ではステレオとして記録されます。
画面比	16:9	BSデジタル等でのスクィーズ方式のワイド放送の番組の場合に表示されます。
解像度	SD	通常品質の番組の場合に表示されます。
	HD	BSデジタル等でハイビジョン品質の番組の場合に表示されますが、本機では通常の品質で録画されます。
画面/多重音声切換	切換可	BSデジタル等で、映像、音声、字幕などの切換が可能な番組である場合に表示されます。外部チューナーの接続となるため、デジタルチューナー内蔵テレビや単体チューナー側で、必要に応じて番組予約時に設定を変更する必要があります。

●視聴制限を示すアイコン

項目	アイコン	説明
ペイパービュー	PPV	有料放送の場合に表示されます。本機で予約しただけでは購入できません。外部チューナー側での購入、または放送事業者との視聴契約が必要となります。録画が禁止されている有料放送の場合、録画予約しても録画は正常に実行されません。
年齢制限		年齢制限のある番組の場合に表示されます。

お知らせ
- 放送形態・視聴制限を示すアイコンは番組データ提供元が作成したもので、すべての番組に対して該当するアイコンが表示されることを保証するものではありません。また、表示されるアイコンの内容が正しいことを保証するものでもありません。目安としてご覧ください。

録るナビで録画予約をする

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

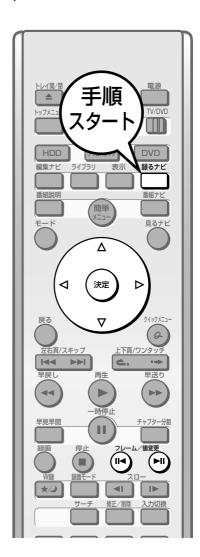
番組表を使わないで、「録るナビ」で録画予約をすることもできます。番組表から登録した録画予約を「録るナビ」で確認したり修正したりすることもできます。それぞれの項目を設定してください！

準備

- DVD-RAM/R/RWに録画するときは、ディスクを入れます。
- DVD-R/RWに録画するときは、はじめに必要な設定をしてください。(⇨25ページ)

1 停止中に、「録るナビ」を押す

「録るナビ」画面が表示されます。

決定 を押す（設定画面になります。）

2 方向ボタン（◀/▶）で設定する項目を選び、「値変更（II◀/▶II）」で設定する

録画するW録（R1/R2）を選ぶ
予約時間が重なったら、R1 とR2 に分けて設定します。
DVD-R/RW（Video モード）に録画するときは、「R1」を選びます。

録画するチャンネルを選ぶ

録画先を選ぶ
- HDD：内蔵HDDに録画
- DVD：DVDディスクに録画

設定内容の詳細は⇨56ページ

録画したい番組の日付を設定する

開始・終了時刻を設定する

画質を選ぶ
- SP：標準
- LP：長時間録画
- A1：⇨56ページ
- A2：⇨56ページ
- DL：⇨56ページ
- MN：ビットレート値を自由に設定できます。高くすると高画質になります。

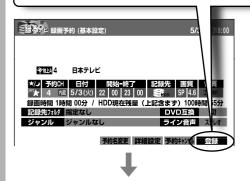
音質を選ぶ
- DD/M1：標準の音質です。
- DD/M2：DD/M1より良い音質です。
- L-PCM：CD同等の音質。録画可能時間が短くなります。

- 内容の設定は方向ボタン（▲/▼）でもできます。
- 「予約CH」と「開始ー終了」の設定は番号ボタンでもできます。

3 各項目の設定が終わったら、「決定」を押す

- DVD-R/RW（Videoモード）で録画、もしくはあとでダビングして保存する場合は、「DVD互換」を「入」にしてください。（57ページ）

4 方向ボタンで画面上の「登録」にカーソルを移動し、「決定」を押す

「登録」を押さないと、録画予約が本機に設定されません。

このマークが付いている録画予約を実行します。「実行」にカーソルを合わせ「決定」を押して設定します。

5 他の番組を予約するときは、カーソルを次の行に合わせて、「決定」を押す

手順2〜4をくり返します。

6 録画予約をしたら「録るナビ」を押す

お知らせ

- 時刻の重複する予約を登録すると、文字色を変えてお知らせします。（赤：時間帯が重複しているとき。青：終了時刻と開始時刻が同じなどのとき。HDDとDVDの予約混在時には、終了時刻が青文字で表示されない場合があります。）必要に応じて、時刻を変更してください。
- 予約録画の開始時刻にディスクトレイが開いていると、DVD側の予約録画は実行されません。あらかじめ録画するディスクを本機に入れておいてください。

予約内容を変更する

1)「録るナビ」を押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▲ / ▼）で、変更したい録画予約を選び、「決定」を押す

3) 操作手順２〜４の方法で録画予約を変更する

4)「録るナビ」を押す

予約内容を削除する

1)「録るナビ」を押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▲ / ▼）で、削除したい録画予約を選ぶ

3)「クイックメニュー」を押す

クイックメニューが表示されます。

4) 方向ボタン（▲ / ▼）で、「予約キャンセル」を選び、「決定」を押す

メッセージを確認して、録画予約を削除します。

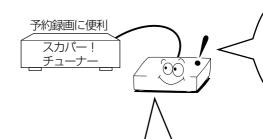
5)「録るナビ」を押して画面を終了する

予約録画実行中に録画を止める

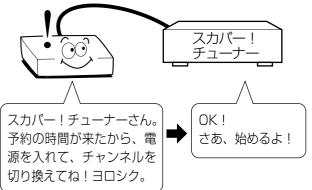
録画を止めたい「R1」または「R2」を選び、本体の「■」（停止）を２回押す

■

一度押すとメッセージが表示されますので、その間にもう一度押します。
（ナビ画面などの表示中は働きません。）

スカパー！の番組を録画予約する

スカパー！チューナーを接続して、スカパー！（SKY PerfecTV!）の番組を録画予約できます。
スカパー！放送の視聴には、受信契約が必要です。
チューナーの取扱説明書もご覧ください。

スカパー！連動機能を「録るナビ」で設定しましょう！

スカパー！連動で何ができるの？

・本機の「録るナビ」で予約しておくと、予約時間になると、スカパー！チューナーの電源を自動的に入れ、録画するチャンネルも自動的に切り換えます。（スカパー！チューナーの機種によっては、電源を自動的に入／切できないものもあります。）

スカパー！連動機能を使うためには……

1）スカパー！チューナーと本機を映像・音声接続コードとスカパー！連動ケーブル（別売）の両方で接続します。➪接続・設定編19ページ

2）スカパー！連動設定をします。「スカパー！連動」を「入」にします。スカパー！チューナーの電源入／切を制御するときは、「スカパー！電源連動」を「入」にします。➪接続・設定編34ページ

3）「番組ナビ」の「外部機器のチャンネル設定」をします。➪ガイドブック26ページ（本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

次のページをご覧になり「録るナビ」で設定してください。

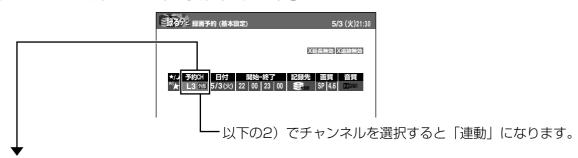
■スカパー！連動機能を使わずに録画予約をするには！

スカパー！チューナーと本機の入力1、入力2、入力3端子のどれかに接続して、ライン入力として録画します。

1）スカパー！チューナーを接続している端子に合わせて、L1～L3を設定する
L1：背面の入力1端子に接続しているとき
L2：前面の入力2端子に接続しているとき
L3：背面の入力3端子に接続しているとき

2）スカパー！チューナーの電源を入れた状態でスカパー！チューナー側のチャンネル切り換えで、録画をするチャンネルを設定しておく

■スカパー！連動機能を使っての録画予約 （本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

52ページの「録るナビ　録画予約（基本設定）」画面で

1）スカパー！チューナーを接続している端子（「初回設定」の「スカパー！設定」で設定した入力端子）に合わせて、L1～L3を設定します。
L1：背面の入力1端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。初回設定の「入力1設定」を「ライン」に設定してください。（接続・設定編33ページ）
L2：前面の入力2端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
L3：背面の入力3端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

2）スカパー！チャンネル選択画面で方向ボタンを押してチャンネルを選び、「決定」を押す

・左右頁／スキップ（⏮／⏭）：前後のページに移動します。
・「モード」を押すと、録画予約（基本設定）画面で「予約CH」（連動）から（外部）に切り換わり、連動予約から外部入力の通常予約になります。

「録るナビ　録画予約（基本設定）」画面に戻ります。各設定をしてください。
録画予約画面からもう一度スカパー！チャンネル選択画面を表示するときは、方向ボタン（▲/▼）で「予約CH」のL1～L3を選択してください。

お知らせ

- スカパー！チャンネルは、W 録 R1、W 録 R2 の設定をしても二つの違う番組を同時刻に録画できません。
- 「R1」「R2」を別々に指定してスカパー！を重複予約した場合、二つ目の予約開始付近で、一つ目の予約録画タイトルの記録音声が消えたり、スカパー！チューナーの選局映像が記録されることがあります。
- ペイパービュー番組を本機で購入することはできません。この場合は、スカパー！チューナーを接続している外部入力の通常予約として予約登録し、スカパー！チューナー側でも予約設定をしてください。
「スカパー！チャンネル選択」画面で「モード」を押すと、録画予約（基本設定）画面の「予約 CH」（連動）から（外部）に切り換わり、外部入力の通常予約となります。
- スカパー！番組の予約シフトはできません。
- 電源制御が正しく動作しないスカパー！チューナーをご使用の場合は、初回設定の「スカパー！電源連動」を「切」に設定し、スカパー！チューナー側は、録画開始の約 10 分前に電源を入れてください。
- スカパー！チューナーを複数機器で併用している場合、本機のスカパー！連動機能によって、接続される別機器の録画内容が別チャンネルに切り換わったり、スカパー！チューナーのメッセージ画面やミュート画面等が録画されたりする場合があります。

操作手順 2 の設定内容の詳細（☞ 52 ページ）

★/☽	R1、R2	W 録 R1、W 録 R2 のどちらを使うか設定します。
予約CH	1～64 ポジション、 BS1～BS15、L1*～L3	録画したい番組のチャンネルを設定します。 （スキップ設定したチャンネルは表示されません。） *「入力 1 設定」（☞接続・設定編 33 ページ）を「ライン」に設定してあるとき選べます。
日付	今日から 2 ヵ月先（62 日）の日付まで、毎日曜日～毎土曜日、月ー木曜日、月ー金曜日、月ー土曜日、毎日	録画したい番組の日付を設定します。
開始	0：00～23：59	録画の開始時刻です。（初期値として 10 分後の時刻が表示されます。）
終了	0：00～23：59	録画の終了時刻です。（現在時刻から 2 分以降で録画開始時刻から 9 時間以内が設定できます。）
記録先	DVD	DVD-RAM/R/RW に録画したいとき。
	HDD	内蔵 HDD に録画したいとき。
画質（モード）	SP	録画時間、画質とも標準の設定です。（音質に「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	LP	長時間録画したいとき。ただし、画質は「SP」モードに比べると下がります。（音質に「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	MN	ビットレートを任意に設定できます。
	A1	録画直前のディスクの空き容量に合わせて自動的に画質レートを設定します。（ディスクの空き容量が足りない場合は、番組の最後まで録画できません。）内蔵 HDD に録画すると、4.7GB の未使用 DVD ディスクにダビングできる時間分を録画します。2 時間半以上の番組は設定できません。
	A2	未記録の両面ディスクになるべく高画質でおさまるように、自動的に画質レートを設定します。「記録先」は「HDD」に固定されます。録画後のタイトルは容量が片面ディスク 2 枚分で、中間点で前後二つのチャプターに分かれています。それぞれのチャプターをディスクにダビングすることで、容量のむだのない、高画質の保存ができます。
	DL	未記録の DVD-R DL（2 層）に、なるべく高画質でおさまるように、自動的に画質レートを設定します。「記録先」は「HDD」に固定されます。あとで DVD-R DL（2 層）に書き込んで DVD-Video 作成をする場合に便利です。
画質（レート）	1.0、1.4 2.0～9.2	録画モードが「SP」、「LP」、「A1」、「A2」、「DL」では指定できません。1.0、1.4 と 2.0～9.2 の範囲で 0.2Mbps ずつ任意に指定できます。（音質の設定値によって、設定できる上限値が変わります。）
音質	DD D/M1	標準の音質です。
	DD D/M2	DD D/M1 よりも良い音質です。音楽番組などの録画にお勧めです。
	L-PCM	圧縮していないデジタル音声でオーディオ CD 同等の音質ですが、録画できる時間は短くなります。

DD D/M1、DD D/M2 は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定 1 としてDD D/M1 は Dolby Digital 192kbps、設定 2 としてDD D/M2 は Dolby Digital 384kbps となっています。

お知らせ

- 24：00以降（25：00、26：00など）の録画予約時刻は、番号ボタンで0：00～30：59まで入力することができます。
- レート設定をおおよそ「4.0」Mbpsより低くした場合、いろいろな速さの再生が正しく働かないことがあります。また、他のレート設定よりノイズが多く発生し、画質も下がります。
- DVDディスクの再生中に内蔵HDDへの予約録画がはじまると、一瞬再生画面が静止します。
- 「R2」で録画する場合、最大でディスク5枚分の領域が確保されていますが、複数の予約が連続する場合は、リセットされずに、5枚分を使い切ることになり、使い切った場合は、HDDに空きがあっても最後まで録画は実行されません。
  これは「R2」で録画が連続する場合だけでなく、「R1」の予約と重なり、両者あわせての9時間制限にあたる場合も同様です。これを回避するには、いったん、「R1」、「R2」いずれも録画が実行されていない状態が約3分間以上できるように、録画予約の重なりを設定してください。（詳しくは、☞122ページをご覧ください。）
- ネットdeダビング機能をお使いの場合、ネットワークのデータアクセス量がふえることによって、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズがはいることがあります。ネットdeダビング機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをお勧めします。
- 「番組追っかけ」機能（☞47ページ）が働いた結果、日をまたいだ予約時間の変更が行なわれた場合、その予約の「日付」欄に「毎複数日」と表示されることがあります。

録るナビ予約をするときの便利な設定

方向ボタンで項目を選び､「決定」を押す

設定画面に切り換わります。

カーソルが､「予約CH」や「日付」など➡52ページの設定項目にあるときは､先に「戻る」を押してカーソルを行全体に広げてから､この手順を行なってください。

録るナビ 録画予約（基本設定） 5/3（火）18:00
X延長無効 X追跡無効
地上A 4 日本テレビ

★/☽	予約CH	日付	開始-終了				記録先	画質		音質
R1★	4 内蔵	5/3(火)	22	00	23	00	HDD	SP	4.6	D/M1

録画時間 1時間 00分 / HDD現在残量 100時間 55分
記録先フォルダ 指定なし　DVD互換 切
ジャンル ジャンルなし　ライン音声 ステレオ
予約名変更　詳細設定　予約キャンセル　登録

DVD-R/RW（Videoモード）で録画するときに設定します。
設定する内容については、➡25ページをご覧ください。

1)「DVD互換モード選択」画面で、モードを方向ボタンで選ぶ

2)「決定」を押す

予約録画する番組を整理するために、録画先のフォルダを指定できます。（各「お気に入り」フォルダは指定できません。）

1)「記録先フォルダ選択」画面で、録画先フォルダを方向ボタンで選ぶ

2)「決定」を押す

■番組名フォルダ化
予約番組のタイトルと同じ名前のフォルダを作成することができます。

1)「記録先フォルダ選択」画面で、「番組名フォルダ化」を方向ボタンで選ぶ
例

2)「決定」を押す
文字入力画面に番組タイトルが表示されます。
ここでフォルダ名を変更することもできます。（➡ガイドブック17ページ）

3)「モード」を押して保存する
登録先フォルダ選択画面が表示されます。

4)「戻る」を押す
もとの画面に戻ります。

設定内容を登録します。

さらに詳細な設定の画面に移動します。「左右頁（▶▶|）」または「早送り（▶▶）」を押しても切り換わります。➡ガイドブック10ページ

予約名を入力できます。入力画面で入力してください。➡ガイドブック17ページ

現在表示している録画予約内容を取り消します。

録画予約する番組のジャンルを設定できます。

1)「ジャンル選択」画面で、方向ボタンでジャンルを選ぶ

2)「決定」を押す

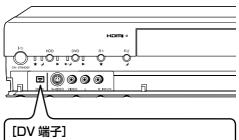
本機に接続している外部機器から録画予約をするときに記録する音声を選びます。

1)「ライン音声選択」画面で、記録する音声を方向ボタンで選ぶ

- **ステレオ**：ステレオで記録します。
- **L**：（Videoモード向け）左チャンネルの音声だけをモノラルで記録します。
- **R**：（Videoモード向け）右チャンネルの音声だけをモノラルで記録します。
- **主＋副**：（VRモード用）二カ国語放送などを二重音声で記録します。
  - この設定はDVD-R/RW（Videoモード）で選んだ場合、録画タイトルは「ステレオ」になります。
  - 「主＋副」の設定がされていても、音声をL-PCM で録画する場合は「ステレオ」になります。

2)「決定」を押す

DV 連動録画（デジタルビデオカメラの映像を録画する）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

［DV 端子］
DV 端子にデジタルビデオカメラを接続し、その映像を録画します。

1 デジタルビデオカメラを本機前面の「DV端子」に接続し、録画先（「HDD」か「DVD」）を選ぶ

HDD

HDD：内蔵HDDに録画
DVD：DVD ディスクに録画

2 「W録」を押し、「R1」を選ぶ

W録

「R2」では、DV連動録画はできません。

3 再生中または停止中に、「編集ナビ」を押す

編集ナビ

「編集ナビ　メインメニュー」が表示されます。

4

「DV連動録画」を選び、「決定」を押す

5

方向ボタンで各項目を設定し、設定が終わったら「次へ」を選び、「決定」を押す

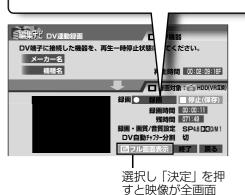
- 設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

●画質と音質のレートを変えたいときは
1)方向ボタン（▲/▼）で「変更」を選び「**決定**」を押す
2)録画・画質 / 音質設定の画面で、「**値変更**」を押して設定 No. を選ぶ
3)「**決定**」を押す

6 接続しているデジタルビデオカメラを再生一時停止状態にする

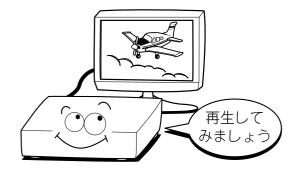
録画する情報を確認する画面が表示されます。
- デジタルビデオカメラなどの機種によっては、画面に「メーカー名」や「機種名」が表示されないことがあります。

7 方向ボタンで「録画」を選び、「決定」を押す

選択し「決定」を押すと映像が全画面に表示されます。

録画が始まり「録画」が「一時停止」の表示に切り換わります。

・録画を一時停止する場合は、「一時停止」を選んだ状態で「決定」を押します。
・録画を停止する場合は、方向ボタンで「停止（保存）」を選び、「決定」を押します。

お知らせ

- デジタルビデオカメラなどの接続機器からの入力に DV 端子をご使用ください。接続機器への出力には対応していません。
- DVD-R/RW（Video モード）に録画する場合で、「DV 自動チャプター分割」が「切」に設定されているとき、「DVD-Video 時チャプター分割」（25 ページ）の設定に従って自動的にチャプターが分割されます。
- 以下の場合、DV 連動録画は起動できません。
  －録画中、タイムスリップ中
  －「見るナビ」「録るナビ」「ライブラリ」で設定を変更中のとき
  －初期設定で時計を設定していないとき
  －5分以内に予約録画が始まる場合、または予約録画実行中
- DV 連動録画と予約録画が重なった場合、予約録画の 5 分前に DV 連動録画は終了し、予約録画が実行されます。
- パソコンなど、デジタルビデオカメラ以外の機器を DV 端子に接続した場合、「DV 連動録画」は動作しません。
- DV 端子に複数の機器を接続していると、「DV 連動録画」は正常に動作しません。接続するのはデジタルビデオカメラ 1 台だけにしてください。
- デジタルビデオカメラの動作が本機の動作に影響することがあるため、DV 連動録画をするとき以外はデジタルビデオカメラをはずしてください。
- 「ブラウン管保護」（103 ページ）が「入」のとき、DV 連動録画詳細表示で録画を 15 分間続けたままで何も操作しないでいると、フル画面表示になります。
- デジタルビデオカメラに記録されたステレオ 1 とステレオ 2 の音声を同時に本機で記録するときは、デジタルビデオカメラに付属の映像・音声接続コードなどで外部入力端子と接続してください。（42 ページ）
- デジタルビデオカメラとの接続が正しく認識できないときは、何回かケーブルを抜き差ししてみてください。
- 接続するデジタルビデオカメラによっては、本機で使っている映像圧縮方式と異なるものがあります。映像圧縮方式の違う機器からは、録画できません。
- 接続するデジタルビデオカメラによっては、正しく動作しない場合や一部の機能が使えないことがあります。
- 途中から上書きした DV テープの映像を入力した場合、自動チャプター分割が正しく行なわれない場合があります。

再生だけが可能なディスクについて

ディスク	内容	備考
DVD ビデオディスク	**・12cm ／ 8cm** **・リージョン番号が 2 および ALL** **・映像方式：NTSC**	本機のリージョン（地域）番号は２です。DVD ビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように２が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。
音楽用 CD	**・12cm ／ 8cm**	
CD-R CD-RW	**・12cm** **・CD-DA （音楽用 CD） フォーマット**	ディスクによっては、再生できない場合があります。

- 本機で録画・再生できる映像方式は NTSC 方式です。
- 市販されている DVD ビデオディスクであっても再生できないことがあります。その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。（連絡先は裏表紙に記載されています。）

■ディスクの内容の区分

●一般に、DVDビデオディスクに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。

タイトル： DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
短編集の「話」に相当します。

チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
本の「章」に相当します。

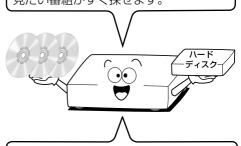
トラック： 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

再　生

再生をしてみましょう。

- **見るナビで、録画した内容を再生する**
- **タイムスリップ機能を使う**
  - **■TVお好み再生**
  - **■追っかけ再生**
- **見るナビでフォルダ機能を使う**
- **DVD ビデオディスクを再生する**
- **いろいろな速さで再生する**
- **その他便利機能**
- **動作と設定の状態を画面で確認する**

見るナビで、録画した内容を再生する

本機で録画した番組は、まず「見るナビ」で再生しましょう。
見たい番組がすぐ探せます。

市販のDVDビデオディスクなどの再生は、69ページをご覧ください。

1

見るナビ

停止中または再生中に、「見るナビ」を押す

「見るナビ」画面が表示されます。
- 「見るナビ」をもう一度押すと、画面が消えます。

この画面で…

HDD を押す：内蔵HDDの録画内容を表示。

DVD を押す：DVDの録画内容を表示。

（他社機などで録画したDVD-R/RW（Videoモード)は、見るナビの表示ができません。）

2

見たい番組のタイトル(またはチャプター)を選ぶ

- 「**左右頁**(⏮/⏭)」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。
  もう一度押すと、タイトルに戻ります。

本機でフォルダ機能を使うときに使用します。
詳しくは、65ページをご覧ください。

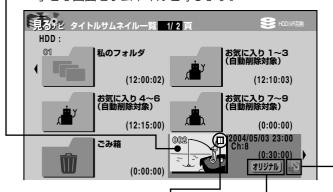
3

「決定」を押す

選んだ番組のタイトル(またはチャプター)から再生が始まります。
- 早送り／早戻しやスローなどの再生は、70ページをご覧ください。

「見るナビ」画面について

コピーワンス（1回だけ録画が可能）の番組を録画したタイトルには、コピー禁止を示すアイコンが表示されます。

小さな画面をサムネイルと呼びます。

タイトルは本機に録画された日時の古い順に並びます。プレイリストは、オリジナルのあとに表示されます。

録画したそのものは、「オリジナル」です。このオリジナルを編集したものを「プレイリスト」と呼びます。

1タイトルごとに再生を止めた位置を記憶していることを示しています。
「HDD/RAMタイトル再生設定」が「タイトル毎レジューム」に設定してあるときに表示されます。（⇨104ページ）
「タイトル連続再生」に設定してあるときは、最後に録画／再生／選択したタイトルだけに表示されます。

■「見るナビ」画面をリスト表示する

「見るナビ」画面のサムネイル表示をリスト表示に切り換えると、サムネイル表示よりも多くの番組が表示できます。

見るナビ表示中に「ズーム」を押す

- 「ズーム」を押すたびに、サムネイル表示とリスト表示が切り換わります。

お知らせ

- タイトルサムネイル一覧を表示中に、クイックメニューの「表示切換」から「リスト一覧表示」を選んでも表示の切換えができます。

再生を停止する／一時停止する

「停止」を押す

再生を終了します。

再生中に「一時停止」を押す

再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

少しとばす／少し前に戻る

ボタンを押すごとに、あらかじめ決めた一定量をとばしたり戻したりして再生できます。

「ワンタッチ」（▮➡）を押す（ワンタッチスキップ）

押すたびに、一定量とばします。

「ワンタッチ」（⏎）を押す（ワンタッチリプレイ）

押すたびに、一定量前に戻します。

- とばしたり、戻したりする間隔を設定できます。（⇨ 104 ページ）

見終わった番組を消す

見終わった番組で、もう見ない番組を消去します。

1) ⇨ 62 ページの操作手順 2 で、消したい番組（タイトル／チャプター）を選ぶ

2) 「クイックメニュー」を押す

3) 方向ボタン（▲/▼）で「タイトル削除」を選び、「決定」を押す

- 確認メッセージで「はい」を選び「決定」を押すと、消去されます。

タイムスリップ機能を使う

TV お好み再生　HDD

放送中の番組を見ているときに、ふいの電話や来客などがあった場合、その続きをあとから見ることができます。

1 本機を通して番組を見ているときに、「タイムスリップ」を押す

タイムスリップ

（たとえば、電話が鳴ったときに、「タイムスリップ」を押します。）
タイムスリップの準備完了後は、自動的に再生を始めます。
「タイムスリップ」を押してからの放送内容は、ディスクに一時的に録画されていきます。

2 始めから見るときは、「スキップ(I◀◀)」を押す

左右頁/スキップ

「タイムスリップ」を押したところに戻ります。

- 「早送り」、「早戻し」や「スロー」ボタンも使えますので、見たい場面を再生してください。
- 早送りできるのは、実際の放送の数十秒前までです。

3 終了するときは、「タイムスリップ」を押す

タイムスリップ

録画が止まります。録画した内容を保存するかを確認するメッセージが表示されます。方向ボタン(◀/▶)で「はい」「いいえ」を選び、「決定」を押します。

お知らせ

- TVお好み再生は、録画中のW録R1、W録R2ではできません。
- 番組が終わる前にタイムスリップを終了した場合、その番組を最後まで見ることはできません。
- TVお好み再生はHDDに空き容量がなくなると停止します。空き容量が全くない場合は動作しません。
- TVお好み再生中は録画予約はできません。
- ディスクへの記録状態によっては、再生画像が数秒後戻りしたり一時停止することがあります。
- 高速ダビング中などの場合は、TVお好み再生はできません。

追っかけ再生　HDD　DVD-RAM

予約録画中に帰宅したときなど、録画が終了するのを待たずに番組のはじめから見られます。

1 内蔵HDD、DVD-RAMの録画中に、「タイムスリップ」を押す

タイムスリップ

（たとえば、予約録画実行中に帰宅したときに、「タイムスリップ」を押します。）
現在録画している番組が再生状態になります。

- 再生状態になるまでに、少し時間がかかることがあります。

2 「スキップ(I◀◀)」を押す

左右頁/スキップ

番組の先頭まで戻り、自動的に再生が始まります。

- 「早送り」、「早戻し」や「スロー」ボタンも使えますので、見たい場面を再生してください。
- 早送りできるのは、録画している実際の放送の数十秒前までです。

3 終了するときは、「タイムスリップ」を押す

タイムスリップ

画面が放送中の映像に戻ります。
録画は引き続き予約終了時刻まで行なわれます。

お知らせ

- 追っかけ再生中は、録画予約はできません。
- 追っかけ再生をしているW録R1/R2の予約録画開始時刻になると、追っかけ再生は中断されます。
- 空き容量がなくなると録画は停止します。
- 追っかけ再生中に、終了後の電源入切の設定はできません。また、あらかじめ終了後の電源を切る設定がしてあっても、追っかけ再生をすると設定は無効になります。
- ディスクへの記録状態によっては、再生画像が数秒後戻りしたり一時停止することがあります。
- 高速ダビング中などの場合は、追っかけ再生ができません。
- R1、R2の両方で録画中の場合は、「W録」を押して切り換えることで、どちらの映像も追っかけ再生ができます。ただし、R1、R2両方同時に追っかけ再生はできません。片方の追っかけ再生を終了してから「W録」を押して切り換えてください。

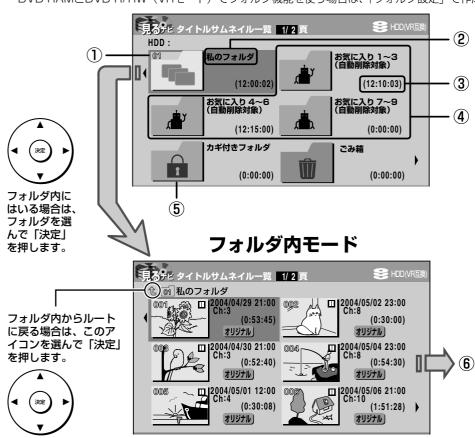
見るナビでフォルダ機能を使う

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

フォルダを使いこなして録画タイトルをすっきり整理しましょう。

ルートモード

「ごみ箱」が置かれている「見るナビ　タイトルサムネイル（またはタイトルリスト）一覧」を「ルート」といいます。

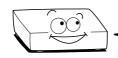
HDDの初期状態では以下のようにフォルダ表示されます。
DVD-RAMとDVD-R/RW（VRモード）でフォルダ機能を使う場合は、「フォルダ設定」で作成してください。（ガイドブック62ページ）

①フォルダ番号
表示順は変更可能です。
（ガイドブック63ページ）

②フォルダ名
フォルダ名は変更が可能です。
（66ページ）

③フォルダ内の録画タイトル（オリジナル）の合計時間を表します。

④お気に入りフォルダ
「おまかせ自動録画」機能で録画されたタイトルが収納されます。
※このフォルダ内のタイトルは、一定量を超えると、古いものから順に削除されます。
（ガイドブック45ページ）

⑤カギ付きフォルダ
フォルダによって録画タイトルを保護します。
（ガイドブック64ページ）
※HDDだけの機能です。

⑥フォルダ内の録画タイトルをルート上に移動したり、他のフォルダに移動することもできます。
（67ページ）
※フォルダ内にさらにフォルダを設定することはできません。

こんなときにフォルダを活用！

Q. フォルダはどんなときに使えばいいの？
A. 連続ドラマなどを録画する場合やご家族で本機を共有されている場合、それぞれフォルダを設定して管理すればスッキリ整理できます。

フォルダ設定でフォルダを作成すれば、録画タイトルをすっきり収納できます。詳しくはガイドブック62ページをご覧ください。

Q. ルート上にたくさんある録画タイトルを一度にフォルダへ移動したりできる？
A. クイックメニューの「一括フォルダ間移動」を使えば複数の録画タイトルも一度で移動ができます。（67ページ）

複数の録画タイトルを選んで移動先フォルダに楽々移動。（録画タイトルごとに移動先フォルダを個別指定も可能です）

Q. 録画をするとき、フォルダを選んで予約はできるの？
A. 「録るナビ」や「ネットdeナビ」でフォルダを指定して予約録画ができます。

「録画予約」画面で「記録先フォルダ」が選べます。（記録先フォルダ指定については57ページをご覧ください。）

はじめに
録画の前に
録画
再生
編集
ダビング
機能設定
その他

フォルダ名を変更する

必要に応じてフォルダ名を変更します。各「お気に入り」フォルダと「カギ付きフォルダ」と「ごみ箱」は名前の変更はできません。

《フォルダ名として設定できない名前》
「ルート」、「ごみ箱」、「カギ付き」、「指定なし」、または各「お気に入り」フォルダ（例：お気に入り 1～3（自動削除対象））と同じ言葉（全角）を含む名前は設定できません。ただし、半角であれば設定は可能です。

1) 停止中、再生中または録画中に「見るナビ」を押す

「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」が表示されます。

2) 名前を変更するフォルダを選ぶ

例：「私のフォルダ」を変更

3) 「クイックメニュー」を押す

4) 「フォルダ機能」を選び、「決定」を押す

5) 「フォルダ名変更」を選び、「決定」を押す

6) キーボードを使ってフォルダ名を変更する

文字入力の方法は➡ガイドブック 17 ページをご覧ください。

例：「私のフォルダ」を「僕のフォルダ」に変更

文字入力が終わったら「モード」を押して保存します。
保存後は「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」に戻ります。

録画タイトルをフォルダに移動する

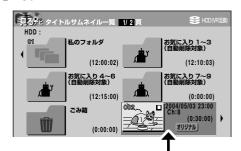
録画タイトルを一つだけフォルダに移動します。

《移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するにはガイドブック65ページ）

1) 停止中、再生中または録画中に、「見るナビ」を押す

見るナビ

見るナビ画面が表示されます。

2) 移動させる録画タイトルを選択した状態で「クイックメニュー」を押す

例：この録画タイトルを移動させる

3) 「フォルダ機能」→「フォルダへ移動」を選び、「決定」を押す

4) 移動先のフォルダを選び、「決定」を押す

例：「私のフォルダ」に移動

- 「カギ付きフォルダ」や「ごみ箱」への移動も可能です。
- フォルダ内にある録画タイトルも移動できます。
- フォルダ内の録画タイトルをルート上に出す場合は、「フォルダから出す」を選びます。

複数の録画タイトルを一括してフォルダに移動する

複数の録画タイトルを一つのフォルダ、または複数のフォルダに移動します。
一度に50タイトルまで移動できます。

《移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するにはガイドブック65ページ）

1) 停止中、再生中または録画中に、「見るナビ」を押す

2) 「クイックメニュー」を押す

3) 方向ボタンで、「フォルダ機能」→「一括フォルダ間移動」を選び、「決定」を押す

4) 移動させるタイトルを選び、「決定」を押し、移動先フォルダを選ぶ

例:録画タイトルNO.「001」をフォルダNO.「01」へ移動

- フォルダ内の録画タイトルも移動できます。
- 「決定」を押したあと、選んだ録画タイトルのサムネイルには、移動先を表わすアイコンが表示されます。例：「 」
- 移動をキャンセルする場合は、キャンセルする録画タイトルを選び「クイックメニュー」を押し、「選択キャンセル」を選び「決定」を押します。
- 一括フォルダ間移動では、カギ付きフォルダの開錠はできますが、施錠することはできません。

5) 手順4をくり返して、移動させる録画タイトルを追加する

例:録画タイトルNO.「002」をフォルダNO.「01」へ移動

フォルダ内の録画タイトルをルート上に出す場合は、ルート上に出す録画タイトルを選び、移動先に「ルート」を選びます。

6) 「移動開始」を選び、「決定」を押す

録画タイトルが指定したフォルダに移動します。

ごみ箱に移動する

削除予定の録画タイトルを、あとでまとめて削除できるよう「ごみ箱」に入れておけます。

《ごみ箱に移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するにはガイドブック65ページ）

1) 停止中、再生中または録画中に、「見るナビ」を押す

見るナビ

「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」が表示されます。

2) ごみ箱に移動する録画タイトルを選び、「クイックメニュー」を押す

3) 「ごみ箱へ移動」を選び、「決定」を押す

4) 内容を確認して「決定」を押す

ごみ箱に移動する場合は「はい」を選び、キャンセルする場合は「いいえ」を選びます。

ごみ箱に録画タイトルがはいっている場合はふたのあいた赤色のアイコンに変わります。

ごみ箱を空にする

「ごみ箱」にはいっている録画タイトルをまとめて削除します。削除を実行するとキャンセルができませんのでご注意ください。
プレイリストのパーツをごみ箱へ移動しても再生はされます。ただし、空にしてしまうとプレイリストから削除されます。

《以下の状態の場合ごみ箱を空にできません》
・予約録画準備中
・録画中

1) 停止中または再生中に、「見るナビ」を押す

見るナビ

「見るナビ　タイトルサムネイル一覧」が表示されます。

2) ごみ箱を選び、「クイックメニュー」を押す

3) 「ごみ箱を空にする」を選び、「決定」を押す

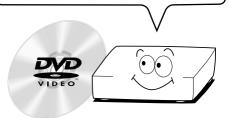
「ごみ箱を空にする」はごみ箱に削除するタイトルがはいっていない場合、表示されません。

4) 内容を確認して「決定」を押す

ごみ箱を空にする場合は「はい」を選び、キャンセルする場合は「いいえ」を選びます。
削除中のキャンセルはできません。

DVDビデオディスクを再生する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

音楽用CD、ファイナライズ処理後のDVD-R/RW（Videoモード)も同じ手順で再生できます。

1 再生したいディスクを入れ､｢DVD｣を押す

DVD

本体のDVDインジケーターが点灯します。

2 ｢再生｣を押す

再生 ▶

再生が始まります。

- ディスクによっては、「DVD」を押すだけで、再生が始まることがあります。
- 再生が始まるまで､多少時間がかかることがあります。これは､ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

再生を停止する／一時停止する

停止
「停止」を押す
再生を終了します。

一時停止
再生中に「一時停止」を押す
再生が一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

お知らせ

- DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなります。

いろいろな速さで再生する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

早送り／早戻しする

再生中に、「早戻し」または「早送り」を押す

・「早戻し」または「早送り」を押すたびに、それぞれの再生する速さが切り換わります。

・(再生)を押すと、普通の再生に戻ります。

早耳早聞機能

(早見早聞)を押すと、音声付きで早送りができます。

コマ送り／コマ戻しする

再生中に、「一時停止」を押してから、「フレーム」を押す

▶II：コマ送りします。

II◀：コマ戻しします。

・(再生)または(一時停止)を押すと、普通の再生に戻ります。

ワンタッチスキップ

再生中に、「ワンタッチ」（•➡）を押す

・ボタンを押すたびに、設定した時間分（➪ 104 ページ）をスキップします。

ワンタッチリプレイ

再生中に、「ワンタッチ」（⏎）を押す

・ボタンを押すたびに、設定した時間分（➪ 104 ページ）前に戻し、そこから再生を再開します。

・ディスクによっては、ワンタッチリプレイができないものがあります。

スローモーションで再生（※CD は不可）

再生中に、「スロー」を押す

I▶：進む方向のスローモーションで再生します。

◀I：戻る方向のスローモーションで再生します。

・押すたびに、速さが切り換わります。

・(再生)を押すと普通の再生に戻ります。

1/20 分割ジャンプ

再生中に、方向ボタン（◀ / ▶）を押す

ボタンを押すたびに、再生中のタイトルやトラックの約 1/20 にあたる時間をスキップします。

・タイトルやトラックの長さが 1 分以下だと働きません。

前後のチャプター／トラックへスキップする

「スキップ」をくり返し押して、再生したいチャプター / トラック番号を選ぶ

(左右頁/スキップ)

▶▶I：一つ先のチャプター／トラックから再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
続けて 2 回押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

静止画をめくる（静止画が記録されたディスクの再生）

静止画が記録されたディスクを入れ、「再生」を押す

静止画の 1 枚目が再生されます。

(フレーム／値変更)を押す

▶II：次の静止画が再生されます。

II◀：前の静止画が再生されます。

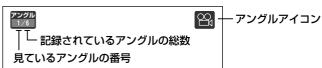
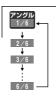
・「再生」を押し続けてめくる場合や、「決定」や「スキップ」を押してめくる場合があります。

その他便利機能

アングルを変えて見る　DVDビデオ

複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

1) 再生中に、「アングル」を押す

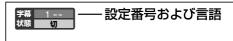
・マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。表示中に好きなアングルに切り換えることができます。

2) アングル番号の表示中に、「アングル」を押して、好きなアングルを選ぶ

・アングル番号表示は操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

字幕の表示と切換　DVDビデオ

字幕が記録されているディスクでは、再生画面に字幕を表示できます。複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。

1) 再生中に、「字幕」を押す

字幕

・現在の字幕設定を表示します。

言語名は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（113 ページ）と照らし合わせてください。

2) 方向ボタン（▼）で、「状態」にカーソルをあわせ、「字幕」を押して「入」にする

・「切」にすると字幕は表示されません。

3) 方向ボタン（▲）で、「字幕」にカーソルをあわせ、「字幕」を押して好きな言語を選ぶ

・字幕設定の表示は、操作してから約 3 秒たつと自動的に消えます。

・ディスクによっては、字幕の表示切換を、ディスクメニューで選ぶ場合があります。

音声の切換　HDD　DVD-RAM　DVD-RW(VRモード)　DVD-RW(Videoモード)　DVD-R(VRモード)　DVD-R(Videoモード)　DVDビデオ

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や音声方式に切り換えられます。

1) 再生中または放送受信中に「音多」を押す

音多

・現在の音声設定が表示されます。

言語名がコードで表示される場合は、言語コード表（113 ページ）と照らし合わせてください。

2) 音声設定の表示中に「音多」を押して好きな音声を選ぶ

ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わりかたが異なります。

● HDD　DVD-RAM　DVD-RW(VRモード)　DVD-R(VRモード)、およびテレビ放送受信中

ステレオ音声の番組

「ステレオ」または「LR」（左の主音声と右の副音声）→「L」（左の主音声）→「R」（右の副音声）→「ステレオ」または「LR」に戻る

二重音声の番組

「主」（主音声）→「副」（副音声）→「主＋副」（主音声＋副音声）→「主」に戻る

●以下のディスクは、「音声」で切り換えられます。

DVD-RW(Videoモード)　DVD-R(Videoモード)　DVDビデオ

ディスクに記録されている音声の、言語・音声方式・出力チャンネル数

音声設定の表示は、操作してから約 3 秒たつと自動的に消えます。

方向ボタン（▲/▼）で「出力」を選ぶと、「値変更」で音声出力設定（102 ページ）の切換えができます。

その他便利機能(つづき)

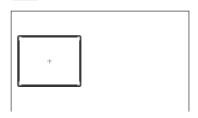
拡大して見る (ズーム)

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード) | DVDビデオ

再生画面や受信画面を拡大できます。

1)「ズーム」を押す

ズーム

画面にズームガイドが表示されます。

・もう一度「ズーム」を押すとズームが解除されます。

2) ズームする倍率と場所を選ぶ

モード

・**「モード」**：
ズームする倍率が上がります。

戻る

・**「戻る」**：
ズームする倍率が下がります。

・**方向ボタン**：
ズームする場所が移動します。

クリア

・**「クリア」**：
ズームする部分が画面の中央に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、ズームできないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- ズーム中、ディスクに記録されているメニューの機能を使うと、ズームは解除されます。
- メニュー（GUI など）表示中は、ズームはできません。

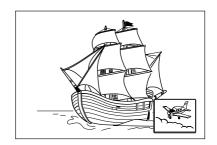
子画面で見る (P in P 再生)

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード) | DVDビデオ

再生しながら、子画面で放送中の番組を見ることができます。

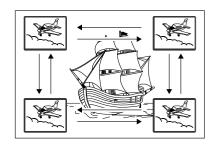
1) 再生中に、「PinP」を押す

PinP

・子画面 (放送中、または録画中の番組) が表示されます。

2) 方向ボタンを押して、子画面を配置する場所を選ぶ

表示できる場所は以下の 4 カ所です。

・子画面を消すにはもう一度「PinP」を押します。

お知らせ

- 子画面の放送は「チャンネル（∧/∨)」ボタンでチャンネルを切り換えられます。
- 再生中の画面と子画面の入替えや、音声の切換えはできません。
- タイムスリップ再生中に「PinP」を押すと、放送中の映像が子画面に表示されます。
- 位置を変更して P in P 機能を中止した場合、再度「PinP」を押すと、変更した場所に子画面が表示されます。ただし、本機の電源を切った場合は右下に表示されます。

動作と設定の状態を画面で確認する

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ	CD

状態表示と設定状況表示

現在どの部分をどのような設定条件で操作しているかなどを、画面に表示させて確認できます。

1)「表示」を押す

表示

以下のような状態表示が出ます。(ディスクによって内容は異なります。)

例：内蔵 HDD の再生中

2) もう一度「表示」を押す

本機の設定状態と再生残時間などが表示されます。
(ディスクによって内容は異なります。)

・さらに「表示」を押すと、表示が消えます。

タイムバーを使う

タイムバーとは、再生や録画で現時点と全体との時間の関係を図式化した表示です。

1) 再生中または録画中に「タイムバー」を押す

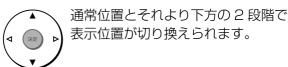
タイムバー

タイムバーが表示されます。(ディスクによって内容は異なります。)

例：再生中

例：録画中

2) タイムバーの表示位置を変更するには、方向ボタン（▲／▼）を押す

通常位置とそれより下方の 2 段階で表示位置が切り換えられます。

3) タイムバーを消すには、もう一度「タイムバー」を押す

タイムバー

タイムバーの表示が消えます。

編　集

好きな場面だけを集めて、お気に入りの映像集が手軽に作れます。大事な録画は DVD ディスクに保存しましょう。

●編集の前に

●チャプター編集

●プレイリスト編集（必要な場面を集める）

編集の前に

編集するディスクについて

録画したタイトルの編集は、録画したメディアによって、できることに差があります。以下の表を参考にしてください。

	HDD	DVD-RAM	DVD-RW*3		DVD-R*3	
			VRモード	Videoモード	VRモード*2	Videoモード
チャプター分割	◎	◎	◎	△*1	○	△*1
タイトル／チャプター削除	◎	◎	◎	△*2	○	△*2
チャプター結合	◎	◎	◎	×	○	×
チャプター境界シフト	◎	◎	◎	×	○	×
オリジナルタイトル結合	◎	◎	◎	×	○	×
再生範囲拡大(GOP)*4	◎	◎	◎	×	○	×
プレイリスト編集	◎	◎	◎	×	○	×

*1 DVD-R/RW(Video モード) は、録画中にだけチャプター分割ができます (➪ 77 ページ)。

*2 DVD-R(VR モード) は、編集回数に限りがあります (➪ガイドブック 70 ページ)。
また、ファイナライズしていなければ、タイトル／チャプターを削除することも可能です。

*3 ファイナライズをしていない DVD-R/RW が対象です。(ファイナライズ済の DVD-R/RW は編集ができません。)

*4 再生範囲拡大（GOP）機能については➪ガイドブック 74 ページをご覧ください。

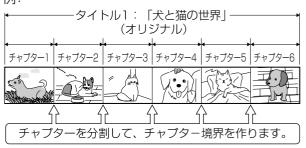
ハードディスク（内蔵 HDD）の使いかたについて

HDD に録画したタイトルから不要な部分を抜くためには、必要な部分のプレイリストを作成し、DVD ディスクに保存するやりかたをお勧めします。
プレイリストにせずに、不要なチャプターを削除するやりかたの場合、内蔵 HDD 内の不連続領域をふやすことになり、空いた隙間に次の録画が不連続に記録されていくため、内蔵 HDD 内の記録場所が細かく複雑になり (このような状態をフラグメンテーションと呼びます)、通常の動作が遅くなったり、場合によっては削除をしても空き領域が確保できない状態になったり、ディスクに保護がかかって録画や再生ができなくなることも考えられるためです。
ただし、「1 回だけ録画可能な番組」に限っては、プレイリストのダビングが不可のため、必要な部分と不要な部分をチャプター分割し、必要な部分だけ DVD ディスクに「移動」をしてください。
(詳しくは➪ガイドブック 84 ページをご覧ください。)
内蔵 HDD は、定期的に「HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持）」や「HDD 初期化（全削除）」を実行することで、フラグメンテーションがおきにくくなりますが、すべてのデータが消去されますので、たいせつな録画番組は DVD-RAM にダビングして残すなどしてから行なってください。

基本的な編集の手順

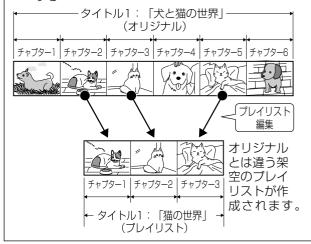
番組を録画する
（オリジナルのタイトルが自動的に作成されます。）

チャプター編集をする

録画してできたオリジナルのタイトルをチャプター分割します。
例：

プレイリスト編集をする

分割したチャプターから必要なチャプターだけ集める

プレイリストは架空のタイトルですので、ダビング前にオリジナルのタイトルを消去すると作成したプレイリストも消去されてしまいます。

例：猫のシーンだけを集めて一つのプレイリストを作成する

ダビングをする
作成したプレイリストをダビングする

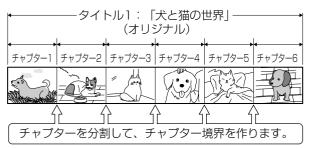
プレイリストをダビングすると、ダビング先でオリジナルのタイトルになります。

チャプター編集

HDD / DVD-RAM / DVD-RW (VRモード) / DVD-RW (Videoモード) / DVD-R (VRモード) / DVD-R (Videoモード)

●チャプター編集をする

録画してできたオリジナルのタイトルをチャプター分割します。

チャプターを分割して、チャプター境界を作ります。

・チャプター分割しておくと、見たいシーンの頭出しができます。
・プレイリスト編集するには、チャプター分割しておきます。

録画中や再生中にチャプター分割をする

録画中や再生中にチャプター分割ができます。

●再生中にチャプター分割する

再生中や一時停止中にチャプター分割したい場面で「**チャプター分割**」を押す

●録画中にチャプター分割する

録画中に、チャプター分割したい場面で「**チャプター分割**」を押す

録画中に「**一時停止**」を押しても、録画を一時停止した時点で自動的にチャプター分割されます。ただし、予約録画中はリモコンの「**一時停止**」を押しても分割されません。「**チャプター分割**」を押してチャプター分割します。

●追っかけ再生中にチャプター分割する

追っかけ再生中にチャプター分割したい場面で「**チャプター分割**」を押す

録画中の内容を録画を止めることなくシーンを戻してチャプターが作れます。

お知らせ

- ダビング中、早送り／早戻し中、スロー再生中などはチャプター分割できません。

DVD-R/RW（Video モード）のチャプター分割について

DVD-R/RW（Video モード）では、DVD-Video 規格による制限があるため、録画済みタイトルのチャプター分割ができません。
チャプター分割を行なうには、以下の三とおりの方法があります。

●録画中に、チャプター分割したい場面で「チャプター分割」を押す

●クイックメニューの「DVD-Video時チャプター分割」をあらかじめ設定しておいて録画する（設定の方法は 25 ページ、ガイドブック 10 ページをご覧ください）

●まずは内蔵 HDD に録画し、チャプター分割をしてから DVD-R/RW（Video モード）にダビングする

チャプターをつなげる

1) 「見るナビ」画面で「モード」を押して、チャプターを表示する

2) つなげたいチャプターの前または後ろのチャプターを選択する

3) 「クイックメニュー」を押す

4) 方向ボタン（▲/▼）で「編集機能」を選び、「決定」を押す

5) 方向ボタン（▲/▼）で「前と結合」または「後ろと結合」を選び、「決定」を押す

・「全チャプター結合」を選ぶと、タイトル内のチャプターをつないで一つのチャプターにします。

お知らせ

- チャプターをつなぐと、以降のチャプターはチャプター番号がくり上がります。
- タイトル（オリジナル）の中でチャプター結合をしても、関連するタイトル（プレイリスト）には影響しません。また、タイトル（プレイリスト）の中でもチャプター結合はできます。このとき、元となったタイトル（オリジナル）には影響しません。

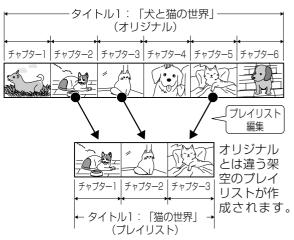
プレイリスト編集（必要な場面を集める）

HDD / DVD-RAM / DVD-RW (VRモード) / DVD-RW (Videoモード) / DVD-R (VRモード) / DVD-R (Videoモード)

●プレイリスト編集をする

自分の好きなチャプターだけを集めて一つのタイトルにできます（プレイリスト）。プレイリストは架空のタイトルですので、オリジナルのタイトルを消去したりすると作成したプレイリストも消去されてしまいます。

例:タイトル1の「犬と猫の世界」で猫のシーンだけを集めて一つのプレイリストを作成する

オリジナルとは違う架空のプレイリストが作成されます。

プレイリストを作成したら、以下のことに注意してください。

- 作成したプレイリストは見るナビの最後（オリジナルの後）に表示されます。
- 1回だけ録画可能な番組（コピーワンス）では、プレイリストを作成することはできますが、ダビングは1回だけの「移動」しかできません。
- オリジナルのタイトルやチャプターを削除すると、関連するプレイリストのタイトルやチャプターも同時に削除されます。（反対にプレイリストのタイトルやチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは削除されません。）

1 停止中または再生中に、「編集ナビ」を押す

編集ナビ

「編集ナビ」画面が表示されます。

- 「編集ナビ」をもう一度押すと、画面が消えます。

この画面で…

HDD を押す：内蔵HDDの録画内容を編集。

DVD を押す：DVDディスクの録画内容を編集。

2 「プレイリスト編集」を選び、「決定」を押す

3 方向ボタンで、パーツにするタイトルまたはチャプターを選ぶ

フォルダ内のタイトル（またはチャプター）もパーツに選ぶことができます。
タイトルとチャプターの表示は「モード」で切り換えることができます。

フォルダ上で「決定」を押すとフォルダ内にはいれます。フォルダから出るときは上の「⇧」を選んで「決定」を押してください。

4 「決定」を押す

選んだパーツを挿入する場所を示すカーソルが表示されます。

5 パーツを入れる場所を選び、「決定」を押す

最初は左端に固定されます。そのままボタンを押してください。

選んだパーツがカーソルのあった場所にはいります。

- パーツを選択すると、元のパーツに下向きの矢印マークがつきます。タイトル全体が選択されている場合はオレンジ色の矢印、タイトルの中のいくつかのチャプター、またはフォルダ内のいくつかのパーツが選択されている場合は緑色の枠線の矢印、選択されているチャプターは緑色の矢印マークになります。

6 手順3 ～5 をくり返して、好きな順にパーツを追加する

●選択したパーツを取り消したいときは

1）取り消すパーツを選んだ状態で、「**クイックメニュー**」を押して、クイックメニューを表示させる
2）方向ボタン(▲/▼)で「選択キャンセル」を選ぶ
3）「**決定**」を押す

7 必要なパーツを並べ終わったら、「戻る」を押す

戻る

メッセージが出て、編集したプレイリストを保存しはじめます。

保存が終わると、「編集ナビ　メインメニュー」画面になります。

最初に選んだパーツがフォルダ内にある場合は、プレイリストはそのフォルダ内に保存されます。

お知らせ

- オリジナルのタイトルやチャプターを削除すると、関連するプレイリストのタイトルやチャプターも同時に削除されます。反対にプレイリストのタイトルやチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは削除されません。
- 結合したパーツが不連続の場合、再生中にパーツ境界で一時静止状態になる場合があります（たとえば奇数番号のチャプターを結合したプレイリストなど）。
- プレイリスト編集をして作成したタイトルを再生すると、パーツ境界で編集時の位置とずれることがあります。
- 編集しているタイトル（プレイリスト）自身、およびそれに含まれるチャプター（プレイリスト）は、パーツとして追加することはできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトル、またはチャプターをプレイリストに登録することはできません。
- DVD-R/RW（Video モード）に録画したものは、そのままではプレイリストのパーツには選ぶことができません。内蔵HDD にダビングすればパーツとして選ぶことができます。
- 録画中または予約録画開始前 15 秒以内のタイトルは黒い画面に「録画中…」の文字が表示され、編集対象として選ぶことはできません。

ダビング

●ダビングについて
●高速ライブラリダビング(パーツ単位でダビングする)
●レート変換ダビング(画質・音質レートを変えてダビングする)
●ラインUダビング(再生中の映像を録画する)
●一括削除(パーツをまとめて削除する)
●DVD-Videoファイナライズ処理をする
●DVD-R/RWに1回でまとめて書き込む(DVD-Video作成)

ダビングについて

録画した内容は、内蔵HDDとDVDドライブの間、または同一ドライブ内にダビングできます。
用途に合わせてダビングを使いこなしましょう。

ダビングの目的		おすすめするダビング
●タイトルやチャプターをダビングしたい！ プレイリストをオリジナルタイトルにしたい！	➡	①高速ライブラリダビング（☞84ページ） 一括・高速ライブラリダビング （☞ガイドブック85ページ）
●レートを変換してダビングしたい！	➡	②レート変換ダビング（☞86ページ） 一括・レート変換ダビング （☞ガイドブック88ページ）
●今再生しているタイトルをすぐダビングしたい！	➡	③ワンタッチダビング（☞85ページ）
●DVD-R/RWでファイナライズされてしまった タイトルなどをHDDにダビングしたい！	➡	④ラインUダビング（☞88ページ）
●HDDに録画してある、個人の映像集などを DVD-R/RWにダビングして作品として配布したい！	➡	⑤DVD-R/RWに1回でまとめて書き込む （DVD-Video作成）（☞92ページ）

①高速ライブラリダビング：

・録画した一つのタイトルやチャプターをそのままダビングします。
・プレイリストをオリジナルタイトル化するときにも便利です。
・高速とは、実際の録画時間よりも短い時間でダビングするということです。

一括・高速ライブラリダビング：

・複数のタイトルやチャプターを選択し、まとめてダビングします。

②レート変換ダビング：

・録画時とは異なるレート（画質・音質）に変えてダビングします。
・例えば、高いレートに設定した「MN」モードでHDD に録画をして、そのままでは容量が多く（高レートのタイトルは容量が大きくなります）、DVD ディスクにダビングしてもはいりきらないときに、レートを低く設定してダビングする場合に使います。
・また、本機で DVD 互換モードを「切」で二カ国語放送を HDD に録画し、あとで DVD-R/RW（Video モード）にダビングする場合にも使えます。
（その際は、DVD 互換モードを「入」にしてダビングします。）

一括・レート変換ダビング：

・複数のタイトルやチャプターをまとめてレート変換ダビングします。
・主な用途は上記のレート変換ダビングと同じです。

③ワンタッチダビング：

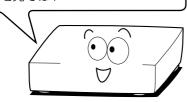
・リモコンの「ワンタッチダビング」ボタンを押すだけで、①の高速ライブラリダビングができます。
・再生中のタイトルをダビングしたいときに使います。

④ライン U ダビング：

・本機で再生している映像を、そのまま本機で録画するダビング方法です。
（コピーを禁止されていない映像に限ります。）
・一時停止や早送り、スロー再生を行なうと、その状態がそのまま録画されます。
・例えば、ファイナライズ済や本機以外で作成され、「見るナビ」で表示できない DVD-R/RW の内容を内蔵 HDD にダビングしたい場合に使います。

⑤DVD-R/RW に 1 回でまとめて書き込む（DVD-Video 作成）

・この方法で作成した DVD-R/RW は、本機以外の互換性のある DVD プレーヤーで DVD ビデオとして再生することができます。
・例えば、結婚式や旅先の映像集など、個人で撮影した映像を内蔵 HDD に録画し（「外部機器から録画する」☞42 ページ参照）、DVD-R に書き込んで配付する場合に使います。

他にもLAN端子で接続した機器へのネットdeダビングなどの機能があります。
詳しくはガイドブックを見てね！

1 回だけ録画が可能な番組 (コピーワンス) のダビングについて

デジタル放送の番組など「1 回だけ録画が可能な番組」(コピーワンス)は、「見るナビ」の「高速ダビング」「レート変換ダビング」での「移動」を一度だけ行なうことが可能です。(いずれも内蔵 HDD から DVD ディスクへの一方向だけの移動が可能です。逆方向の移動はできません。)詳しくは23 ページの「1 回だけ録画が可能な番組(コピーワンス)の録画について」をご覧ください。

高速ライブラリダビング（パーツ単位でダビングする）

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

パーツ（タイトルまたはチャプター）をひとつ選んでダビングします。
1 回だけ録画可能な番組の移動は、本機能を使って内蔵 HDD からディスクに移動します。

1

見るナビ

停止中または再生中に､｢見るナビ｣を押す

「見るナビ」画面が表示されます。

- 「見るナビ」をもう一度押すと、画面が消えます。

この画面で…

HDD を押す：内蔵HDDの録画内容を表示。

DVD を押す：DVDディスクの録画内容を表示。

(DVD-R/RW（Videoモード)は、本機で録画したディスクのときだけ表示ができます。)

2

ダビングするタイトル(またはチャプター)を選ぶ

- 「**左右頁(I◀◀/▶▶I)**」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。もう一度押すと、タイトルに戻ります。

3

クイックメニュー

｢クイックメニュー｣を押す

「クイックメニュー」が表示されます。

4 「高速ダビング」を選び、「決定」を押す

5 ダビングの種類を選ぶ

コピー：ダビングする内容は、ダビング後も元のディスクに残ります。

移動：ダビングする内容は、ダビング後は元のディスクから消去されます。（プレイリストを移動すると、オリジナルも削除されます。）

ディスク内コピー：同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。プレイリストをオリジナル化するのに活用できます。

ネットワーク：本機とネットワーク接続されている機器をコピー先に指定できます。⇨ガイドブック 86 ページをご覧ください。

以下の場合は、設定が自動的に決まります。

コピー：選んだタイトル（またはチャプター）が、「保護設定」（⇨ガイドブック 55、125 ページ）にしてあるとき

移動：選んだタイトル（またはチャプター）がコピー禁止のとき

6 「決定」を押す

コピー／移動がはじまります。
進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。
コピーが終わると表示が消え、ブザーが鳴ります。

●ダビングが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
(1) ダビング中に「**クイックメニュー**」を押す
(2)「終了後電源切る」を選び、「**決定**」を押す（「ネットワーク」をダビング先に選んだときは、「終了後電源を切る（両方）」となり、ダビング先の機器も電源が切れる設定になります。）

お知らせ

- DVD-R DL（2 層）へのダビングはできません。
- 1 回だけ録画が可能な映像は、内蔵 HDD から DVD-RAM や DVD-R/RW（いずれも CPRM 対応）に移動だけが可能です。移動すると内蔵 HDD の元の映像は削除され、DVD-RAM や DVD-R/RW の映像はコピーも移動もできなくなります。
- パーツはダビングをするとそれぞれタイトルになります。
- DVD-RAM の「ディスク内コピー」は処理に時間が長くかかります。
- DVD-R/RW（Video モード）では「ディスク内コピー」と「ネットワーク」は選べません。
- 内蔵 HDD から DVD-R/RW（Video モード）への移動と DVD-R/RW から内蔵 HDD への移動はできません。
- DVD-R/RW（Video モード）にダビングするとき、選択したパーツによってはタイトルが分割される場合があります。
- 本機以外で録画した DVD-R/RW（Video モード）から内蔵 HDD、またはその逆方向の高速ダビングはできません。
- **DVD-R/RW に Video モードで直接録画したタイトルを HDD に高速ダビングすると HDD の状態が複雑になり、初期化を要求される場合があります。この場合、そのタイトルを削除するか、「管理設定」の「HDD ／ディスク管理」－「HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持）」をしてください。**

コピー／移動を途中で中止したいときは

1) コピー／移動中に、「クイックメニュー」を押す
「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン（▲ / ▼）で「ダビング中止」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- コピー／移動を途中で中止した場合、ダビング中のパーツはダビング先で削除されます。
- DVD-R の場合、途中で中止しても書き込んだ分の容量は減ります。

ワンタッチダビングについて

現在再生している番組をすぐダビングしたいときに便利です。

1) ダビングしたい番組を再生中にリモコンのふたの中の「ワンタッチダビング」を押す

ダビング画面が表示されます。

2) ⇨本ページの操作手順 5、6 を行なう

レート変換ダビング（画質・音質レートを変えてダビングする）

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

レート変換ダビングは、こんなときにもお使いください。

●本機でDVD互換モード（➪25ページ）を「入」にしないで録画したためDVD-Video作成ができないタイトルや、DVD互換モードに対応していない機器で録画したDVD-RAMのタイトルを、DVD-R/RWに書き込みたいとき（DVD互換モードを「入」にしてHDDにダビングする。）

レート変換ダビングは、**パーツ単位**で行なう方法と、**複数のパーツを一括して**行なう方法（➪ガイドブック88ページ）の、二とおりがあります。（複数のパーツを一括して行なう方法では、それぞれのパーツに同じレートが適用されます。個別の設定はできません。）

パーツ単位でレート変換ダビングする

1 「高速ライブラリダビング」（➪84ページ）の操作手順1〜3を行なう

「クイックメニュー」が表示された状態になります。

2 「W録」を押し、「R1」を選ぶ

「R2」では、レート変換ダビングはできません。

3

「レート変換ダビング」を選び、「決定」を押す

4 「移動」または「ディスク内移動」をしたい場合：

「クイックメニュー」を押して、方向ボタン（▲/▼）で「移動に切換」を選び、「決定」を押す

・「コピー」または「ディスク内コピー」の画面に戻る場合は、同じ手順で「コピーに切換」を選んでください。

5 ダビングを選択する

「コピー」／「ディスク内コピー」の場合：

コピー：
ダビングする内容は、ダビング後もダビング元のディスクに残ります。

ディスク内コピー：
同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。

「移動」／「ディスク内移動」の場合：

移動：
ダビングする内容は、ダビング後は元のディスクから削除されます。
（プレイリストを移動すると、そのプレイリストが参照していたダビング元のオリジナルタイトルも削除されます。）

ディスク内移動：
同じディスクに、レート変換後のタイトルだけが残ります。

6 画質と音質のレートを確認する

変えたいときは、以下の手順を行ないます。

1）「**クイックメニュー**」を押してクイックメニューを表示させる

2）方向ボタン（▲/▼）で項目を選び、「**決定**」を押す

●録画・画質 / 音質設定：
あらかじめ設定してあるレート（➡24 ページ）の一覧が出ます。「値変更（I◀/▶I）」で設定 No. を選べます。

●容量優先画質設定：
ディスクの残量から計算して最も高画質になるようなレートが設定されます。この機能を使っても、録画する内容によってはディスクに収まらない場合もあります。また、ディスクの空き容量をすべて使い切る機能ではありません。

7 「決定」を押す

ダビングが始まります。

進行状況を見るには、「タイムバー」ボタンを押してタイムバーを表示させます。（タイムバーはダビングされません。）
コピーが終わると、放送中の映像に戻ります。
レート変換ダビング中の映像・音声はモニター用です。テレビ画面形状に対して正しく表示されないことがあります。

レート変換ダビングを途中で中止したいときは

1) 「クイックメニュー」を押す

2) 方向ボタン（▲/▼）で「レート変換ダビング中止」を選ぶ

3) 「決定」を押す

お知らせ
- 「1 回だけ録画が可能」な番組を録画したタイトルの移動を中止した場合、中止した時点までの内容が削除されます。
  それ以外のタイトルのダビングを中止した場合、ダビング中のパーツはダビング先で削除されます。

レート変換ダビング終了後に自動的に電源が切れるようにする

1) 設定中またはコピー中に、「クイックメニュー」を押す

2) 方向ボタン（▲/▼）で「終了後電源切る」を選ぶ

3) 「決定」を押す

お知らせ
- 「1 回だけ録画が可能」な番組を録画したタイトルは「移動」だけが可能です。
- DVD-RAM/R/RW から同じディスクへのレート変換ダビングはできません。
- 高速ライブラリダビングと異なり、デジタル変換の際に若干画質・音質が低下します。またダビングには再生時間分かかります。
- コピー元より高い画質・音質に設定しても品質は向上しません。
- VR モード間のレート変換ダビングでは、チャプター位置がフレーム単位でコピーされますが、ずれる場合もあります。
  VR モードから Video モードのレート変換ダビングではチャプター位置が GOP 単位でずれます。
  Video モードから VR モードへのレート変換ダビングでは、チャプターの分割位置はコピーされません。
- レート変換ダビングでできたタイトルの前後には、自動的に黒画面が録画されます。前にはいる黒画面は自動的にチャプター分割されます。
- レート変換ダビング中は、バーチャルサラウンド効果は機能しますが、記録はされません。
- レート変換ダビング中は、音声出力の切換えはできません。
- 「DVD 互換モード」（➡25 ページ）を「切」に設定していると、音声多重放送を録画したときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力されます。再生をするときには「音声」または「音多」を押して出力する音声を選んでください。
- 「DVD 互換モード」（➡25 ページ）を「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定していると、音声多重放送では選んだ音声（主または副）だけが記録されます。（ステレオ放送は通常どおりステレオ音声として記録されます。）
- プレイリストをレート変換ダビングする場合、そこに含まれるチャプターが録画時のオリジナルタイトルの先頭部分である場合は先頭が 1 フレーム欠けます。
- DVD-R/RW（Video モード）にレート変換ダビングするとき、ダビング先のアスペクト比（画面比）は元タイトル先頭のアスペクト比になります。
- レート変換ダビング中は、P in P 機能は使えません。
- レート変換ダビングで「容量優先画質設定」を選択したとき、選択したパーツの音質によって、コピーの録画画質／音質は基本的に 9.2Mbps または 8.0Mbps に変更されます。

ラインUダビング（再生中の映像を録画する）

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

コピーの禁止されていないディスクの映像を、再生しながら録画することができます。静止や早送り、スローなどもそのまま録画されます。
以下のようなときにご利用ください。
・ファイナライズ済の DVD-R/RW の内容を内蔵 HDD にダビングしたいとき。
・本機以外の機器で作成した「見るナビ」に未対応の DVD-R/RW の内容を内蔵 HDD にダビングしたいとき。

例：DVD-R/RW から内蔵 HDD にダビングする
（ダビングしたい番組がはいったディスクを、本機に入れておきます。）

1 「W録」を押して、「R1」を選ぶ

W録

「R2」では、ラインUダビングできません。

2 「入力切換」または「チャンネル」をくり返し押して、入力に「ラインU」を選ぶ

入力切換 / チャンネル

黒画面になります。

3 「HDD」を押したあと、「録画」を押す

HDD / 録画

録画が始まります。

4 「DVD」を押したあと、DVD ドライブ側のダビングしたい番組を再生する

DVD / 再生

5 ダビングしたい内容の再生が終わったら、「停止」を押す

停止

再生が停止し、黒画面に戻ります。

6 「HDD」ボタンを押したあと、「停止」を押す

HDD / 停止

録画が停止します。

お知らせ

- 次の組み合わせでダビングができます。
  内蔵 HDD →内蔵 HDD、内蔵 HDD → DVD ディスク、DVD ディスク→内蔵 HDD
- ライン U で録画したタイトルは、先頭と最後の部分が黒画面になる仕様になっています。したがって、「見るナビ」画面ではサムネイルも黒画面になる場合があります。サムネイルを変更するにはガイドブック 54 ページをご覧ください。
- 複製が禁止された DVD ビデオディスク、音楽用 CD の内容は、ライン U ダビングできません。
- 画質・音質設定によっては、ライン U ダビングすると画質や音質が変わる場合があります。
- 「見るナビ」「録るナビ」などの画面表示をライン U ダビングすることはできません。
- ライン U ダビングの録画予約はできません。
- ライン U ダビング中は、以下の機能は使えません。
  ー P in P
  ー 録るナビ（表示させると再生が停止します。）
- ライン U の入力を選んでいる間は、強制的にステレオ出力となり、音声出力の変更はできません。録画実行中は音声出力が切り換えられます。
- ライン U ダビング先の音声は、すべてステレオ方式で記録されます。
- ライン U ダビング中は、バーチャルサラウンド効果（103 ページ）は機能しますが、記録はされません。
- 1 回だけ録画が可能な映像（コピーワンス）は、ライン U ダビングはできません。

一括削除（パーツをまとめて削除する）

HDD	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)
DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)		

複数のタイトルとチャプターを、まとめて削除できます。
ファイナライズ処理をしたDVD-R/RWディスクでは、一括削除はできません。

▍準備

①削除したい番組が録画されているディスクを選ぶ
HDD: 内蔵HDD
DVD:DVDディスク
②再生中または停止中に、「編集ナビ」を押す
「編集ナビ　メインメニュー」が表示されます。

1

「一括削除」を選び、「決定」を押す

2

削除したいパーツ（タイトルまたはチャプター）を選び、「決定」を押す

- 「**左右頁(I◀◀/▶▶I)**」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。
もう一度押すと、タイトルに戻ります。
- すべてのオリジナルパーツを選ぶこともできます。
「クイックメニュー」を押して、クイックメニューから「ディスク内全タイトル選択」を選び、「決定」を押します。

3

もう一度「決定」を押す

画面下側（削除対象側）に、カーソルが表示されます。
最初は左端に固定されます。そのまま「決定」を押してください。
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。

4

操作手順2～3をくり返す

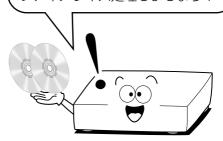
削除したいパーツをすべて指定してください。

5

「削除開始」を選び、「決定」を押す

確認メッセージで「はい」を選び、「決定」を押すと削除が始まります。
「いいえ」を選ぶと削除を中止します。

DVD-Video ファイナライズ処理をする

HDD | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

- DVD-Videoファイナライズ処理をすると、そのディスクに追記はできなくなります。DVD-RWの場合、追記したいときは、ファイナライズを解除してください。DVD-Rの場合は、ファイナライズを解除できません。
- 本機で録画、ダビングした DVD-RW 以外はファイナライズ解除はできません。

1 ファイナライズ処理をするディスクを入れ、「DVD」を押す

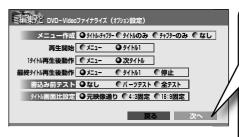
本体の DVD インジケーターが点灯します。

2 再生中または停止中に、「編集ナビ」を押す

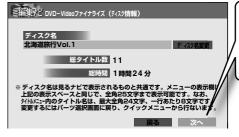
「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

3

「DVD-Video ファイナライズ」を選び、「決定」を押す

4

方向ボタンで各項目を設定し、設定が終わったら「次へ」を選び、「決定」を押す

設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

- 「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

5

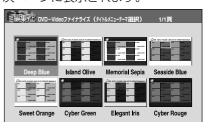
方向ボタンで「次へ」を選び、「決定」を押す

書き込む情報を確認する画面が表示されます。

方向ボタン（▲）で「ディスク名変更」を選び「決定」を押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。

- 「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、画面右下の「次へ」が「書込み開始」になります。これを方向ボタンで選び 「決定」を押します。手順８へ。

6 タイトルメニューテーマを選び、「決定」を押す

手順４で「メニュー作成」に「タイトル＋チャプター」または「タイトルのみ」を選んだとき、タイトルメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。「メニュー背景登録」で取り込んだメニューテーマ（ガイドブック 90 ページ）は、次ページに表示されます。

「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」を押すと選択画面に戻ります。
取り込んだメニュー背景は、文字色の変更ができます。（ガイドブック 90 ページ）。

7 チャプターメニューテーマを選び、「決定」を押す

テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。
「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」で選択画面に戻ります。
プレビュー中に、方向ボタン（▼）で「戻る」を選び、「決定」を押すと、タイトルメニューのプレビューを表示することができます。また、タイトルメニューのプレビューからは、方向ボタンで「チャプターメニュー」表示の横の番号を選んで「決定」を押すことで、チャプターメニューのプレビューを表示できます。

8 確認メッセージで「はい」を選び、「決定」を押す

終了後の電源についてのメッセージが表示されます。
「はい」または「いいえ」を選び、「決定」を押してください。

ファイナライズ処理が始まります。

お知らせ
- DVD-R/RW（Video モード）は、録画をした本機自身でだけ、ファイナライズ処理前でも再生できますが、他の機器ではディスクが認識されず、使用できません。
- DVD-R は、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、一度録画に使用されたディスクの領域は再使用できません。
- DVD-RW は、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、最後に記録したタイトルを削除した場合だけ空き容量が増えます。
- DVD-RW は、ファイナライズを解除したり、ディスクを初期化して録画・ダビングをやり直すことができます。

- ファイナライズ処理中に DVD 側の予約録画の開始時刻になった場合、内蔵 HDD に予約録画されます。ただし、メニューテーマ作成中のときは、実行されません。また「リリーフ録画（ガイドブック 16 ページ）」が「切」のときは、DVD への予約録画は実行されません。

ファイナライズを解除する

ファイナライズ処理をした DVD-RW（Video モード）のファイナライズを解除し、追記できるようにします。

1) **停止中に「クイックメニュー」を押す**

「クイックメニュー」が表示されます。

2) **方向ボタン（▲/▼）で「ディスク管理」を選び、「決定」を押す**

3) **方向ボタン（▲/▼）で「ファイナライズ解除」を選び、「決定」を押す**

4) **メッセージの内容を確認し、方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」を押す**

ファイナライズ解除の処理が始まります。

お知らせ
- 予約録画の準備中では、ファイナライズ解除を実行できません。
- 本機以外で録画した DVD-RW（Video モード）ディスクのファイナライズは解除できません。
- ファイナライズ解除を実行すると、タイトル・チャプターサムネイルの位置が変わることがあります。

DVD-R/RW（VR モード）ファイナライズ

DVD-R/RW（VR モード）ディスクもファイナライズすることができます。DVD-R/RW（VR モード）ディスクをファイナライズすることで、VR モード対応のより多くの DVD プレーヤーやレコーダー（他社機、パソコン含む）で再生できる場合があります。

1) **はじめにファイナライズをするディスクを入れておきます**

2) **停止中に「クイックメニュー」を押す**

3) **方向ボタン（▲/▼）で「ディスク管理」を選び、「決定」を押す**

4) **方向ボタン（▲/▼）で「DVD ファイナライズ」を選び、「決定」を押す**

5) **メッセージの内容を確認し、方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」を押す**

ファイナライズ処理が始まります。

解除するには…

DVD-RW ディスク（Video モード）のファイナライズ解除方法と同様です。（同ページ）
DVD-R（VR モード／ Video モード）はファイナライズを行なうと、解除することはできません。

DVD-R/RWに1回でまとめて書き込む（DVD-Video作成）

HDD	DVD-RAM	DVD-RW（VRモード）	DVD-RW（Videoモード）
DVD-R（VRモード）	DVD-R（Videoモード）		

内蔵HDDに録画した内容を編集して、結婚式や旅先の映像集など、作品として配付するのに便利なDVD-Rに書き込むことができます。書き込んだDVD-Rは、互換性のあるDVDプレーヤーで、DVDビデオとして再生できます。また、書換え可能なDVD-RWにも内蔵HDDから書き込むことができます。

DVDディスク（Videoモード）へのダビングとファイナライズをまとめて行なうことができます。

準備

① DVD-R/RWに保存したい内容を、以下の条件で内蔵HDDに録画しておきます。

- 「DVD互換モード」（25ページ）を必ず「入（主音声）」「入（副音声）」のどちらかに設定する。
- 本機に未使用のDVD-RまたはDVD-RWを入れます。（DVD-R/RWの取扱い方法は、DVD-R/RWの説明書にしたがってください。）
- 「HDD」を押して、HDDモードを選んでおきます。

②「編集ナビ」を押して、「編集ナビメインメニュー」を表示します。

お知らせ

- DVD互換モード（25ページ）を「入」にしないで録画したためDVD-Video作成ができないタイトルや、DVD互換モードに対応していない機器で録画したDVD-RAM内タイトルをDVD-R/RWに書き込みたいときは、DVD互換モードを「入」にして「一括・レート変換ダビング」（ガイドブック88ページ）をしてください。
- DVD-Rが16倍、8倍、4倍速記録対応であっても、ディスクの状態によっては高速記録できない場合があります。

ご注意

- **著作権法上、放送番組などを録画して配付することはできません。**
- **書込みの前に、内容を十分確認してください。**＊1
- **直後に録画予約がないことを書込みの前に確認してください。**＊2
- **お使いになるDVD-R/RWを確かめてください。**＊3
- **ディスクの取扱いに注意してください。**

＊1 DVD-RでDVD-Video作成機能を利用するときは、新規のディスクでしか書込みができません。書き込んだ後はファイナライズ済みとなるので、内容の追加、削除、修正は一切できません。また、書込みを途中で中止すると、そのDVD-Rは使用できなくなります。
DVD-RWでは、録画された内容があっても上書きしてしまいますのでご注意ください。本機能で書き込んだ内容に追加、削除、修正はできません。空き容量がある場合は、ファイナライズを解除すれば新たに追加することもできます。

＊2 書込みでかかる所要時間はディスクの種類、内容によって異なりますが、最大約1時間半かかる場合があります。（「書込み前テスト」の時間は含んでいません。「書込み前テスト」を実施するとさらに多く時間がかかります。「書込み前テスト」にかかる時間は、書き込む内容によっても変わります。）
DVD-Video作成中に予約録画の開始時刻になると、内蔵HDDに録画されます。ただし、メニューテーマ作成中は実行されません。また、「リリーフ録画」が「切」の設定で、内蔵HDDへの予約でない場合は、予約録画は実行されません。DVD-Video作成中に予約録画が開始された場合は、続けて2枚目以降を作成することはできません。

＊3 お使いになるディスクについては、18ページをご覧ください。
「ファイナライズ済み」のDVD-RW（Videoモード）のディスクも使えますが、初期化されます。

＊ 本機で作成したDVD-R/RW（Videoモード）はDVD-Video規格に準拠しておりますが、すべてのプレーヤーなど（当社、他社含む）での正常な再生を保証するものではありません。
DVD-Rに記録できる容量とDVD-RWに記録できる容量では若干の差があります。DVD-RWに記録できる容量の方が少なくなるため、1枚目をDVD-RでDVD-Video作成したあと、2枚目にDVD-RWで実施すると記録容量によってはDVD-RWには記録できない場合があります。

1

「DVD-Video作成」を選び、「決定」を押す

2

書き込むディスクがDVD-R DL（2層）の場合は、以下の①～②を行なう

DVD-R DL（2層）でない場合は、手順3へ

①「クイックメニュー」を押す。
②方向ボタン（▲/▼）で「2層（DL）ディスクを使用」を選び、「決定」を押す

・DVD-R1層ディスクに戻すときは、同じ手順で「1層ディスクを使用」を選びます。

3

方向ボタンで、DVD-R/RWに書き込みたいパーツ(タイトルまたはチャプター)を選び、「決定」を押す

- 「**左右頁(I◀◀/▶▶I)**」：前後のページに移動します。
- 「**モード**」：選んでいるタイトルのチャプターを表示します。
  もう一度押すと、タイトルに戻ります。

4

方向ボタン（◀/▶)で、パーツを入れる場所を選び、「決定」を押す

画面下側に、カーソルが表示されます。
最初は左端に固定されます。そのまま「決定」を押してください。
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。

カーソル

5

手順3 ～4 をくり返す

DVD-R/RW の空き容量は、画面下部のバーで確認できます。

選んだパーツはそれぞれ一つのタイトルとしてDVD-R/RW に書き込まれます。

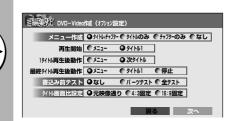
●登録したパーツを取り消したいときは
1）取り消すパーツを選んだ状態で、「クイックメニュー」を表示させる
2）方向ボタン（▲/▼）で「選択キャンセル」（すべて取り消したいときは「選択パーツの全クリア」）を選ぶ
3）「決定」を押す
●タイトルやチャプターの名前を変更するには（94 ページ）
●パーツの内容を確認するには（94 ページ）

6

方向ボタン（▼)で「次へ」を選び、「決定」を押す

オプション項目を設定する画面が表示されます。

7

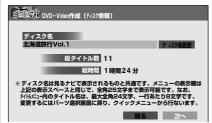
方向ボタンで、各項目を設定する

設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

●「書込み前テスト」に「パーツテスト」「全テスト」を選んだときは、事前にテストする分だけ多くの時間がかかります。なお「全テスト」は「パーツテスト」よりも時間がかかります。DVD-RWの場合は、「全テスト」を選択していても、「パーツテスト」として実行されます。

●「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

8

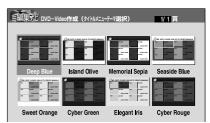
方向ボタン(▲/ ▼)で「次へ」を選び、「決定」を押す

書き込む情報を確認する画面が表示されます。

方向ボタン（▲）で「ディスク名変更」を選び「決定」を押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。

●「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、画面右下の「次へ」ボタンが「書込み開始」になります。これを方向ボタンで選び「決定」を押します。手順 13 へ。

（つづく）

9 方向ボタン（▼）で「次へ」を選び、「決定」を押す

手順７で「メニュー作成」に「タイトル+チャプター」または「タイトルのみ」を選んだとき、タイトルメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。
「メニュー背景登録」で取り込んだメニューテーマ（ガイドブック 90ページ）は、次ページに表示されます。

「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」で選択画面に戻ります。
取り込んだメニュー背景は文字色の変更ができます。（ガイドブック 90 ページ）

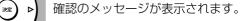
10 方向ボタンでタイトルメニューテーマを選び、「決定」を押す

手順７で「メニュー作成」に「タイトル+チャプター」または「チャプターのみ」を選んだとき、チャプターメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。

11 方向ボタンでチャプターメニューテーマを選ぶ

テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。
「モード」を押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「戻る」で選択画面に戻ります。プレビュー中に、方向ボタン（▼）で「戻る」を選び、「決定」を押すと、タイトルメニューのプレビューを表示することができます。また、タイトルメニューのプレビューからは、方向ボタンで「チャプターメニュー」表示の横の番号を選んで「決定」を押すことで、チャプターメニューのプレビューを表示できます。

12 「チャプターメニューテーマ選択」画面の表示中に、「決定」を押す

確認のメッセージが表示されます。

13 方向ボタンで「はい」を選び、「決定」を押す

書込みが始まります。進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。

選んだパーツの書込みの最後に、ファイナライズという処理が自動的に行なわれます。これは、DVD-R/RW を通常の DVD プレーヤーで再生できるようにするための処理です。

●書込みが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
（1）書込み中に「**クイックメニュー**」を押す
（2）方向ボタン（▲/▼）で「終了後電源切る」を選び、「**決定**」を押す

書込みが終了すると、「続けてもう 1 枚同じ DVD-Video を作成しますか。」というメッセージが表示され、ブザーが鳴ります。（「終了後電源切る」の設定時には表示されません。）「はい」を選ぶと、同じ内容の DVD-R/RW を作ることができます。

パーツの内容を確認する

1) **パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」を押す**

2) **方向ボタン（▲/▼）で「パーツのプレビュー」「パーツのフルプレビュー」を選び、「決定」を押す**
「選択パーツの全プレビュー」を選ぶと、選んだパーツそれぞれについて順にプレビュー再生します。

タイトルやチャプターの名前／サムネイルを変更する

1) **パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」を押す**

2) **方向ボタン（▲/▼）で「タイトル名変更」「タイトルサムネイル変更」または「チャプター名変更」「チャプターサムネイル変更」を選び、「決定」を押す**

3) **タイトル名・チャプター名を入力画面で変更する**
（文字入力の方法については ガイドブック 17 ページをご覧ください）

お知らせ

- DVD-R/RW（Video モード）に書き込めるタイトルは上限（99 個、それぞれチャプター数が 99 を超えないこと）があり、DVD-Video 規格の制限によって書込みができない場合があります。また、メニューの数が多すぎるために書込みができない場合もあります。
- DVD-R/RW（Video モード）に書き込むと、DVD-Video 規格と DVD-VR 規格の違いによって、チャプターの数や位置が若干変わることがあります (このとき生じたチャプターは、元のチャプターと同じサムネイルが表示されます)。
また、不要なシーンが含まれることがあります。
- 音声モード・音声多重、画面形状などの異なるパーツが混在している場合や、途中で設定や条件が変わる画像内容は、DVD-R/RW（Video モード）に書き込むと、いくつかのタイトルに分割されます。(このとき生じたタイトルのサムネイルは、元のタイトルと同じサムネイルが表示されます。ただし、「見るナビ」で表示されるタイトルサムネイルとは異なります。)
- プレイリストの構造が複雑な場合やパーツが多すぎる、あるいは極端に短いなど、状態によっては DVD-R/RW（Video モード）に正しく書き込めないことがあります。
- 1 回だけ録画が可能な番組は、DVD-Video 規格の制限によって、DVD-R/RW（Video モード）に書き込むことはできません。
- 当社製以外のレコーダーや当社製 HDD&DVD ビデオレコーダー RD-2000 ／ RD-X1 ／ RD-X2 で録画されたディスクは、そのまま本機の内蔵 HDD に高速ライブラリダビングしても、DVD-Video 作成はできません。「DVD 互換モード」を「入」にして「レート変換ダビング」（86 ページ）または「一括･レート変換ダビング」（ガイドブック 88 ページ）を行ない、内蔵 HDD にディスクの内容をコピーしてください。
- 「MN（マニュアル）」モード1.4Mbps以下で録画した場合、16：9のアスペクト比(画面比)の部分があると、DVD-Video作成でパーツとして登録できなかったり、DVD-Video作成の途中でエラーが起こることがあります。この場合「オプション設定」の「タイトル画面比設定」を「4:3固定」にしてください。
- 「DVD 互換モード」（25 ページ）を「入」にして録画したタイトルでも、本機以外では DVD-R/RW に記録できない場合があります。
- 作成途中で失敗した DVD-R は、ほとんどの場合、再使用はできません。
- DVD-Video 作成時にエラーなどが発生すると、本体表示窓に「ERR －＊＊」（＊＊はエラーコード）が表示されます。（117 ページ）この表示を消すには「表示」ボタンを押してください。
- 「書込み前テスト」でエラーにならなくても、ディスクの状態によっては書込みが正しくできない場合があります。
- DVD-R DL（2 層）に書き込む場合は、層の切り換わり目で自動的にチャプター分割されます。
層の境界は再生が不連続になります。
- DVD-R DL（2 層）で DVD-Video 作成を行なったあと、続けて同じ内容で DVD-Video 作成をする場合、1 層の DVD-R を使うことはできません。同じく、1 層ディスクで DVD-Video 作成を行なったあと、続けて作成するときに DVD-R DL（2 層）を使うことはできません。

機能設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

● 設定の変更と機能の設定

設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1

停止中に、リモコンのふたの中の「設定メニュー」を押す

設定画面が表示されます。

2

方向ボタン(◀/ ▶)で、設定したい項目のグループを選び、「決定」を押す

項目の内容は次のページ～をご覧ください。
初回設定については➩接続・設定編 25 ページ～をご覧ください。

例：「画面表示設定」を選んだとき

3

方向ボタン（▲/ ▼)で、設定したい項目を選び、「決定」を押す

4

➩次ページ以降の説明を参照して、方向ボタン(▲/ ▼)などで設定し、「決定」を押す

- 同じグループの他の項目を設定するときは、手順 3、4 をくり返します。
- 他のグループに移るには、「戻る」を押してから、手順 2 ～ 4 を行ないます。

5

設定メニュー

「設定メニュー」を押す

画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

- 「設定メニュー」は再生中にも押せますが、項目によっては表示が薄くなって選べない場合があります。これらの項目はいったん再生を止めてから設定してください。
- 「設定メニュー」は、録画中、別タイトル再生中、タイムスリップ再生中、ダビング中には使えません。

DVD プレイヤー設定

DVD ディスクメニュー言語

DVDビデオ

DVD ビデオディスクに記録してある各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

英語：
英語でディスクメニューを表示します。

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。

その他：
ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順 1) ～ 4) を行なってください。

1) 「言語コード表」（113 ページ）で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン (▲ / ▼) または､「値変更」を押して、コードの第 1 字を選ぶ

3) 方向ボタン（◄ / ►）でカーソルを移動させ、方向ボタン（▲ / ▼）または、「値変更」でコードの第 2 字を選ぶ

4) 「決定」を押す

お知らせ
- 該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。

DVD 音声言語

DVDビデオ

DVD ビデオディスクに記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。

英語：
英語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順 1) ～ 4) を行なってください。

1) 「言語コード表」（113 ページ）で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン（▲ / ▼）または、「値変更」でコードの第 1 字を選ぶ

3) 方向ボタン（◄ / ►）でカーソルを移動させ、方向ボタン（▲ / ▼）または、「値変更」でコードの第 2 字を選ぶ

4) 「決定」を押す

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVD 字幕言語

DVDビデオ

DVD ビデオディスクに記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

英語：
英語で字幕を表示します。

日本語：
日本語で字幕を表示します。

字幕なし：
字幕を表示しません。

その他：
字幕を表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順 1) ～ 4) を行なってください。

1) 「言語コード表」（113 ページ）で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン（▲ / ▼）でコードの第 1 字を選ぶ

3) 方向ボタン（◄ / ►）でカーソルを移動させ、方向ボタン（▲ / ▼）または、「値変更」でコードの第 2 字を選ぶ

4) 「決定」を押す

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」でディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DVD D レンジコントロール

HDD DVD-RAM DVD-RW DVD-R DVDビデオ

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

切：D レンジコントロール機能が働きません。

入：D レンジ機能が働きます。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって異なります。

ムービーボイス

DVDビデオ

DVD ビデオディスクを再生するときの音量を全体的に上げる機能です。

切：ムービーボイス機能が働きません。

入：ムービーボイス機能が働きます。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって異なります。

カラオケボーカル

DVDビデオ

DVD カラオケ対応ディスクで再生ボーカルを出力するかしないかを設定します。

切：ボーカル（歌声）を出力しません。

入：ボーカル（歌声）を出力します。

お知らせ
- ドルビーデジタルマルチチャンネルで記録された DVD カラオケディスクのときだけ、この機能が働きます。
- カラオケをお楽しみになるときは、本機にアンプ等を接続してください。

DVD パレンタルロック

DVDビデオ

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

お願い
- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。

必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

入：

パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。
「決定」を押したあとで、右記の手順 1) ～ 3) を行なってください。

切：

パレンタルロック機能は働きません。
「決定」を押したあとで、右記の手順 1) を行なってください。

1) 番号ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、「決定」を押す

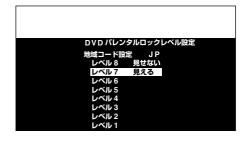
初めてお使いになる場合は、番号ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、設定します。番号を入れまちがえたときは、「決定」を押す前に「クリア」を押して、入力し直します。

2) 下の表を参照して、設定したい規制レベルの国／地域のコードを入力する

国／地域	コード
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
カナダ	CA
中国	CN
中国香港	HK
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

a) 方向ボタン(▲ / ▼)でカーソルを移動させ、「値変更」でコードの第 1 字を選ぶ

b) 方向ボタン(◀ / ▶)でカーソルを移動させ、「値変更」でコードの第 2 字を選ぶ

3) **方向ボタン(▲/▼)で設定したい規制レベルを選び、「決定」を押す**

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル 7 を設定すると、レベル 8 以上はロックされ再生できなくなります。

「US」以外を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応した DVD ビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「US」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル 7：NC-17　　レベル 3：PG
レベル 6：R　　レベル 1：G
レベル 4：PG13

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順 1）～ 3）を行なう

■暗証番号を変えるには

1) **「入」または「切」を選び「決定」を押し、暗証番号入力画面で「停止」を 4 回押し、さらに「決定」を押す**

暗証番号が解除されます。

2) **番号で新しい 4 桁の暗証番号を入力する**

3) **「決定」を押す**

DVD ビデオタイトル停止

DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (Videoモード)	DVDビデオ

DVD ビデオディスクの再生時、一つのタイトルが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。
VR フォーマットの DVD-R/RW では機能しません。

無：
一つのタイトルが終わってもそのまま次のタイトルが再生できます。

有：
一つのタイトルが終わったら、ディスクの作りに応じた動作をします。
本機で録画した未ファイナライズの DVD-R/RW の場合は、次のタイトルが再生されます。ただし次のタイトルがない場合、再生が停止します。

映像・音声設定

TV 画面形状

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

接続しているテレビの画面形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。
設定の詳細は、接続・設定編 ⇨ 38 ページ「テレビ画面形状を設定する」をご覧ください。

静止画

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

一時停止させたときの画像の解像度を設定します。

自動：
通常はこの設定にします。動きのある画像でもぶれずに一時停止します。

フレーム：
動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

映像調整選択

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

画質の設定を 4 種類（標準／設定 1 ／設定 2 ／設定 3）のうちから選びます。

お知らせ

- ライン U ダビング・レート変換ダビングのときは、標準設定の画質になります。

映像調整

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

調整した画質の設定を 3 種類まで記憶できます。

1) **方向ボタン（▲/▼）で、記憶する番号（1 ～ 3）を選び、「決定」を押す**

2) **方向ボタン（▲/▼）で調整項目を選び、方向ボタン（◀/▶）で値を調整する**

明るさ
(0) 暗くなる ⇔ 明るくなる (14)

コントラスト
(− 7) 淡くなる ⇔ 濃くなる (7)

色の濃さ
(− 7) 薄くなる ⇔ 濃くなる (7)

色調
(− 7) 赤色が強くなる ⇔ 緑色が強くなる (7)

エッジ強調
(SOFT) 輪郭をソフトに ⇔ 輪郭をシャープに (SHARP)

ガンマ
OFF/1/2
暗い画面で動作が見えないときに調整します。

3) **調整が終わったら、「決定」を押す**

お知らせ
- HDMI 出力時には映像調整は無効となります。

プログレッシブ変換

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

DVD ビデオディスクの記録内容には、一般的にフィルム素材（フィルム映像を 24 コマ / 秒で記録）とビデオ素材（映像情報を 30 コマ / 秒で記録）の 2 種類があります。映像の種類に合わせて設定します。

自動：
通常の設定です。映像の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれ適した方法でプログレッシブ出力に変換します。

ビデオ：
映像をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。一般放送やビデオカメラで撮影された映像を見るのに適しています。

フィルム：
フィルム素材の映像を最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。映画番組などを見るのに適しています。

お知らせ
- 映像によっては、輪郭がギザギザになったり、映像が二重にぶれて見えることがあります。
- HDMI 出力時には、所定のプログレッシブ変換を行なうため、この設定は無効となります。

再生 DNR

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

ノイズを低減して再生する設定を選びます。
方向ボタン（▲/▼）で、設定する項目を選び、
方向ボタン（◀/▶）で､「入」または「切」を設定します。

3D-DNR：

切：この機能は働きません。

入：映像信号に混入している全体的なノイズを低減します。

モスキート NR：

切：この機能は働きません。

入：MPEG 圧縮時に映像の輪郭部分に発生するモスキート（ちらつき）ノイズを低減します。

ブロック NR：

切：この機能は働きません。

入：MPEG 圧縮時に動きの激しい映像で画面の一部がブロック状にみえるノイズ（ブロックノイズ）を低減します。

DNR とは、Digital（デジタル） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション） の略です。

お知らせ
- ディスクや場面によって、DNR 効果がわかりにくいことがあります。
- 設定を「入」にしたときに、場面によっては、細かな画が見えにくくなることがあります。
- 設定を「入」にしたときに、ディスクや場面によっては残像が発生したり、輪郭部のノイズが増加することがあります。このときは設定を「切」にしてください。

音声出力設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。
出力される音声の種類については⇨ 116 ページをご覧ください。

ビットストリーム：
ドルビーデジタルや DTS のデコーダを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS で記録されたディスクを再生すると、それらのビットストリーム音声を出力します。

アナログ 2ch：
テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。

PCM：
2ch デジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタルで記録されたディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

HDMI-AUTO：
ドルビーデジタル、DTS、MPEG、リニア PCM のデコーダを内蔵した HDMI 対応機器を本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS で記録されたディスクを再生すると、それらのビットストリーム音声を出力します。
接続した HDMI 機器がドルビーデジタルまたは MPEG に対応していないときは、リニア PCM に音声を変換して出力します。DTS に対応していないときは、音声出力はしません。

バーチャルサラウンド設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ

二つのスピーカーだけでも奥行きや広がりのある音響効果で再生できます。

切：
バーチャルサラウンド効果は働きません。

入：
バーチャルサラウンド効果が働きます。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- ビットストリーム／ PCM 光端子でアンプなどに接続している場合は、音声出力設定が PCM のときだけこの機能が働きます。
- この機能が働くと音量が変わったように感じることがあります。
- この機能が働くと、ドルビープロロジックサラウンドが働かないかまたは通常と違って聞こえることがあります。
- 音声が歪む場合、バーチャルサラウンド設定を「切」にしてください。

画面表示設定

ライン入力名設定

本機に接続している外部機器に合わせて機器名の表示を設定します。設定した機器名は録るナビの予約 CH などに表示されます。

設定無し：DTV：CS：110CS：BS-A：BS-D：地上 D：CATV：VTR1：VTR2：VTR3：LD：CAM：ゲーム

画面表示

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

本機の動作状態 (「▶」など) を画面に表示するかどうかを設定します。

切：
「▶」などの動作状態を画面に表示しません。

入：
「▶」などの動作状態を画面に表示します。

透明度

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

メニューやアイコンなどの画面表示の濃さを変えて、下の画像が透けて見えない度合いを選びます。

0%：25%：50%

スタートアップ

電源を入れたときに自動的に表示する動画の有無を設定します。

切：
スタートアップ画面を表示しません。

入：動画：
電源を入れたときに、自動的にスタートアップ画面を表示します。

ブラウン管保護

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

テレビ画面の焼付き軽減のために、再生画像の一時停止状態や GUI 表示（「見るナビ」画面など）が無操作で約 15 分続くと、テレビ画面などに戻る機能です。
この機能を「入」にしておくと、本機がフリーズしても 15 分ほど放置しておくと復帰できる場合があります。

切：
ブラウン管保護機能は働きません。

入：
ブラウン管保護機能が働きます。

この機能は、テレビ画面の焼付き防止を保証するものではありません。

バックカラー

放送のないチャンネルを選んだときなど、映像入力信号のないときの画面の色を選びます。

切：色を設定しません。

黒：黒の画面色が設定されます。

青：青の画面色が設定されます。

お願い

• 受信の状態などによっては、映像が見えるときにバックカラーが働いたり、映像が見えないときにバックカラーが解除されることがあります。バックカラーの途切れが気になるときは「切」にしてください。

各種操作設定

操作音設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

本機を操作したときの操作音の有無を設定します。

切：
操作音は鳴りません。

入：
操作音が鳴ります。

お知らせ

• 警告のためのブザー音はこの設定にかかわらず消せません。

終了時お知らせ音設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

ダビングなどを終了するときのブザー音の有無を設定します。

切：
ブザー音は鳴りません。

入：
ブザー音が鳴ります。

お知らせ

• 警告のためのブザー音はこの設定にかかわらず消せません。

リモコンモード

リモコンのモードを設定します。当社製の 2 台目、3 台目の HDD&DVD ビデオレコーダーを使うときに、それぞれ異なったリモコンモードに設定すれば、誤操作の防止に役立ちます。
設定の詳細は、接続・設定編 46 ページ「リモコンの設定（2 台目、3 台目をリモコンで操作する）」をご覧ください。

DR1：DR2：DR3

ワンタッチスキップ設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

「ワンタッチスキップ」（▪➡）を押したときにスキップする幅を選びます。

5 秒：10 秒：30 秒：5 分

ワンタッチリプレイ設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R	DVDビデオ	CD

「ワンタッチリプレイ」（⬑▪）を押したときに戻る幅を選びます。

5 秒：10 秒：30 秒：5 分

タイトルサムネイル設定

HDD	DVD-RAM	DVD-RW	DVD-R

録画したタイトルの最初からどのくらい経過した場面をタイトルのサムネイルにするかを選びます。

0 秒：3 秒：10 秒：35 秒：1 分：5 分

お知らせ

• サムネイルは他の場面にも変更できます。ガイドブック 54 ページをご覧ください。

HDD/RAM タイトル再生設定

HDD	DVD-RAM

最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させるかどうかを選びます。

タイトル毎レジューム：
最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させ、次回はそこから再生をはじめられます。

タイトル連続再生：
内蔵 HDD または DVD-RAM それぞれの中にあるタイトル（オリジナル、プレイリスト）を通して再生できます。タイトルの壁がないので停止位置は最後の一箇所を記憶します。
タイトルごとのレジュームはなくなり、内蔵 HDD、DVD-RAM それぞれに一つずつになります。

スチル集再生速度

DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-R (VRモード)

静止画集を再生するときの、静止画 1 枚あたりの表示時間を設定します。

1 秒：2 秒：3 秒：5 秒：10 秒：ディスク指定値

録画機能設定

録画・画質 / 音質設定

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

録画するときの画質と音質を組み合わせて（5 とおりまで）、録画先ごとにあらかじめ決めておけます。
ここでの設定が、通常録画、および録画予約時の初期値として使われます。

例

録画・画質/音質設定 （初期設定更新）
HDD 設定2 DVD 設定3
お好み設定 No. を選択してください。

お好み設定

設定No.	モード	レート	音質
1	SP	4.6	DD D/M1
2	LP	2.2	DD D/M1
3	マニュアル	6.6	L-PCM
4	マニュアル	6.0	DD D/M2
5	マニュアル	3.2	DD D/M1

画質・音質の組合せを作る（お好み設定）

1) **方向ボタンで、項目（「モード」、「レート」、「音質」）を選ぶ**

2) **「値変更」を押して設定を変える**

画質・音質の組合せを使う

1) **方向ボタンで、録画先（「HDD」、「DVD」）を選ぶ**

2) **「値変更」で「お好み設定」の設定 No. を選ぶ**

選んだ設定で録画できる時間の目安は、画面下部で確認できます。

3) **「決定」を押す**

お知らせ
- 組合せは「HDD」、「DVD」それぞれ別個に設定されます。
- 組合せの変更は、停止中、「レート変換ダビング」（86 ページ）「一括・レート変換ダビング」（ガイドブック 88 ページ）設定中、または「ライブラリ」画面の「クイックメニュー」からの「DVD 全ディスク残量」の選択でもできます。いずれからの変更でも、本機の設定が更新されます。
- 「SP」「LP」に設定すると「L-PCM」は選べません。
- 音質設定によって、画質設定のレートの上限が異なります。
- 画質のマニュアルレートは、1.0 から 9.2 の間で 0.2 刻みで設定できます。（1.0 から 1.4、1.4 から 2.0 の間は設定できません。）

録画映像効果設定

録画映像モード

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

テレビ放送や外部入力の映像信号の明るさを調整します。
（本機の「映像·音声設定」の「映像調整」（101 ページ）で調整しきれない場合に使用してください。）

お願い

この設定は録画される映像信号に影響し、録画後に設定を変更しても録画済みの映像は元に戻りませんのでご注意ください。
ビデオテープからダビングするときなど、事前に画像の記録状態が確認できる場合は、まずしばらく再生して明るさの全体的な傾向を確認し、その上で設定されることをお勧めします。

標準：
本機で受信した信号や外部入力からの信号の明るさを、自動的に調整して記録します。通常はこの設定でご使用ください。

モード 1：
画面が明るすぎた場合に暗くして記録します。

モード 2、3、4：
数字が大きくなるにしたがって徐々に明るくなります。明るさの調整にご使用ください。

録画 DNR

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

ノイズの多い映像からノイズを低減する 3 次元デジタルノイズリダクションのレベルを、映像に合わせて選びます。

切：3 次元デジタルノイズリダクションは働きません。

弱：効果が弱く働きます。

強：効果が強まります。

お知らせ
- 残像やちらつきが気になる場合は「切」にしてください。
- S 端子入力以外で「3 次元 Y/C 分離」が「入」のときは、録画 DNR 機能は働きません。
- D1 入力端子からの入力信号には、録画 DNR 機能は働きません。

3 次元 Y ／ C 分離

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

録画時に働く 3 次元デジタルフィルターによる Y/C（輝度／色）分離で、絵柄の上下境界で目立つ点状のちらつきや、こまかい絵柄で発生する色のちらつきを低減させます。

切：
この機能は働きません。
電波の受信状態が悪い地域での受信映像や残像が気になる場合にはこちらに設定します。

入：
この機能が働きます。
通常はこの状態に設定してください。

お知らせ

- 「3 次元 Y/C 分離」は、内蔵チューナーや映像入力（黄）端子からの信号のときにしか働きません。S 端子および D 端子入力のときには、「3 次元 Y/C 分離」を切り換えても変化はありません。

録画解像度設定

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

録画の際に設定されている画質（モード／レート）にあわせて、最適な解像度で録画するか、できる限り高い解像度で録画するかどうかを設定します。

最適解像度：

画質（モード／レート）によって、レートが高い場合は高い解像度が、低い場合は低い解像度が利用されます。
VR モードか Video モードか *[1] によっても、異なる解像度が利用されます。

高解像度：

LP モード同等の 2.0Mbps 以上の画質は、すべて最も高い解像度に固定されます。
VR モードと Video モードで同じ解像度が利用されます。

*[1] 「Videoモード記録時設定」の「DVD互換モード」が「入」ならば Video モード、「切」ならば VR モードと判断します。

●参考：画質レートと録画解像度の対応表

画質（レート）	最適解像度		高解像度
	DVD互換モード		DVD互換モード
	切（VRモード用）	入（Videoモード用）	切／入（VR/Videoモード用）
9.2〜4.0	720×480（フルD1）	720×480（フルD1）	720×480（フルD1）
3.8〜3.0	544×480（3/4D1）	352×480（1/2D1）	
2.8〜2.0	480×480（2/3D1）		
1.9〜1.0	352×240（SIF）	352×240（SIF）	352×240（SIF）

録音入力レベル

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

録音時の音声入力レベルを設定します。
方向ボタン（▲/▼）で、設定する項目を選び、方向ボタン（◀/▶）で入力レベルを設定します。

VHF/UHF　(L)：地上放送の左チャンネル
(R)：地上放送の右チャンネル

BS(A Mode)　(L)：衛星放送 A モード音声左チャンネル
(R)：衛星放送 A モード音声右チャンネル

BS(B Mode)　(L)：衛星放送 B モード音声左チャンネル
(R)：衛星放送 B モード音声右チャンネル

外部入力 1　(L)：外部入力端子の左チャンネル
(R)：外部入力端子の右チャンネル

外部入力 2　(L)：外部入力端子の左チャンネル
(R)：外部入力端子の右チャンネル

外部入力 3　(L)：外部入力端子の左チャンネル
(R)：外部入力端子の右チャンネル

「外部入力 2」、「外部入力 3」の設定は 2 ページ目にあります。「左右頁（⏮/⏭）」でページをめくってください。
BS デコーダの入力レベルは「外部入力 1」で設定します。

ライン音声選択

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

本機に接続している外部機器から録画するときに音声を設定します。

ステレオ：
ステレオで記録します。

L：
左チャンネルの音声だけを記録します。

R：
右チャンネルの音声だけを記録します。

主＋副：
HDD、DVD-RAM や DVD-R/RW（VR モード）に録画する場合、二カ国語放送などを二重音声で録画するときに選択します。

DVD-RW 記録モード設定

DVD-RW

DVD-RW をフォーマットするときの録画モードを設定します。

Video モード：
Video モードでフォーマットされます。

VR モード：
VR モードでフォーマットされます。

Video モード記録時設定

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

DVD 互換モード
録画するときに、DVD-Video 規格に記録できるようなかたち（映像や音声などの情報）で録画をするかどうかを設定します。

切：
DVD-Video 作成を前提としません。画質・音質の設定によっては DVD-Video 作成ができない場合もあります。

入（主音声）：
DVD-R/RW（Video モード）に記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、元の主音声だけを左右のチャンネルに記録します。

入（副音声）：
DVD-R/RW（Video モード）に記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、元の副音声だけを左右のチャンネルに記録します。

お知らせ
- DVD-R/RW（Video モード）に直接録画するときは、「切」に設定されている場合でも「入（主音声）」で録画されます。
- 画質のマニュアルレートが 3.0 から 3.8 のときは、「入」に設定すると、「切」の場合よりも画質が下がる場合があります。
- 「クイックメニュー」からも DVD 互換モードが設定できます。
- DVD 互換モードは、HDD、DVD-RAM に録画したタイトルを DVD-R/RW にダビングや DVD-Video 作成する際に必要となる設定です。
- 録画後に DVD 互換モードを「入」にして高速ライブラリダビングしても効果はありません。

画面比
DVD-R/RW 録画・ダビング時の画面比を設定します。

4：3 固定
アスペクト比を 4：3 で固定します。

16：9 固定
アスペクト比を 16：9 で固定します。

お知らせ
- 録画・画質設定がレート 1.4Mbps 以下に設定されているときは、本設定を 16：9 固定に設定している場合でも自動的に 4：3 固定で録画されます。

チャプター分割
DVD-R/RW に Video モードで録画時に、指示した間隔で自動的にチャプター分割するかどうかを選びます。

切：
チャプター分割を設定しません。

5 分、10 分、15 分、20 分：
チャプター分割の間隔を 4 種類（5 分、10 分、15 分、20 分）のうちから選びます。

お知らせ
- チャプター数が上限に達したときは、チャプター分割されません。チャプター数の上限はディスクの状態によって変わります。

リリーフ録画
HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

予約録画が設定した画質・音質で DVD 側の残量にはいりきらないとき、自動的に内蔵 HDD に録画するかどうかを選びます。

切：
この機能は働きません。

入：
この機能が働きます。

お知らせ
- レート変換ダビングではリリーフ録画は動作しません。
- A2 画質モードでの録画予約の場合、「リリーフ録画」が「切」でも内蔵 HDD に録画します。
- DVD 残量よりも内蔵 HDD の残量が少ないときはリリーフ録画しません。

管理設定

ネットワーク設定
「番組ナビ」の設定やパソコンと接続して本機を操作する場合に設定します。
⇨接続・設定編 58 ページをご覧ください。

カギ付きフォルダ設定
カギ付きフォルダを使う、使わないを設定します。
⇨ガイドブック 64 ページをご覧ください。

ジャンル設定
HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

よく使うジャンル名をメニューに登録しておけます。ここで登録したジャンル名が、クイックメニューの「ジャンル変更」に表示されます。

1) 方向ボタン（▲／▼）で「現在ジャンル一覧」から変更したい項目を選び、「決定」を押す
ジャンルグループの選択画面が表示されます。

2) 方向ボタン（▲／▼）で登録したいジャンルを含むグループを選び、「決定」を押す
ジャンル名の選択画面が表示されます。
「グループ選択」の次のページを選択したいときは、方向ボタン（▶）を押します。

3) 方向ボタン（▲／▼）でジャンル名を選び、「決定」を押す
選んだジャンルが「現在ジャンル一覧」の選んだ項目の場所に設定されます。

4) 1）～ 3）をくり返してジャンル名を登録する

5) 登録が終わったら、「戻る」を押して「管理設定」のメニューに戻る

省エネ設定
待受状態の本体表示と内蔵 HDD のパワーモードを設定します。

待機時本体表示設定

入：
点灯します。

切：
待機時に自動的に消灯します。

HDD パワーモード
無操作時の内蔵 HDD の回転を、一定時間経過後に自動的に止める省電力機能です。

標準：
HDD パワーモードの設定をしません。

セーブ：
約 5 分以上にわたって、内蔵 HDD に何もアクセスがないときに、内蔵 HDD の回転を止めます。（省電力モード）
内蔵 HDD が停止している状態では、HDD 側の再生ボタンや録画ボタンを押してから実際の動作が開始するまでの時間が少し長くかかります。

HDD／ディスク管理

HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持）

HDD

内蔵 HDD 内のタイトルを全部一度に削除します。
録画内容だけが削除されますので、DVD-RAM ディスクのライブラリ情報や番組表はそのまま残り、引き続き利用できます。

1) 方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」を押す

2) メッセージを確認し、方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」を押す
削除が始まります。
削除しないときは、「いいえ」を選びます。

お知らせ
- 定期的に「HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持）」をすると、断片化（ディスクの複雑化）が改善されるため、快適にご使用になれます。
- カギ付きフォルダ内のタイトルも削除されます。

HDD 初期化（全削除）

HDD

内蔵 HDD を初期化します。
内蔵 HDD は通常初期化する必要はありませんが、HDD 自身が何らかのトラブルで正常に使用できなくなった場合は、初期化をすることで元どおり使用可能になる場合があります。ただし、HDD を初期化すると、中に録画してあるタイトルと、それまでのライブラリ情報や番組表がすべて消去されます。

1) 方向ボタン（◀/▶）で「開始」を選び、「決定」を押す

2) メッセージを確認し、方向ボタン（◀/▶）で「開始」を選び、「決定」を押す
初期化が開始されます。
初期化しないときは、「中止」を選びます。

お知らせ
「HDD 初期化（全削除）」を実行すると、カギ付きフォルダ設定は「切」となり、暗証番号も解除されます。

DVD-RAM 物理フォーマット

DVD-RAM

DVD-RAM ディスクの物理フォーマットを実行します。
➡ 27 ページをご覧ください。

DVD ダビング速度

HDD | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

「高速ダビング」（➡ 84 ページ）や「一括・高速ライブラリダビング」（➡ガイドブック 85 ページ）をする際のダビングの速さを設定します。

高速：
高速でダビングします。

低速（静音）：
速度は少し遅くなりますが、ダビングの作業音がおさえられます。

設定を出荷時に戻す

時刻設定の日付・時刻、リモコンモードなどを除いた各種設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

バージョン（メイン／DVD ドライブ）

本機のソフトウェアバージョンを表示しています。
（設定する項目ではありません。）

初回設定

➡ 接続・設定編 25 ～ 37 ページをご覧ください。

その他

●故障かな…？と思ったら
●録画可能時間一覧表
●言語コード表
●アスペクト比（画面比）について
●出力される音声の種類
●本体表示窓のエラー表示
●仕様
●索引
●Ｗ録についてのお知らせ
●インフォメーション
●商品の保証とアフターサービス

故障かな…？と思ったら

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

電源

■ 電源がはいらない

- 電源プラグが抜けている。
  → 電源プラグをしっかり差し込む。

テレビの接続

■ テレビの映像が出ない

- 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、またははずれかけている。
  → 本機とテレビとの接続コードをしっかり差し直す。
- テレビ側の入力切換が間違っている。
  → 本機を接続している入力端子にテレビの入力切換を合わせる。
- HDMI対応機器とHDMIケーブルで接続しているがリンクが成立していない場合。（本体表示窓にエラーが表示されている）
  → HDMIケーブルを抜き差しするか、接続機器の電源を入れ直してください。

テレビの受信

■ テレビが映らない

- アンテナ線がはずれている。
  → アンテナ線を差し直す。

■ テレビがきれいに映らない

- チャンネルの設定またはチャンネルの調整がずれている。
  → チャンネル設定またはチャンネル微調整を再設定する。（接続・設定編26～29ページ）
- アンテナ線がはずれかけている。
  → アンテナ線をしっかり差し込む。
- 電波が弱い。
  → アンテナの設置方向を調整するか、市販のアンテナブースターを使用する。

再生

■ DVDやCDの再生ができない

- 記録されているフォーマットが未対応である。または本機で再生できるリージョン番号でない。
  → ディスクを確認する。
- ディスクによごれまたは傷が付いている。
  → ディスクのよごれを取るまたは交換する。
- HDDモードになっている。
  → 「DVD」ボタンを押す。

■ 内蔵HDDが再生できない

- DVDモードになっている。
  → 「HDD」ボタンを押す。

■ 再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある

- 以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。
  — 元の映像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合
  — 天候などによって、受信状態が悪化した状態での録画の場合
  — 画像レート設定が低い状態での録画の場合
  — 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合
  — ディスク上の物理エラーによる場合
  （なお、内蔵HDDの寿命によって大量に発生する場合は内蔵HDDの交換が必要です。販売店または「東芝家電修理ご相談センター」にご相談ください。）

  再生でディスクからデータを読み出すときにエラーが発生すると、その部分でブロック状のノイズ（ブロックノイズ）が発生する場合があります。この現象は、エラーが発生した部分を何度もくり返して読み出す（リトライ）と起こりにくくなりますが、そのかわりに再生が途中で遅くなったり止まったりする可能性が高くなるので、本機ではエラー発生時の読み直し回数を制限して、そのときの再生が遅れたり止まったりしないようにしています。

録画

■ DVD-RAMに録画ができない

- ディスクに誤消去防止がされている。
  → ディスクのライトプロテクトタブを「PROTECT」の反対側にする。（18ページ）
- ディスクにソフトプロテクトが設定されている。
  → ディスクのソフトプロテクトを解除する。（ガイドブック 126 ページ）
- パソコンやDVDレコーダーでディスクにプロテクトがかけられている。
  → 設定した機器でプロテクトを解除する。
- ディスクの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する（63、89ページ）、または新たなディスクを準備する。
- 初期化されていない。
  → ディスクを初期化する。（26ページ）
- 欠陥が多く発生している。
  → ディスクを物理フォーマットする。（27ページ）
- 物理フォーマットがされていない。
  → ディスクを物理フォーマットする。（27ページ）

■ 内蔵HDDに記録ができない

- DVDモードになっている。
  → 「HDD」ボタンを押す。
- 内蔵HDDの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する(63、89ページ)、またはDVD-RAMに移動する。(ガイドブック85ページ)
- 停電などでディスクに保護がかかっている。
  → 必要な部分をDVD-RAMなどにコピー後、HDDの初期化をする。

■ DVD-R/RW（VRモード)に記録ができない

- ディスクにソフトプロテクトが設定されている。
  → ディスクのソフトプロテクトを解除する。(ガイドブック 126 ページ)
- パソコンや他社機でディスクにプロテクトがかけられている。
  → 設定した機器でプロテクトを解除する。
- ディスクの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する（63、89 ページ)、もしくは新たなディスクを準備する。
- 初期化されていない。
  → ディスクを初期化する。(26 ページ)

予約

■ 録画予約ができない

- 時計の時刻設定がされていない。
  → 時刻設定をする。(接続・設定編25ページ)
- 予約内容がいっぱいになった。
  → 不要な予約を取り消す。(53ページ)

時計

■ 時計表示が「0:00」で点滅している

→ 販売店または「東芝家電修理ご相談センター」にご連絡ください。

リモコン

■ リモコンがきかない

- リモコンの電池が消耗している。
  → 電池を交換する。(接続・設定編24ページ)
- リモコンが受光部に向けられていない。
  → リモコン送信部を本機受光部に向ける。
- リモコンと受光部が遠すぎる。
  → 約7m以内のところで操作する。
- リモコンと受光部の間に障害物がある。
  → 障害物を取り除く。
- リモコンモードが合っていない。
  → 本機とリモコンのリモコンモードを合わせる。(接続・設定編46ページ)
- 本機がリモコンオフモードになっている。
  → リモコンオフモードを解除する。(接続・設定編47ページ)
- TV/DVDスイッチが「TV」になっている。
  → 「DVD」にしてから操作する。

その他

■ 本機が操作中に止まってしまい、15分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった

→ 本体の「ON/STANDBY」を約10秒間押し続けると、強制的に電源を切ることができます。ただし、非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用されるときは、十分注意していただくとともに、頻繁に行なわないでください。正常な動作中、特に「Loading」、「Unloading」のアイコンの表示中などに行なうと、ディスクを初期化しなければならなくなる場合があります。

■ 電源を入れたとき、設定を出荷時に戻すことを勧めるメッセージが出る

→ 本機では、電源プラグが抜かれたり停電が起きるなどして電源の供給がしばらくとぎれると、このメッセージが表示される場合があります。(10ページ)
廃棄・譲渡時以外は、設定を出荷時に戻す必要はありません。「決定」を押してメッセージを消してからご使用ください。

■ アフターサービスをご依頼になる前に

本機を修理に出す前には、内蔵 HDD の内容とライブラリ情報を DVD-RAM にダビングし、バックアップしてください。修理の際に内蔵 HDD の記録内容が消える場合があります。内蔵 HDD が異常になった場合でも、再生できるものはダビングしてください。修理の依頼をされるときは、付属の診断カルテへの記入をお願いします。なお、破損・消失した記録内容の復旧はできませんので、あらかじめご了承ください。

録画可能時間一覧表

音質レート	DD D/M1(192kbps)				DD D/M2(384kbps)				L-PCM				備考
	HDD		DVD-RAM		HDD		DVD-RAM		HDD		DVD-RAM		
画質レート	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	
1.0	534	38	08	06	463	03	07	01	256	45	03	52	
1.4	404	23	06	07	362	03	05	28	222	21	03	21	
2.0	289	41	04	22	267	18	04	02	182	36	02	44	DD D/M2時のLPの画質モードです。
2.2	266	26	04	01	247	22	03	44	173	04	02	36	DD D/M1時のLPの画質モードです。
2.4	246	38	03	43	230	13	03	28	164	30	02	28	
2.6	229	35	03	27	215	17	03	14	156	43	02	21	
2.8	214	44	03	14	202	10	03	02	149	39	02	14	
3.0	201	41	03	02	190	34	02	52	143	12	02	08	
3.2	190	07	02	51	180	13	02	42	137	16	02	03	
3.4	179	49	02	42	170	56	02	34	131	49	01	58	
3.6	170	35	02	33	162	34	02	26	126	47	01	53	
3.8	162	14	02	26	154	58	02	19	122	07	01	49	
4.0	154	41	02	19	148	03	02	13	117	47	01	45	
4.2	147	47	02	13	141	44	02	07	113	45	01	41	
4.4	141	29	02	07	135	56	02	02	109	59	01	38	DD D/M2時のSPの画質モードです。
4.6	135	42	02	02	130	35	01	57	106	27	01	35	DD D/M1時のSPの画質モードです。
4.8	130	22	01	57	125	38	01	52	103	08	01	32	
5.0	125	27	01	52	121	03	01	48	100	02	01	29	
5.2	120	52	01	48	116	47	01	44	97	06	01	26	
5.4	116	37	01	44	112	49	01	41	94	20	01	24	
5.6	112	40	01	40	109	06	01	37	91	44	01	21	
5.8	108	58	01	37	105	38	01	34	89	16	01	19	
6.0	105	30	01	34	102	22	01	31	86	55	01	17	
6.2	102	15	01	31	99	19	01	28	84	42	01	15	
6.4	99	11	01	28	96	25	01	26	82	36	01	13	
6.6	96	19	01	26	93	42	01	23	80	35	01	11	
6.8	93	36	01	23	91	08	01	21	78	41	01	09	
7.0	91	02	01	21	88	41	01	19	76	51	01	08	
7.2	88	36	01	18	86	23	01	16	75	07	01	06	
7.4	86	17	01	16	84	11	01	14	73	27	01	05	
7.6	84	06	01	14	82	06	01	13	71	51	01	03	
7.8	82	01	01	12	80	07	01	11	70	20	01	02	
8.0	80	03	01	11	78	14	01	09	68	52	01	00	L-PCM時のマニュアル最高値です。
8.2	78	19	01	09	76	26	01	07					
8.4	76	21	01	07	74	42	01	06					
8.6	74	38	01	06	73	04	01	04					
8.8	73	00	01	04	71	29	01	03					
9.0	71	25	01	03	69	59	01	01					
9.2	69	55	01	01	68	32	01	00					マニュアルモードの上限値

- 本一覧表は録画時間を保証するものではありません。
- 内蔵HDDおよびDVD-RAMを初期化状態で連続録画した場合(内蔵HDDでは9時間の録画をくり返した場合)の録画可能時間です。ディスクによって表示が若干ばらつくことがあります。
- 録画後の残量は、本一覧表に書かれた時間から録画時間を引いた時間にはなりません。
- 録画された映像や音声の状態によって、使用される容量は異なります。
- 録画後の内蔵HDDおよびDVD-RAMの残量は、本機の残量表示機能で確認できます。
- 録画できる最大タイトル数(HDD：396、DVD-RAM：99)を超えた場合は、上記の表に記載された時間まで録画できません。

DD D /M1、DD D /M2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。設定1として DD D /M1はDolby Digital 192Kbps、設定2として DD D /M2はDolby Digital 384Kbpsとなっています。

言語コード表

記号	言語名
―――	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語

記号	言語名
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語

記号	言語名
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

アスペクト比（画面比）について

アスペクト比とは、映像を構成する画面（映像）サイズの幅と高さの比で、4:3 放送とワイド放送（スクィーズ放送、レターボックス放送）があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

放送で送られてくる映像

4：3テレビで再生する場合

４：3放送（通常放送）

通常は4:3または「ノーマル」と呼ばれています。（地上波、BS アナログ、CATV、CS 放送、BS デジタル放送）

収録した映像をそのまま画面いっぱいに再生します。

ワイド放送（レターボックス放送）

ハイビジョンやワイドサイズで撮影した映像を、DVD や LD、一部のビデオソフトに編集する際に上下に黒い帯を入れることによってノートリミングで収録したものです。
（地上波、BS アナログ、CATV、CS 放送、BS デジタル放送）

放送そのものが上下に黒い部分を含んでいるため、その状態でだけ再生できます。

ワイド放送（スクィーズ放送）

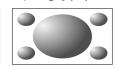
16:9のワイド映像を放送時に左右方向を縮めてほぼ4：3の比率で放送し、受信したワイドテレビ側で引き伸ばすことで16：9を復元します。
（BSデジタル放送）

■「4：3LB」時（○）■「16：9ワイド」時（×）

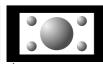
スクィーズ記録された映像の場合、本機の「TV 画面形状」の設定に応じて表示のしかたが変わります。「4：3LB」の場合、上下に黒い帯がはいるレターボックス状態となり、画面は正常な比率で表示されます。4：3 テレビの場合はこの設定にしてください。「16：9 ワイド」を選択しますと画面が縦長に見える状態となりますので、設定を「4：3LB」にしてください。設定が「4：3LB」にもかかわらず、画面が縦長につぶれたように見える場合、録画時に正しくスクィーズ信号が記録されていないことになります。S1出力対応の外部チューナー端子から、本機のS1 対応の入力端子に接続されているかどうかご確認ください。

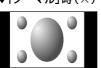
ワイドテレビで再生する場合

▼「ノーマル」時（○）　▼「フル」時（×）

＊

テレビの設定によって表示のしかたは変わりますが、「ノーマル」などで表示した場合、左右に黒い帯がはいった状態となり、「ワイド」などの設定の場合、左右が引き伸ばされたように表示されます。

▼「ズーム」時（○）　▼「ノーマル」時（△）　▼「フル」時（×）

＊

「ズーム」などの設定にすることによって、上下左右の黒い部分を除いて拡大することで、正常かつ画面いっぱいのワイド映像を楽しむことができます。テレビ側の設定が「ノーマル」などの場合、放送そのものが上下に黒い部分を含んでいるため、上下の黒い帯に加えてテレビ側が付加する左右の黒い部分が加わった状態となり、アスペクトは正常となります。テレビ側の設定が「フル」の場合、上下の帯はそのままにさらに左右に引き伸ばされた状態となります。

▼「フル」時（○）　▼「ズーム」時（×）　▼「ノーマル」時（×）

ほぼ4:3に縮めて収録した映像の左右方向だけをテレビ側の設定によって16:9に左右引き伸ばして再生します。テレビの設定は「フル」などの名称のものになっている必要があり、「ズーム」などの場合には、上下左右が欠けた映像になりますので、ご注意ください。「ノーマル」などの場合、左右につぶれた状態となり、さらに左右に黒がテレビによって追加されます。

■：本機側の設定　▼：テレビ側の設定

＊「TV画面形状」を「16：9シュリンク」（➡接続・設定編38ページ）に設定し、再生した場合は、テレビ側で設定しなくてもこのような画面になります。

● アスペクト比（画面比）に関する注意点について

録画する際は、放送に含まれるスクィーズ情報に応じてGOPと呼ばれる約0.5秒単位ごとに4：3か16：9であるという区別を書き込んでいます。
本機内蔵チューナーで録画する場合は、常に4：3の放送しかありませんが、BSデジタル放送などはスクィーズ放送が多数あり、一部チャンネルでは番組直前の宣伝と番組で4：3と16：9が切り換わることがあるため、外部チューナーやデジタルテレビから本機に入力して録画する場合には注意が必要です。

VRモードで録画する場合、放送側でこの情報が切り換わっても、約0.5秒の単位内と続く約1秒は先に来た情報で記録され、実際の映像と異なる場合がありますが異なる画面比を混在して記録することができます。

DVD-R/RWのVideoモードでは、規格の制約によって、通常の4：3放送と16：9のスクィーズ放送が1タイトル内に混在することが許されません。（タイトルごとに異なるアスペクト比になることは問題ありません。）そのため、直接録画する場合は、録画する番組ごとにVideoモード記録時設定（画面比）を正しく設定する必要があります。

「DVD-Video 作成」をする場合は、「チャプター編集」画面内の「画面比」の項目を見ながら混在しないようにチャプターを分割してからパーツ登録をするか、「DVD-Video 作成」の「画面比設定」で「4：3固定」か「16：9固定」を設定してください。いずれの場合でも、通常の4：3放送で上下に黒い帯がはいる場合は、ワイドではなく、単なる4:3放送ですので、「16：9固定」に設定しないでください。

「フル」、「ズーム」、「ワイド」、「ノーマル」などのモードの呼びかたはテレビによって異なる場合があります。詳しくはお使いになるテレビの取扱説明書をご覧ください。

出力される音声の種類

ディスク	音声方式		設定画面での「音声出力設定」（102ページ）と出力端子							
			「ビットストリーム」		「アナログ 2ch」		「PCM」		HDMI-AUTO*3	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子 HDMI出力端子	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク*1	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○	ビットストリーム/PCM	○
	リニアPCM	48 kHz	PCM	○	PCM	○	PCM	○	PCM	○
		96 kHz	PCM*2	○	—	○	PCM*2	○	PCM*2	○
	DTS		ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	—	—	ビットストリーム/—	—
	MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○	ビットストリーム/PCM	○
音楽用CD	リニアPCM		PCM	○	PCM	○	PCM	○	PCM	○
	DTS		ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）
内蔵HDD	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○	ビットストリーム/PCM	○
	リニアPCM		PCM	○	PCM	○	PCM	○	PCM	○
DVD-RAM/R/RW	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○	ビットストリーム/PCM	○
	リニアPCM		PCM	○	PCM	○	PCM	○	PCM	○
	MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○	ビットストリーム/PCM	○

*1 DVD ビデオディスクには本機で作成した DVD-R/RW は含まれません。
上表で「(ノイズ)」の表示のある接続と設定はしないでください。
*2 ダウンサンプリング PCM
*3 HDMI-AUTO で「ビットストリーム／ PCM 音声出力」「HDMI 出力」がビットストリームになるのは、接続した HDMI 機器にビットストリームデコード機能がある場合だけです。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS および DTS Digital Out は Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、
HDMI Licensing LLC の商標又は登録商標です。

お知らせ

- DVD ビデオディスクを使用しているとき、ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使ってする場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたとき、およびディスクを交換したときは、設定（102 ページ）どおりの音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- ビットストリーム／ PCM 音声出力端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「音声出力設定」を「PCM」にしてください。
- 「DVD 互換モード」（25 ページ）を「入」にして録画したタイトルは、二カ国語の音声切換はできません。

本体表示窓のエラー表示

メッセージ画面表示と同時に本体表示窓にもエラーの表示が出ます。
以下の表は、エラー表示の一部です。
「ERR－＊＊」で、＊＊の部分にエラーコードが表示されます。エラーの内容を確認してください。この表示を消すには、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

エラー表示	エラーの内容	
ERR－01	物理フォーマットエラー	
ERR－10	容量オーバー	・DVD-Video作成時
ERR－11	タイトル数オーバー	
ERR－12	チャプター数オーバー	
ERR－13	コピープロテクションエラー	
ERR－14	DVDエラー(メディアが不良で書けない)	
ERR－15	その他のエラー	
ERR－16	HDDエラー(メディアが不良で書けない)	
ERR－17	SIFはワイド禁止	
ERR－18	異なるアスペクトの混在	
ERR－19	異なる解像度の混在	
ERR－1A	異なるオーディオ属性の混在	
ERR－1B	無効な管理情報	
ERR－1C	当社製以外のビデオレコーダーで録画されたストリーム	
ERR－1D	「DVD互換モード」が「切」で録画されたストリーム	
ERR－1E	無効なビデオ	
ERR－1F	予期せぬエラー	
ERR－2E	メニュー作成中エラーまたはメニューエンコードエラー	・DVD-Video作成時 ・DVD-R/RWへの録画時 ・DVD-R/RWへのダビング時
ERR－2F	メニューサイズオーバー	
ERR－30	メニュー数の上限オーバー	
ERR－31	ドライブとメディアの相性によって、書込み修復を実施	
ERR－32	ディスクのフォーマットモードに互換性がない	・DVD-R/RWへの録画時
ERR－33	ディスクへの書込みが禁止されている	
ERR－34	書込み不可または管理情報エラー	
ERR－35	録画前空き容量チェックによるディスクオーバー	
ERR－36	録画失敗(タイトルは残らない)	
ERR－37	録画失敗(タイトルは残る)	
ERR－38	書込み失敗（タイトルは残らない)	
ERR－39	書込み失敗（タイトルは残る)	
ERR－3A	予期せぬエラー	
ERR－3B	EDIDエラー	・HDMI端子使用時
ERR－3C	認証エラー	
ERR－3D	リボークエラー	
ERR－3E	リピーターエラー	
ER-7000	HDDにトラブルが発生している可能性があります。	

仕様

■ **動作時消費電力**

39W（BS アンテナ供給時 44W）

■ **待機時消費電力**

3.8W（待機時省エネ設定：切）
1.0W（待機時省エネ設定：セーブ）

■ **電源**

AC100V　50/60Hz

■ **質量**

6.4kg

■ **外形寸法**

幅 430 ×高さ 81 ×奥行 339mm

■ **受信チャンネル**

VHF：1 ～ 12CH、UHF：13 ～ 62CH、
CATV：C13 ～ C63CH

■ **アンテナ入出力端子**

VHF/UHF：75Ω　F 型コネクター

■ **BS 受信チャンネル**

SHF（BS）：1、3、5、7、9、11、13、15CH

■ **BS アンテナ入出力端子**

75Ω　F 型コネクター、
入力端子（最大 DC15V、4W）

■ **検波入出力端子**

0.67V（p-p）（75Ω）不平衡、ピンジャック

■ **ビットストリーム入出力端子**

0.5V（p-p）（75Ω）不平衡、ピンジャック

■ **信号方式**

NTSC カラーテレビジョン方式

■ **使用レーザー**

半導体レーザー　波長 650nm/780nm

■ **フォーマット**

DVD-VR 規格 /DVD-Video 規格

■ **録画方式**

MPEG2

■ **録音方式**

ドルビーデジタル M1 ／ M2、リニア PCM

■ **録画使用ディスク**

DVD-RAM ディスク
（片面：4.7GB ／両面：9.4GB）

DVD-RW ディスク
（片面：4.7GB）

DVD-R ディスク
（1 層：4.7GB ／ 2 層：8.5GB）

■ **内蔵 HDD 容量**

RD-XS57：300GB

■ **映像入力**

1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック× 3 系統、
背面 2、前面 1

■ **映像出力**

1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック× 2 系統、
背面 2

■ **S 映像入力（入力 3 のみ S1/S 対応）**

（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニ DIN4 ピン× 3 系統、背面 2、前面 1

■ **S1 映像出力**

（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニ DIN4 ピン× 2 系統、背面 2

■ **コンポーネント映像出力（Y、C_B、C_R）**

Y 出力（緑）　1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、
ピンジャック× 1 系統
C_B、C_R 出力（青、赤）　0.7V（p-p）（75Ω）、
ピンジャック×各 1 系統

■ **D1 端子入力**

14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ　入力信号 D1
Y 入力 1.0V（p-p）（75Ω）
C_B 入力 0.7V（p-p）（75Ω）
C_R 入力 0.7V（p-p）（75Ω）

■ **D1/D2 端子出力**

14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ　出力信号 D1/D2
Y 出力 1.0V（p-p）（75Ω）
C_B 出力 0.7V（p-p）（75Ω）
C_R 出力 0.7V（p-p）（75Ω）

■ **音声入力**

2.0V（rms）、入力インピーダンス 22kΩ 以上、
ピンジャック（L、R）× 3 系統
背面 2、前面 1

●ディスク容量に関して

・HDD、DVD-RAM/DVD-RW/DVD-R の容量は 1GB＝10億バイト、として計算しています。
・実際に記録できる容量は、ファイル管理システムや製品固有の管理領域等の使用によって、物理的な容量より少なくなります。

■ 音声出力

2.0V（rms）、出力インピーダンス 2.2kΩ 以下、
ピンジャック（L、R）× 2 系統
背面 2

■ 音声出力（ビットストリーム／ PCM 端子）

光コネクター× 1 系統
同軸ピンジャック× 1 系統　0.5V（p-p）、75Ω

■ スカパー連動（CS データ）端子

CS データコネクター× 1 系統

■ デコーダ入力

映像：1.0V（p-p）、音声：2.0V（rms）
　　2 系統
BS デコーダは入力 1 端子兼用
CS チューナー、BS デジタルチューナーは入力 3 端子兼用

■ DV 入力

4 ピン× 1 系統、前面 1
（IEEE1394 準拠）

■ LAN ポート（LAN 端子）

100BASE-TX/10BASE-T × 1

■ HDMI 出力端子

19 ピン、背面 1

■ リモコン

ワイヤレスリモコン
　SE-R0188

■ 使用条件

温度：5°C ～ 35°C、動作姿勢：水平

■ 時計表示

24 時間デジタル表示

■ 時間精度

クォーツ方式（月差約± 30 秒程度）

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。

索引

数字・アルファベット順

1 回だけ録画可能番組 20、23、83
ADAMS 接続·設定編 23、40
BS アンテナ電源設定 接続·設定編 32
BS チャンネル設定 接続·設定編 30
DEPG 接続·設定編 23
DL 18、56
DV 連動録画 58
DVD-Video 記録時設定 25
DVD-Video 作成 92
DVD 互換モード 20、25、57、106
DVD ダビング速度 108
D 端子接続設定 接続·設定編 33
HDD 初期化（全削除） 108
HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持） 108
HDMI の設定 103、116
HDMI 接続 接続·設定編 16
iNET 接続·設定編 23、40
P in P 再生 72
Video モード 20
VR モード 20
WOWOW（BS5）チャンネルを録画する 38

あいうえお順

あ

アスペクト比 114
アングル切換 71
一括削除 89
映像調整 101
映像調整選択 101
音声／音多切換 71

か

カラオケボーカル 100
簡単メニュー 14
近接予約確認 46
クイックメニュー 13
コピーワンス 20、23、83
コマ送り／コマ戻し 70

さ

再生 61
　TV お好み再生 64
　追っかけ再生 64
　スロー再生 70
残量表示 10
字幕切換 71
ジャストクロック 接続·設定編 36
ジャンル設定 107
終了後電源切る 37、85、87
省エネ設定 107
初期化
　HDD 初期化（全削除） 108
　HDD 初期化（番組表／ライブラリ保持） 108
　ディスクの初期化 26
状態表示 13、73
人名検索 49
スカパー！ 40、54
スチル集再生速度 104
スポーツ延長 46
ズーム 72
静止画 70、101
設定メニュー 98

た

タイトル
　タイトル毎レジューム 63、104
　タイトル削除 63、89
　タイトル名変更 94
　タイトル連続再生 63、104
タイムスリップ 64
タイムバー表示 73
ダビング
　画質・音質レートを変えてダビングする 86
　高速ダビング 84
　ダビング中止 85、87
　パーツ単位でダビングする 84
　ラインUダビング 88
　レート変換ダビング 86
　ワンタッチダビング 85
チャプター
　チャプター削除 63、89
　チャプター分割 25、37、77、107
　DVD-Video 時チャプター分割 25、77、107
　チャプター編集 77
　チャプター名変更 94
チャンネル設定 接続·設定編 26
チャンネルを換える 11
電源の入／切 11
録るナビ 52

な

入力 1 設定 接続·設定編 33
入力 3 スルー 11
ネット接続設定 接続·設定編 53

は

バージョン（メイン／ DVD ドライブ） 108
バーチャルサラウンド設定 103
早送り／早戻し 70
早見早聞 70
番組追っかけ 47
番組検索 48、49

番組説明取得 50
番組表 45、50
番組名フォルダ化 57
番組ナビ 45
ビットレート表示 10、24
ファイナライズ
　DVD-Video ファイナライズ 90
　DVD-RW（VR モード）ファイナライズ 91
フォーマット
　DVD-RAM 物理フォーマット 27
　論理フォーマット 26
フォルダ機能 65
　カギ付きフォルダ 65
　ごみ箱 68
　フォルダへ一括移動 67
　フォルダへ移動 67
　フォルダ名変更 66
プレイリスト編集 78
編集ナビ 58、78

ま

見るナビ 62、65
ムービーボイス 100

や

予約の延長 37
予約のキャンセル 53
予約の変更 53

ら

ライン音声選択 57、106
リモコンモード 104
ルートモード 65
録画 29
　裏録画 36
　予約録画の停止 53
　録画解像度設定 106
　録画延長 37
　録画・画質／音質設定 24、105
　録画映像モード 105

わ

ワンタッチスキップ 70、104
ワンタッチリプレイ 70、104

W録についてのお知らせ

■ W録 R1 と W録 R2 の切換えについて

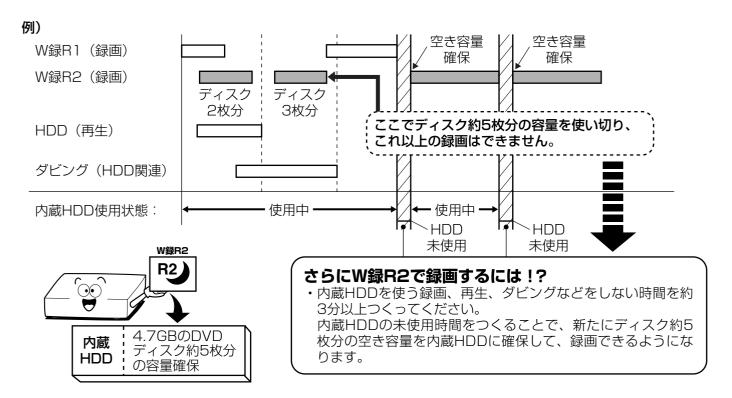
本機では録画する内容や機能によって、W 録 R1 と W 録 R2 を切り換えることが必要です。
それぞれの説明ページで「R1」「R2」の切換えを説明していますが、以下の表にまとめていますので参考にしてください。

W録★/☽ で「R1」と「R2」を切り換えます。

	地上アナログ放送の録画	BS アナログ放送の録画	外部入力端子からの録画	DV 入力端子からの録画	D1 入力端子からの録画	レート変換ダビング	ライン U ダビング	DVD-R/DVD-RW（Video モード）の録画
R1★	○	○	○	○	×	○	○	○
R2☽	○	×	○	×	○	×	×	×

■ W 録 R2 の録画時間について

・W録R2で内蔵HDDに録画するときは、HDDにW録R2用の録画領域として4.7GBのDVDディスク約5枚分（たとえばSPモードで約10時間分、LPモードなら約20時間分）をはじめに確保します。内蔵HDDが録画、再生、ダビングで使用されている間は確保してある領域に録画することができますが、この確保された領域を使い切ってしまいますと録画を停止します。

インフォメーション

本機に関する取扱い方法などのお問い合わせ

『RDシリーズサポートダイヤル』

0570-00-0233（通話料がかかります）
電話受付：月〜金　10：00〜18：00
（12：30〜13：30は休止、年末年始、祝日等を除く）
※FOMA・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

■ホームページ上によくあるお問い合わせ情報を掲載しておりますのでご利用ください。
また、番組データ提供に関する情報、メンテナンス情報やトラブル情報につきましても、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。

『**http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/**』

本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されておりますので、東芝ホームページをご覧いただくことをお勧めいたします。

ホームページ：http://www.toshiba.co.jp/　または　http://www.rd-style.com/

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

・当社は、HDD&DVDビデオレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
・補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
・修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	HDD&DVDビデオレコーダー
形名	RD-XS57
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　　）　ー

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トーシバ ヨイ）
電話受付：365日・24時間受付

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）
044-543-0220（通話料がかかります）
西日本地区（上記以外）　06-6440-4411（通話料がかかります）

新製品などの商品選びのご相談
（操作に関するご質問は本取扱説明書「インフォメーション」に記載のRDシリーズサポートダイヤルにお問い合わせ願います。）

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**

携帯電話からのご利用は 0570-00-3755
（通話料がかかります）
（PHS・FOMAなど一部の電話ではご利用になれません）
月～土 10：00～20：00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）
日曜日・祝日 10：00～16：00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHS など一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社

〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

R70 古紙配合率70％再生紙を使用しています

79101169
ⒽPM0021638012